

令和2年度文化芸術による子供の育成事業-巡回公演事業-公演団体一覧

【A区分・B区分団体】

ブロック	分野	種目	公演団体名	対象学年				企画名	演目	複数年度実施
				小(低)	小(中)	小(高)	中			
D	音楽	合唱	びわ湖ホール声楽アンサンブル	○	○	○	○	歌い継ぎたい 美しい日本のうた	※一部小中学校で別プログラムあり ◆オープニング ふるさと(唱歌/作詞:高野展之 作曲:岡野貞一) ◆声の特徴を聴いてみよう!ほたるこい(童謡/女声合唱)等◆日本の四季 四季のうた(唱歌/作詞・作曲:荒木とよき)等(省略) ◆合同演奏 Believe(合唱曲/作詞・作曲:杉本竜一) または参加校希望曲 等	
D	音楽	オーケストラ等	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	○	○	○	○	《東京シティ・フィルと一緒にオーケストラの響きを楽しもう!》	【小学校プログラム】◆ビゼー/歌劇「カルメン」より前奏曲 ◆シベリウス/交響詩「フィンランディア」 ◆各学校校歌(オーケストラ・アレンジバージョン) 等 【中学校プログラム】◆ロッシーニ/歌劇「ウィリアム・テル」より「スイス軍の行進」 ◆モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジーク ◆ブラームス/ハンガリー舞曲第5番 等	
D	音楽	オーケストラ等	中部フィルハーモニー交響楽団	○	○	○	○	「体感、オーケストラ! 体育館が劇場に!」	●J・ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」より「メインタイトル」 ●モリコーネ:映画「ミッション」より「ガブリエルのオーボエ」 ●子供との共演]ラヴェル作曲「ボレロ」によるボディパーカッションでオーケストラと共演しよう! ●「交響曲を聴いてみよう!」チャイコフスキー:交響曲第4番第4楽章 ●各学校校歌 等	
D	音楽	オーケストラ等	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	○	○	○	○	体育館がオペラハウスに大変身!?!トオペラの魅力がいっぱい♪ ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オーケストラ公演	●ワーグナー/歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲 (省略) ●共演コーナー ウィルソン/76本のトロンボーン、松井 孝夫/マイ パレード 等 ●オーケストラ演奏 エルガー/行進曲「威風堂々」第1番 ◆アンコール ヴェルディ/歌劇「椿姫」より 乾杯の歌 他	
D	演劇	児童劇	人形劇団ひとみ座	○	○	○	-	大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんかん珍道中」	原案/十返舎一九「東海道中膝栗毛」 脚本/田典彦(劇団B級遊撃隊) 演出/山本コーソ 人形美術/伊東亮 舞台美術/田坂晴男・本川東洋子 音楽/やなせけいこ 音響/田辺正晴 照明/石川哲次	R2 (新規)
D	演劇	児童劇	オペレッタ劇団ともしび	○	○	○	○	「トラの恩がえし」	オペレッタトラの恩がえし 原作 韓国・朝鮮民話/音楽:リ・ジェホ+韓国・朝鮮の伝統音楽から 脚本:中西明+韓国・朝鮮と日本チーム 演出:大野聖則+韓国・朝鮮と日本チーム 美術:内山勉 新井真紀	
D	演劇	演劇	株式会社 劇団芸術座	-	-	○	○	名作の世界をお芝居で楽しもう!	『最後(ザ・ラスト)の一葉(リーフ) - O. ヘンリー物語』 原 作 : O. ヘンリー 脚 本 : 平塚 仁郎 演 出 : 村田 里絵	
D	演劇	ミュージカル	オペラシアターこんやく座	○	○	○	-	オペラ「森は生きている」	オペラ「森は生きている」 原作:サムイル・マルシャーク(訳:湯浅芳子)/作曲:林光 台本:林光 演出:大石哲史/振付:橋原竜也	
D	舞踊	バレエ	バレエシヤンプルウエスト	○	○	○	○	くるみ割り人形 (巡回公演スペシャルバージョン)	「くるみ割り人形」 原作 E.T.ホフマン 作曲 P.I.チャイコフスキー 演出振付 今村博明 川口ゆり子	
D	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 梅若会	○	○	○	○	(公財)梅若会 能狂言鑑賞教室	能「殺生石」	
D	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人 三宅狂言会	○	○	○	○	三宅狂言会「葺」	狂言「益山 ほんさん」 狂言「葺(くさびら)」-大勢狂言- 監修 振付付け……三宅右近(和泉流狂言方) 企画原案 演出 脚本 構成 なかつぼ まこと	
D	伝統芸能	邦楽	邦楽グループ「玉手箱」	○	○	○	○	魅惑の和楽器体験「邦楽入門コンサート」	「日本の音をもとめて」~古典から現代への伝統 1.六段調 2.鹿の遠音 3.琵琶 4.春の海 5.雷ものがたり~朗読入り~ ※または「海鳴り」 6.ハロウ風「日本の四季より」※または「ワールド・トリップ!」 7.合同演奏さくら~みんなまで合奏してみよう	
D	伝統芸能	邦舞	舞踊集団菊の会	○	○	○	-	民俗芸能の魅力に迫る	①さなぶり荒馬(青森県)②鹿躍(岩手県)【ワークショップ I】装束を実際に触ってみる③鬼剣舞「一人加護」(岩手県) ④百鬼おどり(岩手県)⑤熊山囃子(秋田県)⑥傘おどり(鳥取県) ⑦鼓太鼓(鳥取県)【ワークショップ II】日本の楽器の音色を体感 ⑧阿波踊り(徳島県)⑨八木節(群馬県)代表の生徒さんも参加して一緒に踊ります。	
D	伝統芸能	演芸	カンジャマ・マイム	○	○	○	○	おしゃべりなバントマイム	演目 「おしゃべりなバントマイム」 脚本、演出、振付、舞台美術 (内容は小学生~中学生などの対象によって一部適応作品の変更可能)	
D	メディア芸術	メディアアート等	WOW	○	○	○	-	BAKERU - デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 -	-	

【C区分団体】

D・F	演劇	児童劇	[C区分]劇団風の子	○	○	○	-	「風の子バザール」を通して、世界の人たちの文化と生活を楽しもう	「風の子バザール」 構成演出:藤井郁夫振付:吉岡陽子 舞台美術デザイン:有賀二郎音楽:岸功・菊池大成 衣裳:小峯三奈 制作:浅野井優子	
-----	----	-----	------------	---	---	---	---	---------------------------------	--	--

※複数年度実施欄に「H30」の記載がある団体は平成30年度から、「R1」の記載がある団体は令和元年度から、「R2」の記載がある団体は令和2年度から3年間同じブロックで公演を行う団体です。

※<http://www.kodomojijutsu.go.jp/junkai/kouen.html>から、団体のホームページや現在実施されている令和元年度の情報を閲覧することができます。

	A・B区分団体														C区分団体		
	D34	D35	D36	D37	D38	D39	D40	D41	D42	D43	D44	D45	D46	D47	K121	K122	
	びわ湖ホール声楽アンサンブル	寛政シティ・フィルハーモニック管弦楽団	中部フィルハーモニー交響楽団	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	人形劇団ひとみ座	オペレッタ劇団ともしび	株式会社劇団芸術座	オペラシアターこんにやく座	パレエシャンプルウエスト	公益財団法人梅香会	一般社団法人三宅狂言会	邦楽グループ「玉手箱」	舞踊集団福の会	カンジヤマ・マイム	WOW	劇団風の子	
巡回ブロック	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	
項目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	パレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	邦楽	演芸	メディアアート等	D・F	
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	児童劇	
6月1日 月																	
6月2日 火																	
6月3日 水																	
6月4日 木																	
6月5日 金																	
6月6日 土																	
6月7日 日																	
6月8日 月		移	移														
6月9日 火		○	○														
6月10日 水		●	○														
6月11日 木			○														
6月12日 金			○														
6月13日 土			移														
6月14日 日		移	移														
6月15日 月		○	○														
6月16日 火		○	○														
6月17日 水		●	○														
6月18日 木			○														
6月19日 金			○														
6月20日 土			移														
6月21日 日																	
6月22日 月																	
6月23日 火																	
6月24日 水																	
6月25日 木																	
6月26日 金																	
6月27日 土																	
6月28日 日																	
6月29日 月																	
6月30日 火																	
7月1日 水																	
7月2日 木																	
7月3日 金																	
7月4日 土																	
7月5日 日																	
7月6日 月																	
7月7日 火																	
7月8日 水																	
7月9日 木																	
7月10日 金																	
7月11日 土																	
7月12日 日																	
7月13日 月																	
7月14日 火																	
7月15日 水																	
7月16日 木																	
7月17日 金																	
7月18日 土																	
7月19日 日																	
7月20日 月																	
7月21日 火																	
7月22日 水																	
7月23日 木																	
7月24日 金																	
7月25日 土																	
7月26日 日																	
7月27日 月																	
7月28日 火																	
7月29日 水																	
7月30日 木																	
7月31日 金																	
8月1日 土																	
8月2日 日																	
8月3日 月																	
8月4日 火																	
8月5日 水																	
8月6日 木																	
8月7日 金																	
8月8日 土																	
8月9日 日																	
8月10日 月																	
8月11日 火																	
8月12日 水																	
8月13日 木																	
8月14日 金																	
8月15日 土																	
8月16日 日																	
8月17日 月																	
8月18日 火																	
8月19日 水																	
8月20日 木																	
8月21日 金																	
8月22日 土																	
8月23日 日																	
8月24日 月																	
8月25日 火																	
8月26日 水																	
8月27日 木																	
8月28日 金																	
8月29日 土																	
8月30日 日																	
8月31日 月																	

	A・B区分団体															C区分団体
	D34	D35	D36	D37	D38	D39	D40	D41	D42	D43	D44	D45	D46	D47	K121	
	びわ湖ホール声楽アンサンブル	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	中部フィルハーモニー交響楽団	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	人形劇団ひとみ座	オペレッタ劇団ともしび	株式会社劇団芸術座	オペラシアターこんにやく座	パレエシャンブルウエスト	公益財団法人梅香会	一般社団法人三宅狂言会	邦楽グループ「玉手箱」	舞踊集団福の会	カンジャマ・マイム	WOW	劇団風の子
巡回ブロック	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
項目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	邦楽	演芸	メディアアート等	D・F
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	児童劇
9月1日	火			●	○											○
9月2日	水			○	○											○
9月3日	木			○	○											○
9月4日	金			○	○											○
9月5日	土			○				移				●				○
9月6日	日							移				●				○
9月7日	月		移		○							○				○
9月8日	火		○		○							○				○
9月9日	水		○		○							○				○
9月10日	木		○		○							○				○
9月11日	金		●		○							○				○
9月12日	土				○			移				●				○
9月13日	日		移		○			移				●				○
9月14日	月		○		○							○			○	○
9月15日	火		○		○							○				○
9月16日	水		○		○							○				○
9月17日	木		○		○							○				○
9月18日	金		●		○							○				○
9月19日	土							移				●				○
9月20日	日							●				●				○
9月21日	月							●				●				○
9月22日	火					移		移				●				○
9月23日	水				○							○				○
9月24日	木				○							○				○
9月25日	金				○							○				○
9月26日	土				○			●				●				○
9月27日	日							●				●				○
9月28日	月		移		○							○			○	●
9月29日	火		○		○							○				○
9月30日	水		○		○							○				○
10月1日	木		○		○							○				○
10月2日	金		●		○							○				○
10月3日	土							●				●				○
10月4日	日							●				●				○
10月5日	月	○			○			○	移			○				○
10月6日	火	○			○			○				○			○	○
10月7日	水	○			○			○				○				○
10月8日	木	○			○			○				○				○
10月9日	金	○			○			○				○				○
10月10日	土					移		○				●				○
10月11日	日	移				移		移				○				○
10月12日	月	○						○				○				○
10月13日	火	○						○				○			○	○
10月14日	水	○						○				○				○
10月15日	木	○			○			○				○				○
10月16日	金	○			○			○				○				○
10月17日	土				○			○				○				○
10月18日	日	移		移	○			○				○				○
10月19日	月	○		○	○			○				○			○	○
10月20日	火	○		○	○			○				○				○
10月21日	水	○		○	○			○				○				○
10月22日	木	○		○	○			○				○				○
10月23日	金	○		○	○			○				○				○
10月24日	土			移				○				○				○
10月25日	日	移						○				○				○
10月26日	月	○						○				○				○
10月27日	火	○						○				○			○	○
10月28日	水	○						○				○				○
10月29日	木	○						○				○				○
10月30日	金	○						○				○				○
10月31日	土							○				○				○
11月1日	日	移						○				○				○
11月2日	月	○				移		○				○				○
11月3日	火	○						○				○				○
11月4日	水	○						○				○				○
11月5日	木	○						○				○				○
11月6日	金	○						○				○				○
11月7日	土							○				○				○
11月8日	日	移						○				○				○
11月9日	月	○		移				○				○				○
11月10日	火	○		○				○				○				○
11月11日	水	○		○				○				○				○
11月12日	木	○		○				○				○				○
11月13日	金	○		○				○				○				○
11月14日	土			移				○				○				○
11月15日	日	移						○				○				○
11月16日	月	○		○	○			○				○			○	○
11月17日	火	○		○	○			○				○			○	○
11月18日	水	○		○	○			○				○				○
11月19日	木	○		○	○			○				○				○
11月20日	金	○		○	○			○				○				○
11月21日	土			○				○				○				○
11月22日	日			○				○				○				○
11月23日	月	移						○				○				○
11月24日	火	○		○				○				○				○
11月25日	水	○		○				○				○				○
11月26日	木	○		○				○				○				○
11月27日	金	○		○				○				○				○
11月28日	土			○				○				○				○
11月29日	日			○				○				○				○
11月30日	月		移		○			○				○				○

	A・B区分団体															C区分団体
	D34	D35	D36	D37	D38	D39	D40	D41	D42	D43	D44	D45	D46	D47	K121	K122
	びわ湖ホール声楽アンサンブル	東京シティ・フルハーモニック管弦楽団	中部フィルハーモニー交響楽団	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	人形劇団ひとみ座	オペレッタ劇団ともじび	株式会社劇団芸術座	オペラシアターこんにやく座	バレエシャンプルウエスト	公益財団法人梅若会	一般社団法人三宅狂言会	邦楽グループ「玉手箱」	舞踊集団福の会	カンジヤマ・マイム	WOW	劇団風の子
巡回ブロック	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
項目	合唱	オーケストラ等	オーケストラ等	オーケストラ等	児童劇	児童劇	演劇	ミュージカル	バレエ	歌舞伎・能楽	歌舞伎・能楽	邦楽	邦楽	演芸	メディアアート等	D・F
前日仕込みの有無	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり	児童劇
12月1日 火		○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	
12月2日 水		○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	
12月3日 木		○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	
12月4日 金		●		○	○		○	●		○	○	●	○	○	○	
12月5日 土				○			移					●				
12月6日 日				○			移					●				
12月7日 月					○	○	○	●		○	○	○	○	移	●	
12月8日 火					○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	
12月9日 水					○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	
12月10日 木					○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	
12月11日 金					○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	
12月12日 土						●	移					●				
12月13日 日						●	移					●				
12月14日 月				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	移	
12月15日 火					○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
12月16日 水					○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
12月17日 木					○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
12月18日 金					○		移	○				○		○		
12月19日 土							移	○				●				
12月20日 日							移					●				
12月21日 月							○	○		○	○	○		○	移	
12月22日 火							○	○		○	○	○		○	○	
12月23日 水							○	○		○	○	○		○	○	
12月24日 木							○	○		○	○	○		○	○	
12月25日 金							○	○		○	○	○		○	○	
12月26日 土							移					●				
12月27日 日							●					●				
12月28日 月							○			○	○	○		○		
12月29日 火							○			○	○	○		○		
12月30日 水							○			○	○	○		○		
12月31日 木							○			○	○	○		○		
1月1日 金							○			○	○	○		○		
1月2日 土							○			○	○	○		○		
1月3日 日							○			○	○	○		○		
1月4日 月				●			移			○		○				
1月5日 火				○			○			○	○	○		○		
1月6日 水				○			○			○	○	○		○		
1月7日 木				○			○			○	○	○		○		
1月8日 金				○			○			○	○	○		○		
1月9日 土				○			移					○				
1月10日 日				○			●					○				
1月11日 月				○			移					○				
1月12日 火				○			○			○	○	○		○	移	
1月13日 水				○			○			○	○	○		○	○	
1月14日 木				○			○			○	○	○		○	○	
1月15日 金				○			○			○	○	○		○	○	
1月16日 土				○			移					○		○		
1月17日 日				○			移					○		○		
1月18日 月				○			○			○	○	○		○	移	
1月19日 火				○			○			○	○	○		○	○	
1月20日 水				○			○			○	○	○		○	○	
1月21日 木				○			○			○	○	○		○	○	
1月22日 金				○			○			○	○	○		○	○	
1月23日 土				○			移					○				
1月24日 日			移				移					○				
1月25日 月			○	○			○			○	○	○		○	移	
1月26日 火			○	○			○			○	○	○		○	○	
1月27日 水			○	○			○			○	○	○		○	○	
1月28日 木			○	○			○			○	○	○		○	○	
1月29日 金			○	○			○			○	○	○		○	○	
1月30日 土			○	○			○			○	○	○		○	○	
1月31日 日			○	○			○			○	○	○		○	○	

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	コウエキザイダンホウジン ビワコゲイジュツブンカザイダン		
制作団体名	公益財団法人びわ湖芸術文化財団		
代表者職・氏名	理事長 山中 隆		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒520-0806 滋賀県大津市打出浜 15-1 (京阪電車 石場駅/JR 膳所駅、JR 大津駅)		
電話番号	077-523-7133	FAX番号	077-523-7147
ふりがな	ビワコホールセイガクアンサンブル		
公演団体名	びわ湖ホール声楽アンサンブル		
代表者職・氏名	監修・びわ湖ホール芸術監督 沼尻竜典		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 同上		
制作団体 設立年月	1996年4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:山中 隆 理事:岡田修二、鷺見徳彦、大道良夫 中谷 満、仲間裕子、西井清春、本田啓子 藤野一夫、森西真弓、徳本次夫 常務理事:太田喜之 監事:田畑克行、清水一記	理事長兼館長 1人 専任職員(プロパー) 40人 嘱託職員 6人 声楽アンサンブル※ 12人	県派遣職員 7人 期間職員 28人 臨時職員 5人 合計 99人
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	有田 淳
経理処理等の 監査担当の有無	①・無	経理責任者名	太田喜之

※加入条件:音楽大学卒業以上または同等の能力を有する者で満30歳以下の者。またはびわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーとしての在籍期間が3年を満了する者。

制作団体沿革	1996年4月 財団法人びわ湖ホール設立 1998年3月 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール竣工、同年9月開館 2006年4月 指定管理者指定(5年間) 2011年4月 公益財団法人に移行、指定管理者指定(2期目、5年間) 2016年4月 指定管理者指定(3期目、5年間) 2017年4月 公益財団法人びわ湖芸術文化財団に名称変更(財団統合)		
学校等における公演実績	<p>◆オペラ「泣いた赤鬼」 浜田廣介原作、松井和彦作曲 子供向けオペラ「泣いた赤鬼」をびわ湖ホール声楽アンサンブルのメンバーがソリストを務めて上演しています。 2009年度 4公演 びわ湖ホール中ホール(2公演)、長浜文化芸術会館しが県民芸術創造館 2010年度 2公演 日野町民会館わたむきホール虹、伊吹薬草の里文化センター 2011年度 4公演 高島市民会館、藤樹の里文化芸術会館(2公演)、ガリバーホール 2012年度 4公演 さざなみホール、野洲文化ホール、リュートプラザ(2公演) 2013年度 3公演 守山市民ホール、びわ湖ホール中ホール(2公演) 2015年度 4公演 茨木市クリエイティブセンター(2公演)、豊栄のさと、守山市民ホール</p> <p>◆学校巡回公演(音楽鑑賞) 県内の学校に出かけて、約1時間の本格的な音楽公演を体育館等で行っています。 2001年度から2019年度までのべ 181 校 50,483 人の児童が鑑賞。</p> <p>◆ふれあい音楽教室(小学校中学年～高学年) 声楽アンサンブルのメンバー2人とピアニストが小学校の音楽の授業に出かけ、ミニコンサートや合唱指導を行います。 2001年度から2018年度までのべ 247 校 17,048 人の児童が鑑賞。</p> <p>◆びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう! 県内の学校を対象としたオーケストラ公演を実施し、音楽の魅力と劇場の魅力を伝えます。オーケストラは、日本を代表する楽団である京都市交響楽団の協力を得ています。 2011年度から2019年度までのべ 830 校 62,040 人の児童が鑑賞。</p> <p>◆文化芸術による子供育成総合事業 令和元年度から採択・参加。事前のワークショップを終えましたが、プロのオペラ歌手の歌声を身近で聴く「本物体験」と歌手による校歌などの歌唱の指導を大変好評いただいています。 このほか、学校からの依頼に応じて、芸術鑑賞公演を企画・実施しています。</p>		
特別支援学校における公演実績	「びわ湖ホール 音楽会へ出かけよう！」にて特別支援学校の参加を受け入れています。 2011年度から2019年度までのべ 66 校 2,367 名が鑑賞。 <p>◆文化芸術による子供育成総合事業 令和元年度から採択・参加。事前のワークショップを終えましたが、プロのオペラ歌手の歌声を身近で聴く「本物体験」と歌手による校歌などの歌唱の指導を大変好評いただいています。</p>		
参考資料の有無	A Aの提出が困難な場合	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	有 ・ 無 有 ・ 無 ID: PW: 有 ・ 無 https://youtu.be/FGbll9h8Zgo ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 びわ湖ホール声楽アンサンブル】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生											
企画名	歌い継ぎたい 美しい日本のうた											
本公演演目	びわ湖ホール声楽アンサンブル「歌い継ぎたい 美しい日本のうた」特別プログラム 公演時間(80～90分)											
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	有 (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無								
演目概要	<p>私たちには、日本の美しい自然と情景、そしてそこに暮らす人々のきめ細やかな心情として歌い継がれてきた日本の心の歌があります。懐かしい原風景を思い起こさせてくれる童謡や唱歌は、世代を超えていつの時代にも愛されてきました。また、その心を受け継いで生まれてくる新しい日本の歌や、時代を映して人々の心に寄り添う歌も、きっと後世に歌い継がれていくことでしょう。</p> <p>そんな次世代に歌い継いでいきたい美しい日本のうたを、みなさんの心に届けます。</p> <p>◆オープニング ふるさと(唱歌/作詞:高野辰之作詞 作曲:岡野貞一)</p> <p>◆校歌 各校校歌演奏</p> <p>◆声の特徴を聴いてみよう ほたるこい(童謡/女声合唱) 箱根八里(唱歌/作詞:鳥居 枕 作曲:滝 廉太郎/男声合唱) 荒城の月(唱歌/作詞:土井晩翠 作曲:滝 廉太郎) 椰子の実(唱歌/作詞:島崎藤村 作曲:大中寅二)</p> <p>◆日本の四季 唱歌メドレー“さくら～鯉のぼり～ちいさい秋みつけた～雪” 四季のうた(唱歌/作詞・作曲:荒木とよひさ)</p> <p>◆歌詞に込められた思いを感じてみよう 世界にひとつだけの花(J-POP/SMAP・槇原敬之) ふるさと(J-POP/嵐-ARASHI-)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">小学校</th> <th style="width:50%;">中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>野に咲く花のように(J-POP/ダ・カーポ) ともだちになるために(童謡/手話付き)</td> <td>手紙～拝啓 十五の君へ～(アンジェラ・アキ) 花は咲く(東日本大震災復興支援ソング)</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆歌唱指導 校歌、Believe または参加校希望曲</p> <p>◆合同演奏 Believe(合唱曲/作詞・作曲:杉本竜一) または参加校希望曲</p> <p>◆アンコール</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%;">小学校</th> <th style="width:50%;">中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>となりのトトロ (ジブリ映画「となりのトトロ」より)</td> <td>フニクリ・フニクラ～鬼のパンツ</td> </tr> </tbody> </table>				小学校	中学校	野に咲く花のように(J-POP/ダ・カーポ) ともだちになるために(童謡/手話付き)	手紙～拝啓 十五の君へ～(アンジェラ・アキ) 花は咲く(東日本大震災復興支援ソング)	小学校	中学校	となりのトトロ (ジブリ映画「となりのトトロ」より)	フニクリ・フニクラ～鬼のパンツ
小学校	中学校											
野に咲く花のように(J-POP/ダ・カーポ) ともだちになるために(童謡/手話付き)	手紙～拝啓 十五の君へ～(アンジェラ・アキ) 花は咲く(東日本大震災復興支援ソング)											
小学校	中学校											
となりのトトロ (ジブリ映画「となりのトトロ」より)	フニクリ・フニクラ～鬼のパンツ											
*演奏曲は各校のリクエストにも対応いたします。												

<p>演目選択理由</p>	<p>声楽は自分の体が楽器であり、人は誰もがそれぞれ個性ある楽器を持ち合わせています。それは子供たちも同じです。自分の体を楽器として音楽を奏でること、勉強やスポーツのように、鍛錬すれば美しい歌声を響かせることができることを本企画をとおして体験していただきます。</p> <p>また、歌には他の楽器と違って言葉があり、言葉を音楽にのせて思いを伝えることができることが歌の大きな特徴です。磨き上げられたプロの声楽家の演奏をとおして、歌詞に込められた思いや言葉の力を子供たちに感じていただきます。また、そこで感じたことを自分なりに表現できるよう、プロの声楽家と一緒に歌っていただきます。歌声だけでなく心も合わせて一緒に音を奏でます。</p> <p>日本の原風景を思い起こさせてくれる童謡・唱歌の魅力を感じていただき、これからは末永く次世代に歌い継いられるよう本企画を選定しました。</p> <p>演奏は、一人ひとりがオペラやコンサートのソリストとして活躍している歌手8人のアンサンブルでお届けします。一人ひとりの声を際立たせたり、溶け合ったハーモニーの美しさを聴いていただいたり、アンサンブルならではの声の魅力を存分に感じていただきます。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>各学校独自の歌であり、普段から歌い慣れている校歌を題材に、より一層充実した演奏ができる指導を行います。</p> <p>また、合同演奏として、全学年で歌いやすい Believe や各学校の希望に応じた曲の歌唱指導を行い、子供たちの近くで一緒に歌います。プロの声楽家と身近で一緒に歌うことをとおして、歌への興味関心を喚起します。</p>		
<p>出演者</p>	<p><u>びわ湖ホール声楽アンサンブル</u></p> <p>びわ湖ホール独自の創造活動の核としてホール開館の1998年に設立。全国から厳しいオーディションで選ばれた劇場専属の声楽家集団として、びわ湖ホール自主公演への出演を主な活動とし、オペラ公演のみならず多岐にわたる声楽曲に取り組んでいる。依頼を受けて国内各地での公演にも出演するほか、滋賀県内の学校を対象とした公演を行うなど、音楽の普及活動にも積極的に取り組んでいる。2013年第26回大津市文化賞、17年第42回滋賀県文化賞受賞。</p> <p>2019年度 専属メンバー:12名 登録メンバー:61名</p> <p>・専属メンバー 熊谷綾乃、平尾 悠、船越亜弥、山田知加、上木愛李、藤居知佳子 谷口耕平、蔦谷明夫、坂東達也、宮城朝陽、市川敏雅、美代開太</p> <p>・登録メンバー 飯嶋幸子、岩川亮子、上田祥子、江藤美保、大川 繭、大垣加代子、基村昌代、熊本裕子、栗原未和、黒澤明子、黒田恵美、小林あすき、小林久美子、佐藤路子 嶋田友里恵、清水芳子、白根亜紀、鈴木 望、田島茂代、田中千佳子、谷村由美子 中嶋康子、林 育子、日比直美、藤村江李奈、本田華奈子、益田早織、松下美奈子 溝越美詩、森 季子、山際きみ佳、吉川秋穂、渡辺玲美 相沢 創、青柳貴夫、内山建人、梅原光洋、角地正範、川野貴之、菊田隼平、河野知久 五島真澄、島影聖人、清水徹太郎、下岡輝永、砂場拓也、竹内公一、竹内直紀 津國直樹、二塚直紀、林 隆史、古屋彰久、増田貴寛、松本 晃、松森 治、的場正剛 宮城島 康、迎 肇聡、安田旺司、山本哲也、山本康寛</p> <p>*出演者は上記メンバーより選出</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 10 名 スタッフ: 3 名 合計: 13 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>*運搬車両なし (出演者・スタッフ 移動用車両のみ)</p>

【公演団体名 びわ湖ホール声楽アンサンブル】

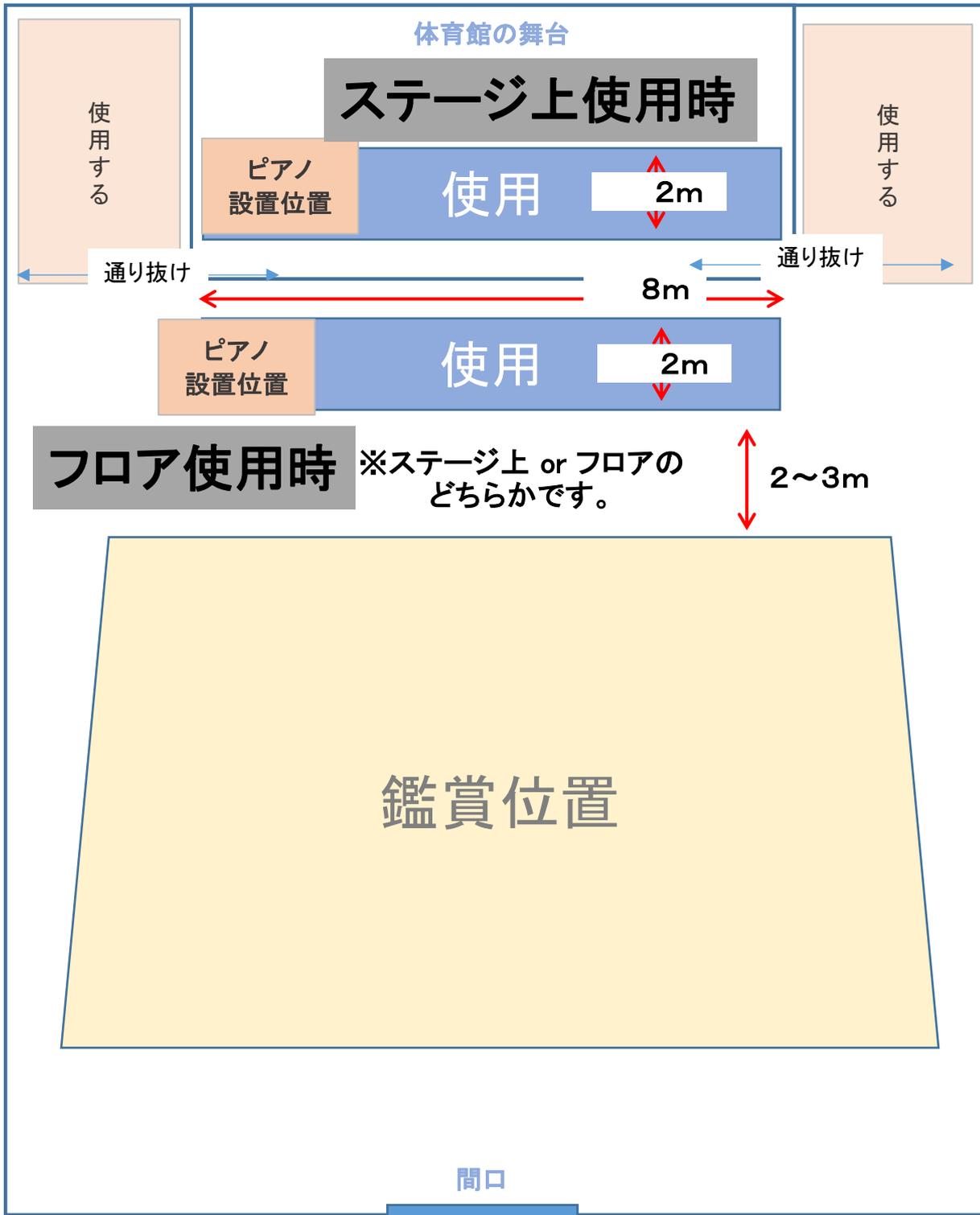
公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ <input type="checkbox"/>) 会場設営の所要時間(1時間程度)					
	到着	リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出
	10:30	11:00~12:00	13:00~14:20	10分	14:30~15:00	15:00
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	クラス毎 ～ 100名程度まで				
	本公演	1,000名程度までの会場規模が適当				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p>◆ワークショップ「ふれあい音楽教室」</p> <p>歌手2人とピアニスト1人が学校に赴き、ミニコンサートや歌唱指導などの実演を交えて、「歌」全般についてわかりやすい授業を行います。また、本公演で行う合同演奏や歌詞についての事前指導を行い、理解を深めて公演当日への期待を膨らませます。</p> <p>・ピアノのある部屋(音楽室等)で実施、電子ピアノでも可 ・1回45分～60分程度、100名程度まで(いずれも応相談) ・1日3回まで実施可能</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	歌い継がれてきた日本の歌の美しさ、日本語の響きの美しさを、少人数の歌手が授業形式で紹介することで、本公演への興味をより一層引き立てます。また、歌を職業とするプロの歌手が身近に子供たちと直接触れ合い、普段の授業にも活きる歌い方の指導を行うことで、歌や歌うことへの関心を高め、公演当日に親しみを持って鑑賞できると考えます。					
特別支援学校での 実施における工夫 点	これまでに特別支援学校に向けて積極的に事業展開をしてきた実績があり、各学校の実情に合わせて柔軟に対応します。ワークショップについては、基本的には同じ内容で実施可能ですが、特別な配慮や事情がある児童・生徒に合わせて、内容を提案して学校側と相談します。聴覚障害のある児童・生徒にも視覚的に楽しめる工夫を凝らすなど、有意義なワークショップとなるよう努めます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D34	分野	音楽	種目	合唱	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	びわ湖ホール声楽アンサンブル			制作団体名	公益財団法人びわ湖芸術文化財団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男女別の着替え用であるためカーテンがある部屋や窓から見えないようにしていただきたいです。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			マイクロ～中型バス 1台				
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			なし				
	—	搬入車両の横づけの要否 *			不要				
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	—	搬入経路の最低条件			なし				
	—	理由			—				
	—	設置階の制限 *			問わない				
—	搬入間口について 単位:メートル		幅	—	高さ	—			
WSIについて	可	参加可能人数			1クラス毎～100名程度まで				
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			45分～60分程度/コマ(授業時間に合わせられます)				
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			会場収容人数上限まで可				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	約8m	奥行	約2m	高さ	指定なし	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			
	可		舞台袖スペースの条件 *			待機できるスペースがある状態			
	—		緞帳 *	不要		バトン *	不要		
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由	—		
	可	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *		要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。			
	不可		ピアノの事前調律 *		要				
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	—	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	ピアノの調律は可能な限り直前をお願いしたいですが、難しい場合は3か月以内に行っていれば結構です。								
可	ピアノがステージ上にある場合は、歌手がステージからフロアへ降りる階段を使用させていただきます。								



搬入間口について	幅	-	高さ	-
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

びわ湖ホール声楽アンサンブル

歌い継ぎたい

美しい日本のうた

私たちには、日本の美しい自然と情景、そしてそこに暮らす人々のきめ細やかな心情として歌い継がれてきた“日本の心の歌”があります。

これからも歌い継いでいきたい美しい日本のうたをびわ湖ホール声楽アンサンブルの歌声でみなさんの心に届けます。

*びわ湖ホール声楽アンサンブルは、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール専属のオペラ歌手集団です。
びわ湖ホールで行うオペラや演奏会だけでなく、滋賀県内の小学生を対象としたオーケストラコンサート「音楽会へ出かけよう！」や体育館で行う「学校巡回公演」など、音楽の普及活動も積極的に行っています。

◆ プログラム

● オープニング

ふるさと (唱歌/作詞:高野辰之作詞 作曲:岡野貞一)

● 校歌

各校校歌演奏

● 声の特徴を聴いてみよう

ほたるこい (童謡/女声合唱)

箱根八里 (唱歌/作詞:鳥居 忱 作曲:滝 廉太郎/男声合唱)

荒城の月 (唱歌/作詞:土井晩翠 作曲:滝 廉太郎)

椰子の実 (唱歌/作詞:島崎藤村 作曲:大中寅二)

● 日本の四季

唱歌メドレー “さくら～鯉のぼり～ちいさい秋みつけた～雪”

四季のうた (唱歌/作詞・作曲:荒木とよひさ)

● 歌詞に込められた思いを感じてみよう

世界にひとつだけの花 (J-POP/SMAP)

ふるさと (J-POP/嵐-ARASHI-)

小学校

野に咲く花のように (J-POP/ダ・カーポ)
ともだちになるために (童謡/手話付き)

中学校

手紙～拝啓 十五の君へ～ (J-POP/アンジェラ・アキ)
花は咲く (東日本大震災復興支援ソング)

● 歌唱指導

校歌、Believe または 参加校希望曲

● 合同演奏

Believe (合唱曲/作詞・作曲:杉本竜一) または 参加校希望曲

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱、 <u>オーケストラ等</u> 、音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	いっばんざいだんほうじん とうきょうしてい・ふいるざいだん		
制作団体名	一般財団法人 東京シティ・フィル財団		
代表者職・氏名	代表理事 志田 明子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒135-0002 東京都江東区住吉一丁目19番1号 (最寄り駅: 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線 住吉駅)		
電話番号	03-5624-4022	FAX番号	03-5624-4114
ふりがな	とうきょうしてい・ふいるはーもにつくかんげんがくだん		
公演団体名	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団		
代表者職・氏名	楽団長 志田 明子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒135-0002 東京都江東区住吉1-19-1-203 (最寄り駅: 東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線 住吉駅)		
制作団体 設立年月	2010年 10月		
制作団体 組織	役員 代表理事 志田 明子 ほか理事 4名 評議員 9名 監事 1名	団体構成員及び加入条件等	
事務体制の担当	<u>専任</u> ・他の業務と兼任	本事業担当者名	新藤 毅
経理処理等の 監査担当の有無	有・ <u>無</u>	経理責任者名	渡邊 智子

制作団体沿革	<p>平成 22 年 10 月 1 日付で一般財団法人 東京シティ・フィル財団を設立。 設立者であり演奏団体である東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団は、昭和 50 年自主運営のオーケストラとして設立された。その活動は年 14 回の定期演奏会を柱に、オペラ・バレエ公演やポップスコンサートのほか、映画音楽、テレビ出演、CD 録音、音楽鑑賞教室まで多岐にわたる。平成 6 年には江東区と提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点として各種コンサートや公開リハーサル、楽器の公開レッスン、音楽セミナーなど、地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。</p> <p>常任指揮者には平成 9 年 9 月より、ドイツ音楽、特にワーグナー指揮者として名高い飯守泰次郎が就任。また、平成 14 年 4 月にパリ在住の指揮者・矢崎彦太郎が首席客演指揮者に就任。フランス音楽を網羅した画期的なシリーズを展開し注目を集めた。平成 24 年 4 月より初代音楽監督に宮本文昭が就任した。平成 27 年 4 月より、高関健が常任指揮者に就任。平成 31 年 4 月より藤岡幸夫が首席客演指揮者に就任。</p>
学校等における 公演実績	<p>過去 5 年間(平成 27 年度～平成 31(令和元)年度)の公演</p> <p>【平成 27 年度～平成 31(令和元)年度】</p> <p>「江東区中学校音楽鑑賞教室」 15 公演 「江東区小学校音楽鑑賞教室」 18 公演 「ティアラこうとうアウトリーチ・コンサート(小学校)」 30 公演</p> <p>【平成 27 年度～平成 31(令和元)年度】</p> <p>「立川市内小学校アウトリーチ・コンサート」 27 公演 「立川市内中学校アウトリーチ・コンサート」 4 公演</p> <p>【平成 27 年度】</p> <p>「長野市内小学校音楽鑑賞教室」 18 公演</p> <p>【平成 28 年度】</p> <p>「都立大泉高等学校・附属中学校音楽鑑賞教室」 1 公演</p> <p>【平成 29 年度】</p> <p>「目白学園音楽鑑賞教室」 1 公演 「中央大学付属高等学校」 1 公演 「本郷学園音楽鑑賞教室」 1 公演 「立教女学院音楽鑑賞教室」 1 公演</p> <p>【平成 30 年度】</p> <p>「昭和女子大学音楽鑑賞教室」 1 公演 「國學院久我山中学高等学校音楽鑑賞教室」 1 公演 「浦和明の星中学・高等学校音楽鑑賞教室」 1 公演</p> <p>【平成 31(令和元)年度】</p> <p>「昭和女子大学音楽鑑賞教室」 1 公演 「日本大学第三高等学校音楽鑑賞教室」 1 公演 「茨城高等学校・中学校音楽鑑賞教室」 1 公演 「狭山ヶ丘高等学校音楽鑑賞教室」 1 公演 「桜修館中等教育学校音楽鑑賞教室」 1 公演 「立教女学院中学校・高等学校音楽鑑賞教室」 1 公演</p>

特別支援学校における公演実績	平成 21 年 11 月 2 日 (火) 山梨県立盲学校 (オーケストラ公演) 平成 21 年 12 月 2 日 (水) 東京都立墨田特別支援学校 (室内楽公演) 平成 22 年 12 月 17 日 (金) 東京都所沢特別支援学校 (オーケストラ公演) 平成 24 年 12 月 6 日 (木) 東京都立墨東特別支援学校 (室内楽公演) 平成 25 年 2 月 27 日 (水) 埼玉県立川越特別支援学校 (オーケストラ公演) 平成 27 年 10 月 7 日 (水) 福岡県立築城特別支援学校 (オーケストラ公演)		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	有 無 有 無 ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	有 無 ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生
企画名	《東京シティ・フィルと一緒にオーケストラの響きを楽しもう!》
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【小学校プログラム】</p> <p>◆ビゼー/歌劇「カルメン」より前奏曲 —弦楽器のお話—</p> <p>◆モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章 —木管楽器のお話—</p> <p>◆チャイコフスキー/バレエ「白鳥の湖」より“4羽の白鳥たちの踊り” —金管楽器のお話—</p> <p>◆アンダーソン/トランペット吹きの日 —打楽器のお話—</p> <p>◆アンダーソン/シンコペーテッド・クロック —指揮にチャレンジしてみよう!—(指揮体験コーナー)</p> <p>◆ブラームス/ハンガリー舞曲第5番 —合唱曲で全員がオーケストラと共演…以下2曲から1曲を選択</p> <p>◆杉本竜一/ビリーブ 又は ◆菅野よう子/花は咲く —オーケストラの響きを体感しよう…以下2曲から1曲を選択</p> <p>◆シベリウス/交響詩「フィンランディア」 又は ◆スメタナ/交響詩「わが祖国」より“ヴェルタヴァ” —オーケストラの伴奏で校歌を歌おう!—</p> <p>◆各学校校歌(オーケストラ・アレンジバージョン)</p> <p>【中学校プログラム】</p> <p>◆ロッシェニ/歌劇「ウィリアム・テル」より“スイス軍の行進” —弦楽器のお話—</p> <p>◆モーツァルト/アイネ・クライネ・ナハトムジーク —木管楽器のお話—</p> <p>◆チャイコフスキー/バレエ「白鳥の湖」より“4羽の白鳥たちの踊り” —金管楽器のお話—</p> <p>◆アンダーソン/トランペット吹きの日 —打楽器のお話—</p> <p>◆アンダーソン/シンコペーテッド・クロック —指揮にチャレンジしてみよう!—(指揮体験コーナー)</p> <p>◆ブラームス/ハンガリー舞曲第5番 —合唱曲で全員がオーケストラと共演…以下2曲から1曲を選択</p> <p>◆杉本竜一/ビリーブ 又は ◆菅野よう子/花は咲く —オーケストラの響きを体感しよう…以下2曲から1曲を選択</p> <p>◆シベリウス/交響詩「フィンランディア」 又は ◆スメタナ/交響詩「わが祖国」より“ヴェルタヴァ” —オーケストラの伴奏で校歌を歌おう!—</p> <p>◆各学校校歌(オーケストラ・アレンジバージョン)</p>
	公演時間(休憩含む約90分)

	著作権	—	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	(制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>《東京シティ・フィルと一緒にオーケストラの響きを楽しもう!》と題して、身近にオーケストラを見て・聴いて、空気と床を伝わる音の振動と響きを体感していただきます。教科書に載っているような著名な作曲家の代表作の中でも、それぞれの楽器の特徴がよく顕われている作品を選択いたしました。楽器による音の違いがわかる事によって、より深くオーケストラを楽しんでいただけます。</p> <p>児童・生徒の皆さんは、ただ聴くだけではなく、合唱曲・校歌での共演や指揮体験などを通して、オーケストラメンバーと一体感を持ち、音楽による交流をすることができます。</p>						
演 目 選 択 理 由	<p>楽器のお話では弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の4群について、それぞれの特徴を紹介するとともに音色も聴いていただきます。さらにそれぞれの群が特徴的な曲を演奏して、体系的にオーケストラの楽器に対する理解を深めていただくように構成しております。(ハープのみ単独の紹介をいたします)</p> <p>小中学校ともにメインの曲を選択式としております。音楽の授業の教材として取り上げている物であったり、先生方が事前学習として取り組みやすいものを選びいただければと考えております。いずれも作曲家の祖国を描いた曲で、歴史の教材としても活用できるようにしております。</p>						
児 童 ・ 生 徒 の 共 演 ， 参 加 又 は 体 験 の 形 態	<p>◆校歌 いつもはピアノ伴奏で歌っている校歌を、オーケストラ伴奏にアレンジし、オーケストラと一緒に全校児童・生徒の皆さんに歌っていただきます。</p> <p>◆合唱曲の共演 開催校に合唱で共演する曲目を選択いただき、開催校が取り組み易い形を設定いたします。事前のワークショップでは共演のための合唱練習と指導をし、本公演では児童・生徒さんがオーケストラと共演して練習の成果を発表します。</p> <p>◆指揮者の秘密を探る ブラームスのハンガリー舞曲第5番を取り上げ、児童・生徒の皆さんの中から数名に実際に指揮を体験していただきます。オーケストラを聴いたり見たりする機会があっても、70余名のオーケストラを指揮する機会はありません。指揮台に立ち、指揮者の気持ちを実感することも貴重な経験になると思います。また、楽団員との音楽を通したコミュニケーションをとることができます。</p>						
出 演 者	<p>指揮者:1名 司会者:1名 オーケストラ:65名 (2管12型)</p>						
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 67名 スタッフ: 6名 合計: 73名</p>	機 材 等 運搬方法	<p>積載量 4t 車長 9m 台数 1台</p>				

【公演団体名 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団】

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(2時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～ 11月時	13時半 ～ 15時	5分	15時～ 16時半	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	会場に入る限り制限なし				
	本公演	会場に入る限り制限なし				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	指揮者(アドヴァイザー)やオーケストラの各楽器奏者数名とピアニストが参加します。本公演の際にオーケストラをより身近に感じていただけるよう、オーケストラの解説や、普段使用している楽器の紹介をし、児童・生徒さんからの質問にもお答えします。そして、各楽器奏者によるミニコンサートで実際に音を聴いていただきます。また、本公演で共演する合唱曲の練習と指導を実施いたします。					
ワークショップ 実施形態の意図	授業単位2時限という貴重な時間を有効に利用して、オーケストラのイメージを持っていたくために、スライド映像の利用や、実際に管楽器のマウスピースやリードを利用して音の出る仕組みを解説してから聴いてもらう等の工夫をしています。合唱の練習指導では歌うだけではなく、発声の仕組み・歌詞の意味を考えてみるというように、充実した時間を児童・生徒の皆さんと過ごせるような内容を実施いたします。児童・生徒さんが一方的に話を聞くだけでなく、彼らからの質問や疑問に答えてお互いのコミュニケーションを図ることにより、更に本公演への興味・意欲が増すと思われまます。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	盲学校でのワークショップでは、オーケストラの楽器の話をする際、楽器(学校所有)を子供たちに実際に触ってもらったり、吹いてもらったりして、楽器の大きさや形などを身体で感じてもらえるようにしております。また、リズム的な曲で身体を自由に動かしたり、児童・生徒の皆さんがよく知っている歌を取り入れたりしています。演奏者からのアプローチの仕方も工夫し、一体感を持てるように実施いたします。					
実施可能時期	実 施 可 能 時 期 スケ ジ ュ ー ル 表 を ご 確 認 く だ さ い 。					

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—
出演予定者

管弦楽：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

指揮者 松川智哉
コンサートマスター 戸澤哲夫
特別客演コンサートマスター 荒井英治

第1 ヴァイオリン	栗津惇 11名 安藤貴子 木村典子 黒川史恵 古賀恵 高宮城凌 照沼愛子 野尻弥史矢 藤野郁子 前島純子 吉武由夏	チェロ	長明康郎 大友肇 香月圭佑 阿相道広 鈴木龍一 畑野誠司	ホルン	荒木政隆 小林祐治 村本岳史 谷あかね
第2 ヴァイオリン	桜井春栄 10名 清水敦 中津留果己 浜田慶子 松坂明子 盛川奈々 吉田巧 未定 未定 未定	コントラバス	山崎実 菅原敦子 瀬野恒 蓮池仁 宮田周介	トランペット	松木亜希 3名 平木仁 未定
ヴィオラ	臼木麻弥 8名 粕谷和 佐藤裕子 佐藤良輔 三瓶麻子 靱山真子 未定 未定	フルート	竹山愛 伊藤倫子 未定	トロンボーン	佐藤洋樹 3名 未定 未定
		オーボエ	本多啓佑 高橋舞	テューバ	横田和宏 1名
		クラリネット	山口真由 佐久間順 須東祐基	パーカッション	目等貴士 4名 黒川正宏 松本祐二 未定
		ファゴット	皆神陽太 石井野乃香 鈴木明博	ハープ	未定 1名

2019年8月6日現在

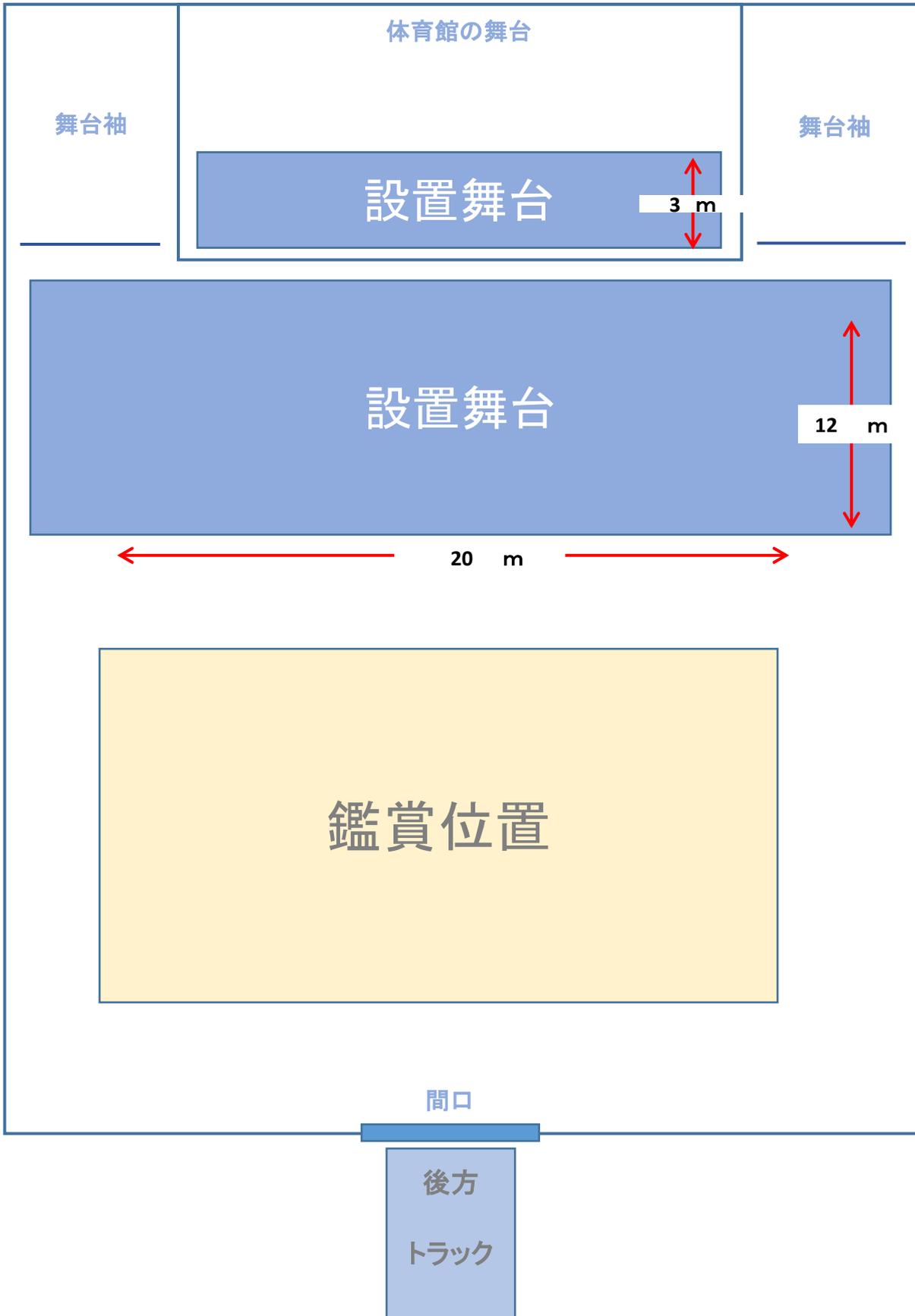
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D35	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団			制作団体名	一般財団法人 東京シティ・フィル財団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者1室、司会者1室、男性1室、女性1室 着替えるためカーテンが必要です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *		4tトラック 1台	大型バス 2台				
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ		4tトラック(幅2.3m×高さ3.3m×長9.7m)					
	可	搬入車両の横づけの要否 *		要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *		10m以内					
	不可	搬入経路の最低条件		①舗装されている(凹凸がない)事 ②屋根がある事 ③横幅が2m以上ある事 ④勾配がない事					
		理由		最大100kgのケースを運ぶため					
	可	設置階の制限 *		エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
	不可	搬入間口について 単位:メートル	幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数	ワークショップ会場に収まれば何名でも可						
	—	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	なし				
	可	所要時間の目安 単位:分	90						
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間	※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。						
	可	鑑賞可能人数	鑑賞位置内に収まれば何名でも可						
	可	舞台設置場所 *	ステージ上・フロアの両方						
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	20	奥行	15	高さ	指定なし	
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *		不要				
	—		舞台袖スペースの条件 *						
	—		緞帳 *	不要	バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *	要	理由	直射日光が原因で楽器が演奏できなくなる恐れがあるため				
	—	ピアノの調律・移動の要否	指定位置へのピアノの移動 *	不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。				
	—		ピアノの事前調律 *	不要					
	可	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可					
	—	公演に必要な電源容量	不要	※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項								
	学校周辺が大型車両(搬入トラック)の通行が可能であること。特に学校敷地内に搬入トラックが入る際の曲がり口など、十分に広さがあること。								
	搬入間口が1m70cm程度あり、搬入が1階でできること。								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

れい わ がん ねん
令和元年

ぶん か げい じゆつ こ ども いく せい そう ぎょう じ ぎょう
文化芸術による子供育成総合事業

じゆん かい こう えん じ ぎょう
—巡回公演事業—

こう えん
〈オーケストラ公演〉

とう きょう かん げん かく だん
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



©堀田正矩

ぶん か げい じゆつ こ ども いく せい そう ぎょう じ ぎょう じゆん かい こう えん じ ぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—」

わ くに いちりゅう ぶん か げい じゆつ だん たい しょう がっこう ちゅう ぎょう とう ぞう など こう えん こ ども すく ぶ たい
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台
げい じゆつ かん しょう き かい え こ ども ほつ そう りよく のう りよく いく せい
芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、
しょう らい げい じゆつ か いく せい こく じん げい じゆつ かん しょう のう りよく こう じょう もく てき
将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じ ぜん じつ せん し どう また かん しょう し どう おこな じつ せん
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、
こ ども さん か
できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文部科学

♪ 曲目解説 ♪

●ビゼー作曲／歌劇「カルメン」より前奏曲【小学校のみ】

スペインを舞台に、カルメンという女性を中心にした物語のオープニングで演奏されます。演奏会を盛り上げるのにピッタリな一曲です。

●ロッシーニ作曲／歌劇「ウィリアム・テル」より“スイス軍の行進”【中学校のみ】

14世紀にスイスで活躍したといわれる、伝説の英雄ウィリアム・テル。彼を描いた作品から最も有名な曲を演奏します。運動会で使われることでも有名です。

●弦楽器のお話 モーツァルト作曲／アイネ・クライネ・ナハトムジーク

●木管楽器のお話 チャイコフスキー作曲／バレエ「白鳥の湖」より“4羽の白鳥たちの踊り”

●金管楽器のお話 アンダーソン作曲／トランペット吹きの休日

●打楽器のお話 アンダーソン作曲／シンコペーテッド・クロック

オーケストラは4つのグループでできています。一緒に演奏すると混ざり合っとても豊かな音がしますが、一つ一つはどんな音がするのでしょうか？ いろんな楽器の特徴を発見してみましょう。

●指揮者を体験してみよう！

ブラームスが作曲した「ハンガリー舞曲第5番」を利用して、オーケストラを指揮してみよう。指揮者が変われば音楽も変わります。見ているみんなも応援してあげてね！

●オーケストラと一緒に歌おう！

この日のために練習してきた成果を発揮し、みんなの学校だけの演奏会を創りあげよう！ ワークショップで練習した内容や、気を付けた事を思い出して、精一杯オーケストラとの共演を楽しもう！

●スメタナ作曲／交響詩「わが祖国」より“ヴルタヴァ(モルダウ)”【選択式】

スメタナが生まれた国：チェコ。その中で最も長い「ヴルタヴァ川」の上流から海へ向かう様子を音楽で表現しています。川が旅する物語を思い浮かべてみましょう。

●シベリウス作曲／交響詩「フィンランディア」【選択式】

フィンランド生まれの作曲家：シベリウスは、帝政ロシアから独立を勝ち取る祖国の姿を音楽で表現しました。

●みんなの校歌が大変身！ 校歌～オーケストラバージョン～

普段ピアノ伴奏でみんなが歌っている校歌が、なんとオーケストラ伴奏に大変身！
世界で一つだけのみんなの校歌はどんな響きがするのかな！？

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <u>オーケストラ等</u> , 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	にんていえぬびーおーほうじん ちゅうぶ ふいはーもにーこうきょうがくだん 認定 NPO 法人 中部フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒485-0041 愛知県小牧市小牧 2-107 小牧市市民会館内 (名鉄小牧線「小牧」駅から徒歩 10 分)		
電話番号	0568-43-4333	FAX 番号	0568-43-4334
ふりがな 公演団体名	ちゅうぶ ふいはーもにーこうきょうがくだん 中部フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長 加藤隆久		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒485-0041 愛知県小牧市小牧 2-107 小牧市市民会館内 (名鉄小牧線「小牧駅」から徒歩 10 分)		
制作団体 設立年月	2,000 年(平成 12 年) 10 月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	会長:西村義明 副会長:建部信喜 理事長: 加藤隆久 専務理事:大野英人 常任理事: 赤堀裕之史 岩田徹 河井裕二 後藤孝文 副島孝 水野恵翠 理事 12 名 監事:野々川 和明 舟橋嘉成 事務局長:大野英人 総務 部長:布藤和志 営業部長:喜多秀人他6名		芸術監督・首席指揮者:秋山和慶 楽団員:43 名(オーディションにより選考) 主な客演コンサートマスター:山口裕之 コンサートマスター:古井麻美子 アシスタントコンサートマスター 2 名 トップ奏者 12 名 副トップ奏者(弦楽器のみ)4 名
事務体制の担当	<u>専任</u> ・他の業務と兼任	本事業担当者名	事務局長 大野英人 演奏事業部 中村真衣
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・無	経理責任者名	総務部長 布藤和樹

制作団体沿革	<p>2000年10月小牧市交響楽団として設立。2006年12月中部フィルハーモニー交響楽団と改称。本拠地は愛知県小牧市。2009年2月愛知県芸術選奨文化新人賞受賞 2015年5月創立15周年を祝しマーラー交響曲第2番「復活」を現芸術監督の秋山和慶の指揮で演奏し、高い評価を得ました(なお、秋山は創設時より指揮者陣の中で活動をしていただけていました)。平成30年度からは毎年、NAGOYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ2回の計5回の定期演奏会をはじめ、松阪、岐阜や愛知県内の小牧、春日井、各地で自主コンサートを計10回開催し中部地方の地域の文化振興に貢献しています。2017年度から2年間、NAGOYA定期で秋山和慶芸術監督・首席指揮者による「ブラームス・ツィクルス」を開始し好評を博しました。このライブ録音は、ナクソスマュージックライブラリー(NML)で交響曲全曲が世界配信されています。2018年10月には名古屋フィルハーモニー交響楽団第461回定期演奏会マーラー「一千人の交響曲」に中部フィル楽団員全員が賛助出演し好評を博しました。2017年12月には「多年にわたり地方自治の発展に尽力したその功績は誠に大である」として愛知県知事より感謝状を授与されています。</p>		
学校等における公演実績	<p>平成21年度から平成30年度まで文化庁の子供のための巡回公演を受託させて頂きました。実績は以下の通りです。 ・平成21年度Dブロック25公演・平成22年度Aブロック18公演・平成23年度Jブロック19公演・平成24年度Aブロック20公演・平成25年度Fブロック24公演・平成26年度Bブロック20公演・平成27年度Iブロック20公演・平成28年度Gブロック15公演・平成29年度Fブロック16公演・平成30年度Cブロック15公演 以上本拠地・愛知県小牧市では小牧市内小学校8校、中学校3校での音楽鑑賞会を現在まで16年間毎年開催し、音楽により児童・生徒達の感性を育成してきました。 小牧市では、全幼稚園・保育園(30園)への訪問演奏から、小・中・高等学校での音楽指導を年間約20回行い、幼児から高校生までの地域の音楽力の底上げ、向上と情操教育を担ってきました。 また、愛知県内及び中部地方では長年数多くの学校公演で好評を得ています。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>文化庁の子供のための巡回公演で以下の学校で公演致しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●2010年度 岩手県立盛岡みたけ支援学校 北海道立白糠養護学校 ●2011年度 鹿児島県立鹿児島豊学校 ●2017年度 滋賀県立三雲養護学校 		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 https://youtu.be/RohcEGHTKZs ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	有 ・ 無 ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 中部フィルハーモニー交響楽団】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生		
企画名	【体感、オーケストラ！ 体育館が劇場に！】		
本公演演目	<p>●J・ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」より“メインタイトル”(7)(DVD参照)</p> <p>●楽器紹介「聖者の行進」にのせて(15)(DVD参照) <楽器紹介で司会する楽団員></p> <p>●バルトーク:ルーマニア民俗舞曲(弦楽合奏版) (6)</p> <p>●ビゼー:組曲「アルルの女」から“ファランドール”(4)</p> <p>●楽器体験コーナー (10)</p> <p><休憩> (10) (楽器体験コーナーは休憩の間も有)</p> <p>●コープランド:市民のためのファンファーレ (4)</p> <p>●モリコーネ:映画「ミッション」より“ガブリエルのオーボエ”(5)</p> <p>●【子供との共演】ラヴェル作曲「ボレロ」によるボディパーカッションでオーケストラと共演しよう！ (15) (DVD参照)</p> <p>●【子供との共演】オーケストラと合唱で共演しよう！ (5)</p> <p>選択曲①から④の中から1曲を選択</p> <p>① 杉本竜一作詞・作曲「ビリーブ」(Believe)</p> <p>② 山上路夫作詞 村井邦彦作曲「翼をください」</p> <p>③ 松井五郎作詞 馬飼野康二「世界が一つになるまで」 <ボディパ「ボレロ」ラスト“ヤァ！”></p> <p>④岡村孝子作詞・作曲「夢をあきらめないで」</p> <p>●「交響曲を聴いてみよう！」(12)</p> <p>チャイコフスキー:交響曲第4番第4楽章</p> <p>●各学校校歌(5)</p>		
原作/作曲 脚 本 演出/振付	<p>公演時間(休憩 10分込み 約 100分・演奏時間は概ね授業 2時限程度です)</p>		
著作権	制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>今回、オーケストラがステージから降り、子供たちの近くで演奏していることから、公演を「他人事」と捉えず「自分事」として捉えられるよう、よりオーケストラに親しみが増す方法を考えました。楽器紹介は楽団オリジナルでデキシーランドジャズ「聖者の行進」の軽快なメロディーに乗り、木管楽器～金管楽器～打楽器～ハープ～弦楽器の順に、各楽器とセクション毎の合奏を行い、最後は全体合奏で締めくくります(DVD添付)楽器紹介のMCは当団楽団員が行います。バルトーク:ルーマニア民俗舞曲では <u>ヴァイオリンソロ奏者が子供たちの中に入り子供たちの近くで演奏します。</u>ビゼー:組曲「アルルの女」から“ファランドール”では、<u>曲のリズムを作るプロヴァンス太鼓が子供達のなかを巡りながらたたき、太鼓の迫力を感じてもらいます。</u>コープランド:「市民のファンファーレ」では <u>金管楽器、打楽器を体育館の4か所に配置し全体に響きをつくり、後ろの子供たちにも、奏者を近くに配置し鑑賞時の会場の不公平感を解消します。</u>(会場図添付)「ボレロ」のボディパーカッション(ボディパ)は、<u>今年当団が作ったプログラム。</u>客席を 3 つに分け、公演日当日にできるボディパを行い、会場の一体感を作り、最後は「ヤァ」の掛け声で元気に終わります。合唱での共演は、4 曲から選択してもらいます。オーケストラの音に包まれて合唱することで感動が増します。そしてオーケストラをじっくり聴いてもらう時間も作ります。ドラマティックなチャイコフスキー:交響曲第 4 番第 4 楽章でオーケストラの魅力を感じてもらって終了します。</p>		



<p>演目選択理由</p>	<p>●J・ウィリアムズ:映画「スター・ウォーズ」より「メインタイトル」(7)(DVD参照) 誰でも知っている曲からスタートします。オーケストラとの距離を近づけます。</p> <p>●楽器紹介デキシーランドジャズ「聖者の行進」にのせて(15)(DVD参照) 楽団員のMCにより進行します。軽快なリズムに乗り、木管楽器、金管楽器、打楽器、弦楽器を個々に順に紹介し、最後は合奏によりオケの全体演奏を聴いてもらいます。</p> <p>●バルトーク(アーサー・ウィルナー編曲):ルーマニア民俗舞曲(弦楽合奏版)(6) 躍動感溢れるルーマニアの短い6曲の民俗舞曲を弦楽合奏で演奏します。ヴァイオリンソロ奏者が会場内を移動し演奏することで、ヴァイオリンや民俗音楽を身近に感じてもらいます。</p> <p>●ビゼー:組曲「アルルの女」から「ファランドール」(4) 打楽器奏者がプロヴァンス太鼓をたたきながら会場内を移動し、太鼓を体感してもらいます。</p> <p>●楽器体験コーナー(10) 楽器を会場内各所に設け、子供達が楽器演奏を体験することにより楽器演奏の高揚感と楽器の質感・量感を感じてもらいます。 <休憩>(10)(楽器体験コーナーは休憩の間も続きます)</p> <p>●コーブランド:市民のためのファンファーレ(4) ファンファーレを担当するホルン群、トランペット群、トロンボーン・チューバ群、打楽器群を体育館の4か所に配置し、会場内を広く使い子供たちの近くで演奏し楽器を身近に感じてもらいます。(図面添付参照)</p> <p>●モリコーネ:映画「ミッション」より「ガブリエルのオーボエ」(5) オーボエソロにより、静謐で美しい音楽を聴いてもらいます。</p> <p>●ラヴェル作曲「ボレロ」によるボディパーカッションと共演!(15)(DVD参照) 「ボレロ」の基本リズム ①3拍子を指揮と足踏みで、②前打ち後打ち③小太鼓のリズム、をまずは子供たちにボディパで体験してもらいます。その後、約3分に凝縮した「ボレロ」をボディパとオーケストラで共演し、短い時間の中で達成感を味わってもらいます。5月に実施した小学校の先生からは、「当日初めて実施するプログラムとしては丁度いい」とお話がありました。</p> <p>●オーケストラと合唱で共演しよう!(5) オーケストラと楽しく合唱曲で共演し、自らの感動を呼び起こしてもらいます。 選択曲①から④の中から1曲を選択方式になります。</p> <p>●「交響曲を聴いてみよう!」チャイコフスキー:交響曲第4番第4楽章(12) 華やかで力強いオーケストラの音の魅力に触れ、迫力ある本物のオーケストラを身近に感じてもらいます。</p> <p>●各学校校歌(5) 児童生徒の一番の「愛唱歌」校歌を歌いコンサートを締めくくります。 公演時間(休憩込み約100分・演奏時間は概ね授業2時限程度です)</p>		
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p>「共演」は「ボレロ」のボディパーカッション(ボディパ)と「合唱曲」になります。「ボレロ」では当日にできる簡単なボディパを行います。会場を大きく3つに分け、「指揮と足踏み」、「3拍子の頭打ち後打ち」、「小太鼓の細かいリズム」の3つに分け、各パートを体験後一つになり、オーケストラと共演し最後に「ヤァー!」の大きな掛け声で終わります(DVD参照)。「合唱」は、子供たちが歌い、オーケストラと共演し音を共有することで自らの力で感動を呼び起こします。「楽器体験」は、会場内(近くの別教室も)で数か所に別れ、用意された楽器の中から興味を持ったものを体験し、楽器を演奏する楽しさを感じてもらいます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>指揮者:高井優希【No.2別紙メンバー表】 高井氏は、今年35才、今年(2019年)5月に共演した実績から、オーケストラのアンサンブルをまとめる力もあり楽団員からの評価もよく、子供たちに対しても明瞭な指示をはっきりとした声で行うなど、この事業に適しており今回選抜致しました。DVD資料の指揮も高井氏です。</p> <p>中部フィルハーモニー交響楽団【No.2別紙メンバー表】 (10型変則2管=弦10・8・6・5・4 管打3222-4331-4Hp)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p><u>出演者:59名(指揮者1名、楽員58名)</u> <u>事務局:9名(事務局3名 大道具1名)</u> <u>ステージスタッフ3名 トラック2名)</u> <u>合計: 68名</u></p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4t 2t 車長8m70cm(4t) 6m50cm(2t) 台数 2台</p>

【公演団体名 中部フィルハーモニー交響楽団】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出
	8時30分	8時30分～10時	13時30分～ 15時10分	10分	15時10分 ～16時10分	16時 20分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						
児童・生徒の参 加可能人数	ワークショップ	約 500 人				
	本公演	約 1,000 人(これ以上でも会場に入場できれば可能です)				
ワークショップ 実施形態 及び内容	楽団員6名以内で構成します。(ピアノ奏者を付ける可能性もあります) ①本公演で公演する「スター・ウォーズ」からスタート②各楽器をワンフレーズごとに紹介 ③楽器紹介の楽器をパッヘルベルの「カノン」で演奏 ④ボディパーカッション体験 「アナと雪の女王」の"Let it go"で体験します。 ⑤チャイコフスキー 交響曲第4番を参加メンバーのアンサンブルで聴く ⑥合唱共演曲の指導					
ワークショップ(WS) 実施形態の意図	WSはコンサートに向けての事前体験学習と考えます。以下の点を主に行います。 ●オーケストラの構造、演奏曲を事前に知ることによってコンサートへの期待度を高めます。 ●WS用のボディパーカッションをまずは体験し本番のボディパーへの道筋を作ります。 ●合唱をレベルアップし、コンサート本番への完成度を高め期待感を醸成します。 ●WS参加楽団員との交流を行い、楽団員を知ることによって楽団に親しみを持って頂きます。					
特別支援学校での実 施における工夫点	特別支援学校の公演が決まりましたら、今回のプログラムの共演部分について個別相談を行い、子供たちが共演できる部分を慎重に考え内容を精査します。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【No.2 別紙メンバー表】



© Masaaki Hiraga

指揮者 高井 優希 - たかい ゆうき - Yuki TAKAI

2015年、第4回黒海(コンスタンツァ)指揮コンクールにおいて第1位受賞。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、ローマ・イタリア管弦楽団、コンスタンツァ国立歌劇場管弦楽団など、国内外のオーケストラと共演。

幼少よりピアノを学び、成蹊高等学校卒業後、東京藝術大学指揮科およびメンデルスゾーン音楽演劇大学(ライブツィヒ)指揮科卒業。在学中に、イエナ・フィルハーモニー、ライブツィヒ交響楽団、ムジカーリッシュェ・コメーディエ・オーケストラ(ライブツィヒ)、スイス・ロマンド管弦楽団楽団員によるアンサンブルなどを指揮。他にもこれまでに、東京二期会、藤原歌劇団、ニッセイオペラ、東京室内歌劇場、藤沢市民オペラなどのオペラ・オペレッタ公演でも副指揮者を務めた。

Ulrich Windfuhr、田中良和の各氏に指揮を師事。また、Jorma Panula、Colin Metters、Ervin Acél、小林研一郎、佐藤功太郎、小田野宏之、松尾葉子の各氏の薫陶を受ける。2016年より、武蔵野音楽大学講師も務める。

中部フィルハーモニー交響楽団 出演者 (予定)

★コンサートマスター

☆アシスタントコンサートマスター

◎トップ奏者 ○副トップ奏者

指揮 高井優希

1stViolin (10 人)

☆綾川 智子

片山 瑠央

加藤 絢子

加藤 和可子

☆藤原 綾

★古井 麻美子

森下 由貴

五十嵐 景子(賛助)

佐藤 有里(賛助)

廣田 雅史(賛助)

2ndViolin (8 人)

◎加藤 恵子

清水 綾

○清水 里佳子

長谷川 雪乃

原 沙登子

森 清泉

大崎 麻里(賛助)

鈴木 理恵(賛助)

Viola (6 人)

◎石川 園恵

○葛西 麻弓子

加瀬 眞望子

祖父江 依子

中山 翔太

柿本 朱美(賛助)

Cello (5 人)

◎河井 裕二

鈴木 康史

外山 純子

○原 悠一

中西 みか(賛助)

Contrabass (4 人)

○早瀬 美紀

◎望月 康宏

塚本 衣美(賛助)

谷脇 友里恵(賛助)

Flute (3 人)

上田 花奈

◎山村 歩

岡本 卓也(賛助)

Oboe (2 人)

◎新田 祐子

宮澤 香

Clarinet (2 人)

北野 美幸

◎玉井 真紀子

Fagott (2 人)

◎北川 陽子

今木 智彦(賛助)

Horn (4 人)

◎舟橋 知奈美

古川 愛

森 隆一郎

山下 奈緒美

Trumpet (3 人)

◎赤堀 裕之史

田中 誠剛

中家 亜里紗(賛助)

Trombone (3 人)

◎菅 貴登

森川 元気

大室 直樹(賛助)

Tuba (1 人)

井上 晃輔

Timpani&Percussion (4 人)

伊藤 拓也

◎小川 研一郎

田家 浩美(賛助)

渡辺 有希子(賛助)

Harp (1 人)

神谷 知佐子(賛助)

(以上59名・指揮者込み)



中部フィルハーモニー交響楽団

Chubu Philharmonic Orchestra

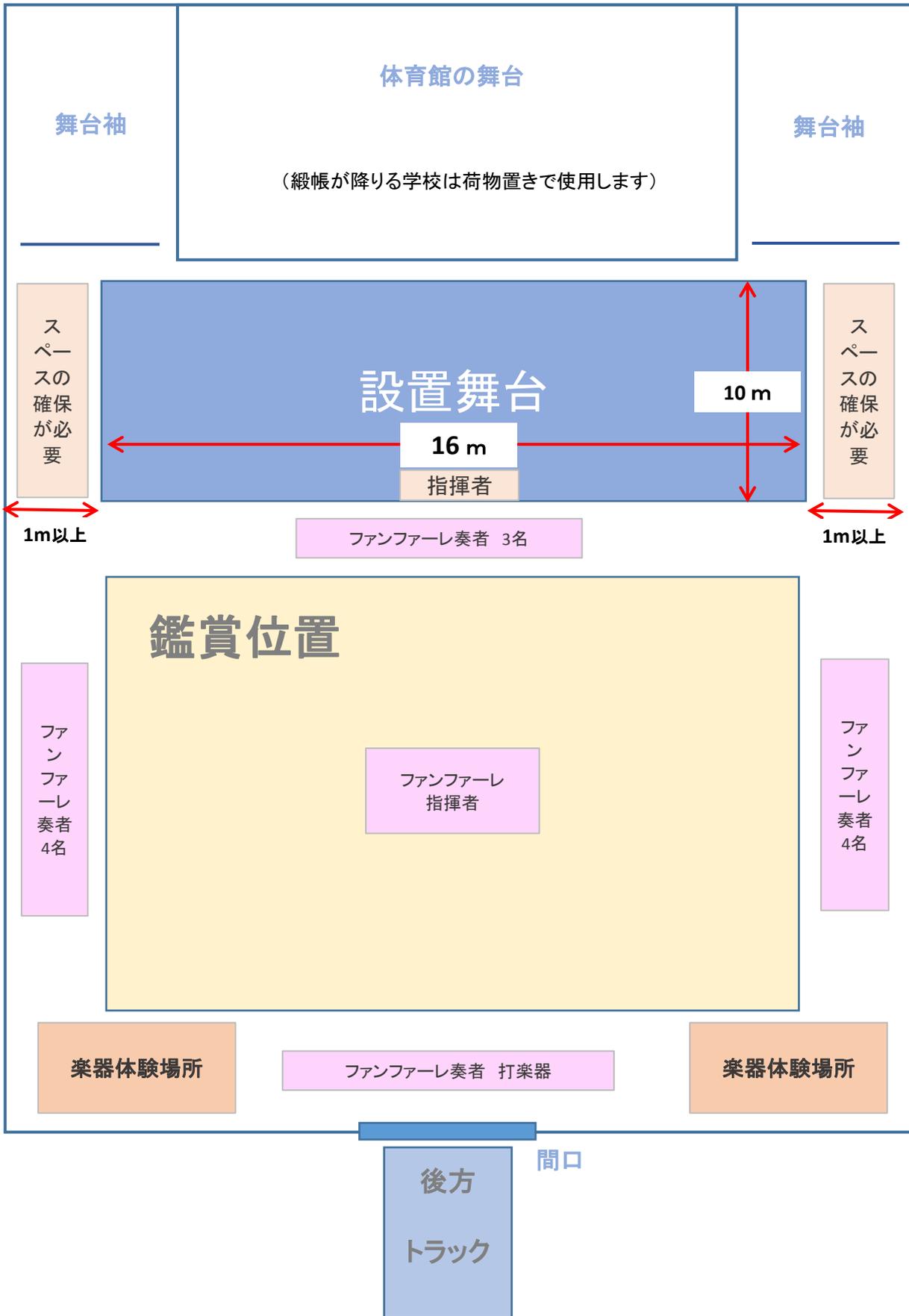
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D36	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	中部フィルハーモニー交響楽団			制作団体名	特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者1室, 男性, 女性, スタッフ。着替えもするのでカーテンがある部屋を希望します。							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4t,2tトラック各1台	大型バス2台、乗用車1台						
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック、2tトラック							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			50m程度							
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 							
		理由			大型楽器や平台等舞台大道具の搬入をするため							
	—	設置階の制限 *			問わない							
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1、8m以上	高さ	人が通れる高さ					
WSIについて	可	参加可能人数			500人程度まで							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			45分(授業1コマ)							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			1000人程度まで(会場の広さと相談)							
	可	舞台設置場所 *			舞台下フロア前方部分に設置、舞台上は楽器ケース置きとして使用							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	18m	奥行	10m程度	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			可能であれば				
	可				舞台袖スペースの条件 *			人が通れるスペースがあれば				
	可				緞帳 *	要	バトン *	不要				
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由						
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	本公演時は端によけておいてください						
	—			ピアノの事前調律 *	不要							
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可							
	—	公演に必要な電源容量										
	その他特記事項											
	不可	奏者用のパイプ椅子を90脚程度ご用意ください。ワークショップ時にはピアノも使用します。										
可	ワイヤレスマイクを2本ご用意ください。											
可	楽器体験のスペースが体育館内に取れない場合、近くの教室をお借りして行います(要相談)											

会場図面（表記単位：メートル）



搬入間口について	幅	1、8m以上	高さ	人が通れる高さ
搬入車両の横づけの要否			要(相談可)	
横づけができない場合の搬入可能距離		50m程度(相談可)		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

中部フィルハーモニー交響楽団

体感、オーケストラ！体育館が劇場に！

Program

<第1部>

- Point.1 → ● J・ウィリアムズ：映画「スター・ウォーズ」より"メインタイトル"
● 楽器紹介「聖者の行進」にのせて
- Point.2 → ● バルトーク：ルーマニア民俗舞曲
● ビゼー：組曲「アルルの女」から"ファランドール"
● 楽器体験コーナー * 楽器体験コーナーは休憩の間も継続

<第2部>

- Point.3 → ● コープランド：市民のためのファンファーレ
● モリコーネ：映画「ミッション」より"ガブリエルのオーボエ"
- Point.4 → ● 【共演】ボディパーカッションでオーケストラと共演しよう！
ラヴェル作曲「ボレロ」
● 【共演】オーケストラと合唱で共演しよう！*1曲を選択
1.杉本竜一作詞・作曲「ビリーブ」
2.山上路夫作詞 村井邦彦作曲「翼をください」
3.松井五郎作詞 馬飼野康二「世界が一つになるまで」
4.岡村孝子作詞・作曲「夢をあきらめないで」
- Point.5 → ● チャイコフスキー：交響曲第4番より第4楽章
● 各学校校歌



聴きどころ♪

Point.1

聖者の行進の軽快なリズムに乗りながら、楽団員がマイクを持ち楽器を紹介します。身近なお兄さんお姉さんとなり、オーケストラの楽器について優しく楽しく教えてくれます。

Point.2

どちらの曲も、バイオリンのソロ奏者と太鼓奏者が会場内を演奏しながら歩きます。子どもたちのすぐ目の前で華麗に演奏される様子に、みんなの目が輝くことでしょう。

Point.3

第2部はファンファーレで勢いよく始まります。体育館内の4か所に、担当する金管楽器（ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ）と打楽器、さらには指揮者も配置して演奏します。館内のあちこちから次々に聞こえてくる音に、子ども達も右を見たり左を見たりと大忙し！迫力を感じさせるステレオ効果による演出が見ものです。



Point.4

全身を使って音を出す「ボディパーカッション」という手法で「ボレロ」の基本リズムをたたきます。指導は指揮者と楽団員が前に出て行い、その後オーケストラと一緒に演奏して練習の成果を発表します。体を使ってリズムを感じ、みんなで合わせる楽しさに気づく、短い時間の中でも達成感を味わうことができるプログラムです。



Point.5

最後はみんなで落ち着いて着席し、交響曲を聴きます。演奏時間は10分程と少し長めですが、音楽鑑賞会で大事な「静かに聴く」ことも学べます。



他にもこんな内容を用意しています・・・

・いつもピアノ伴奏で歌っている校歌を、オーケストラ用に編曲してご用意します。オーケストラ伴奏で校歌が聴け歌えると大変好評いただいています。

・楽器体験では、オーケストラで使っている楽器に触っていただけます。実際に手に取り体験することは、より深い気づきと学びにつながります。
*学校の規模により体験楽器数等、要相談となります。



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, <input type="checkbox"/> オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	がっこうほうじん おおさかおんがくだいがく ----- 学校法人 大阪音楽大学		
代表者職・氏名	理事長 中村 孝義		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号 (最寄り駅: 阪急宝塚線 庄内駅)		
電話番号	06-6334-2824(直通)	FAX番号	06-6334-2164
ふりがな 公演団体名	かんげんがくだん ----- ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団		
代表者職・氏名	ザ・カレッジ・オペラハウス館長 中村 孝義		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号 (最寄り駅: 阪急宝塚線 庄内駅)		
制作団体 設立年月	1988年4月		
制作団体 組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 中村 孝義 副理事長 本田 耕一 常任理事 十川 輝明 (2019年11月30日まで) 中上 善生 (2019年12月1日より) 福井 慎吾 岡野 幸義	■大阪音楽大学 教職員数 593名 学生数 1,090名 (令和元年7月1日現在) ■ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 別紙参照 (令和元年11月5日現在)	
事務体制の担当	専任 ・ <input type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	オーケストラマネージャー 齋藤 秀之
経理処理等の 監査担当の有無	<input type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	連携・演奏事務部門長 江良 成人

<p>学校等における 公演実績</p>	<p>◇学校等公演実績 桜ヶ丘幼稚園創立 50 周年記念演奏会、大阪府立交野高等学校創立記念式典、摂津市立第四中学校音楽鑑賞会、大阪府立吹田東高等学校創立 30 周年記念演奏会、摂津市立第一中学校音楽鑑賞会、山陽女子高等学校音楽鑑賞会、豊中市立第十二中学校音楽鑑賞会、神戸市立六甲アイランド高等学校音楽鑑賞会、石巻市立門脇小学校・門脇中学校、石巻専修大学、女川町立第一小学校・第二小学校・第四小学校、女川町立第一中学校・第二中学校、大阪府立大学工業高等専門学校音楽鑑賞会、その他大阪市内小学校公演(大阪市・青少年芸術体験事業)など</p> <p>◇文化庁巡回公演事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にて 24 公演を実施。 ・平成 26 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 19 公演を実施。 ・平成 27 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 17 公演を実施。 ・平成 28 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 17 公演を実施。 ・平成 29 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 8 公演を実施。 ・平成 30 年度「文化芸術による子供の育成事業」にて 12 公演を実施。 		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<p>○平成 24 年度 大阪市・青少年芸術体験事業にて 実施校:平野特別支援学校</p> <p>○平成 25 年度 「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」にて 実施校:富山県立富山視覚総合支援学校</p> <p>○平成 26 年度 「文化芸術による子供の育成事業」にて 実施校:杉並区立済美養護学校</p> <p>○平成 27 年度 「文化芸術による子供の育成事業」にて 実施校:宮崎県立日南くろしお支援学校</p> <p>○平成 30 年度 「文化芸術による子供の育成事業」にて 実施校:広島県立庄原特別支援学校</p>		
<p>参考資料の 有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p> <p><input type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>
	<p>A の 提出が 困難な 場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p><input type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団



「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988年4月に組織。定期演奏会は2019年6月で55回となった。

ザ・カレッジ・オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では1999年ザ・カレッジ・オペラハウスの引っ越し公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000年第20回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。

2005年9月新国立劇場における「地域招聘公演」第1回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005年10月ザ・カレッジ・オペラハウスでの《沈黙》および2011年10月の20世紀オペラ・シリーズ、B.ブリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013年同シリーズ、B.ブリテン《ピーター・グライムズ》の公演では第22回三菱UFJ信託音楽賞を受賞し、1997年ザ・カレッジ・オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第6回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。

さらに2014年10月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》およびB.ブリテン《カーリユー・リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され3度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015年創立100周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルスタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。

名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンスン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

《オペ管》の愛称で親しまれている。

[ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オフィシャルホームページ]

<https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/>

公演・ワークショップの内容

【 公演団体名：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

対象	小学生(低学年 ・ 中学年 ・ 高学年) ・ 中学生		
企画名	== 体育館がオペラハウスに大変身! ? == ♪♪オペラの魅力がいっぱい♪♪ ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オーケストラ公演		
本公演演目	<p style="text-align: center;">ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 オーケストラ公演プログラム</p> <p>●オープニング ワグナー / 歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲</p> <p>●楽器紹介 ～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます～</p> <p>●オペラ・アリア ～プロの歌手達による生の歌声(オペラ・アリア)を男声・女声2曲続けてお届けします～</p> <p>●オペラ・デュエット ～プロの歌手達によるオペラ・デュエット曲をお届けします～</p> <p style="text-align: center;">- 休憩 15分 -</p> <p>●校歌合唱 ～オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう!!～</p> <p>●指揮者体験コーナー ～君も未来のマエストロ♪オーケストラの指揮に挑戦♪～ ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲</p> <p>●共演コーナー ～オーケストラと子供たちの夢の共演!!～ (下記のA・Bよりいずれか1曲を選択していただきます) <u>A 吹奏楽部・金管バンドとの共演の場合</u> ウィルソン / 76本のトロンボーン ヤン・ヴァンデルロースト / アルセナール スーザ / 星条旗よ永遠なれ</p> <p><u>B 合唱共演の場合</u> 杉本 竜一 / ビリーヴ 久石 譲 / 君をのせて 村井 邦彦 / 翼をください 松井 孝夫 / マイ バラード</p> <p>●オーケストラ演奏 エルガー / 行進曲「威風堂々」第1番</p> <p>◆アンコール ～オペラ歌手達の歌声と共に華やかなアンコール～ ヴェルディ / 歌劇「椿姫」より 乾杯の歌</p> <p>※上記プログラムは一部変更になる可能性もあります。</p> <p style="text-align: right;">公演時間(約 90 分)</p> <p>※共演曲のアルセナールのみ許諾が必要になりますが、詳細確定後手続きいたします。</p>		
著作権	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事柄が含まれる
		<input type="radio"/>	(制作団体以外が所有する事柄が含まれる場合) 許諾の有無

ワーグナー / 歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲

演奏会のオープニングは、ワーグナー作曲の歌劇「ローエングリン」より第3幕への前奏曲で華やかにスタートいたします。全奏による爆発的な序奏は演奏会の幕開けにふさわしく子供たちをオーケストラの世界へグッと惹きつけます。

【公演時のイメージ(平成30年度公演より)】
大迫力の演奏で公演スタート♪



楽器紹介

オープニングの余韻に浸りながら、楽器紹介へと続いていきます。

弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器を楽しいお話と演奏を交えながら紹介していきます。



【金管楽器紹介の場面より】
目の前で大迫力のアンサンブル演奏！！
キラキラした楽器からキラキラの音が♪



【打楽器紹介の場面より】
1つの木琴(シロフォン)を4人同時演奏！
奏者達の見事な演奏にみんな驚き！！

演 目 概 要

オペラ・アリア

オーケストラの楽器紹介で楽しく会場が盛り上がった後はちょっと一息おいて、プロの歌手達による男声・女声それぞれの生の歌声によるオペラ・アリアを間近で聴いて頂きます。

オーケストラの楽器とは違い身体が楽器となる
声楽家の会場一杯に響き渡る甘く美しい歌声や
表情と華やかな衣装などにも注目してみてください。



華やかな衣装や
素敵な歌声をお楽しみに♪

オペラ・デュエット

オペラ・アリアに続いてオペラの中でも重要な場面で歌われるオペラ・デュエットを聴いて頂きます。まるでオペラハウスにいるかのような雰囲気にも包まれる会場の空気を目と耳と心で感じていただきながら第1部のクライマックスへと導きます。

- 休憩 10～15分 -

校歌合唱

休憩でリラックスしたあと、第2部は校歌斉唱からスタートいたします。

普段、ピアノ伴奏やCDなどに合わせて歌う校歌を、プロのオーケストラの演奏をバックに、児童・生徒のみなさんに歌っていただきます。

世界で一つだけの特別バージョンの校歌で思い出に華を添えます。

指揮者体験コーナー

指揮者から指揮についての役割などをわかりやすく説明していただき、児童・生徒のみなさんの中から代表で3名の方にオーケストラの指揮に挑戦していただきます。

曲目は、ビゼー作曲の歌劇「カルメン」より前奏曲です。

お客さんへお辞儀をして指揮台に乗ったときのドキドキ・ワクワクする緊張感、指揮棒を振りおろすと目の前でオーケストラが鳴り出す臨場感、曲の最後まで振り切った時の達成感などをより身近で体感していただきます。

共演コーナー

校歌・指揮者体験に続き、児童・生徒のみなさんに参加していただきます。

大きく2つの項目に分け、A)吹奏楽・金管バンドとの共演、B)合唱共演のどちらかの中から希望する曲目を1曲選択し本公演当日オーケストラと一緒に共演していただきます。

吹奏楽・金管バンドについては、実際にオーケストラの中に入っていただき、楽員と一緒に演奏していただくことで、ただ共演するだけではなく、プロの演奏を間近で体感しながら演奏をすることができます。

合唱については、参加人数にもよりますが基本的にはその場で立っていただき、オーケストラと対面した状態で歌っていただきます。

曲の歌詞に思いを込めて校歌とはまた一味違うサウンドを楽しみながら、オーケストラと児童・生徒、会場の皆さんで一体となって共演していただきます。

エルガー / 行進曲「威風堂々」第1番

演奏会のフィナーレは、エルガー作曲の行進曲「威風堂々」第1番を華やかにお届けいたします。中間部のメロディは最も有名で曲の後半ではそのメロディが高らかに歌い上げられクライマックスを迎えます。某食品メーカーのCMで流れたことでも有名で一度はどこかで耳にしたことのある作品です。

ヴェルディ / 歌劇「椿姫」より 乾杯の歌

演奏会はフィナーレを迎えますが、アンコールの手拍子にのせてもう1曲。

ヴェルディ作曲の歌劇「椿姫」の中から有名な「乾杯の歌」を最後にお届けいたします。

2人の歌手達が劇中さながらに「さあ友よ飲み明かそう！」と歌い・演じながら明るく楽しい華やかなパーティーの雰囲気にもまれコンサートは幕を閉じます。

【ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団オーケストラ公演演目について】

平成29年度 文化芸術による子供の育成事業 -巡回公演事業- フィードバック (開催校からの感想より)

「体育館いっぱい響く素晴らしい演奏に大きな感動をいただいた。初めてオーケストラ演奏を鑑賞する児童も多く、大変貴重な経験をさせてもらったと感謝している。演奏曲も児童に馴染みのある曲が多く、楽器の紹介もわかりやすかった。さらにオーケストラとの「校歌」と「ビリーヴ」の共演では生き生きと楽しそうに歌う児童が印象的だった。この経験をこれからの音楽教育に役立てていきたいと思う。」

<p>演目選択理由</p>	<p>未来の文化の担い手となる子ども達の発想力やコミュニケーション能力の育成・芸術鑑賞能力の向上など総合的な子供育成に寄与すると共に、本公演でオーケストラ鑑賞を体験した子ども達が将来芸術家を目指すきっかけ作りとなる事を願いプログラムを構成いたしました。</p> <p>クラシック音楽をより親しみやすく感じていただけるように様々なシーンで聞かれることの多い名曲を選択いたしました。また、司会者によるわかりやすい曲目説明によって、初めて聴くオーケストラにも興味をもってもらえるようにいたします。</p> <p>楽器紹介では弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器のそれぞれの音色の違いについてお話とともに実際に音を聴いていただく事によって楽器の特徴を知り、興味を持って聴いてもらえるようにいたします。</p> <p>『オペラ』を得意とする楽団の特色を活かし、オーケストラ伴奏と共にプロの歌手達が子ども達の目の前でオペラ・アリアやオペラ・デュエットを歌います。 歌声が会場一杯に響き渡り体育館がまるで音楽ホール(オペラハウス)のようになるのを感じていただきます。</p> <p>共演では普段歌っている校歌と選択による曲目をオーケストラと一緒に共演していただき一生の思い出となる体験をして頂きます。</p>
<p>児童・生徒の共演、参加又は体験の形態</p>	<p>コンサートの後半に3つの児童・生徒の皆さんに参加していただくコーナーをご用意しております。</p> <p><u>校歌合唱</u> 校歌をオーケストラ版にアレンジし、プロのオーケストラの演奏で児童・生徒の皆さんに歌っていただきます。普段歌っている校歌がオーケストラが加わることでどのように変わるのかは演奏会当日までのお楽しみです。子供たちの心に残る一生の思い出になるでしょう。</p> <p><u>指揮者体験コーナー</u> 演奏会当日、3名の児童・生徒の皆さんにオーケストラの指揮に挑戦していただきます。誰が選ばれるかはその時までの楽しみです。指揮棒の動きに合わせて出てくるオーケストラの音の強弱やテンポ(速さ)の違いなど間近で体感していただけます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="454 1344 865 1675">  <p>【指揮者体験コーナーの場面より】 未来のマエストロ！ オーケストラの指揮に挑戦♪</p> </div> <div data-bbox="906 1344 1316 1675">  <p>【指揮者体験コーナーの場面より】 指揮棒に合わせて曲の速さや大きさが変わリドキドキワクワクの連続です♪</p> </div> </div> <p><u>共演コーナー</u> 吹奏楽・金管バンドとの共演、合唱共演の中から1曲を選択し、オーケストラと一緒に共演していただきます。</p> <p>吹奏楽・金管バンド共演の場合は、 吹奏楽の作品の中でもよく知られている 「76本のトロンボーン」 「アルセナール」 「星条旗よ永遠なれ」 の3曲を取り上げ、</p> <p>合唱共演の場合は、 「ビリーヴ」 「君をのせて」 「翼をください」 「マイ パラード」 などのレパートリーを用意しております。</p>

<p>出 演 者</p>	<p>[指揮] 大勝 秀也 または 牧村 邦彦 他(予定)</p> <p>[歌と司会] 内藤 里美 と 清原 邦仁 または 北野 智子 と 竹内 直紀 他(予定)</p> <p>[管弦楽] ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団(3管10型) 2.P,2.E,2.B,2.C-4,4,3,1-Timp,4Perc,Hp-Str(10-8-6-6-4)</p> 
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>指揮者： 1名 歌と司会： 2名 (男声=1、女声=1) 弦楽器： 35名 (Vn. I =10、Vn. II =8、Va.=6、Vc.=6、Cb.=4、Hp.=1) 管楽器： 24名 (Fl.[Picc.] =3、Ob.[Eh.] =3、Cl.[B.Cl.] =3、Fg.[C.Fg.] =3、Hr.=4、 Tp.=4、Tb.=3、Tu.=1) 打楽器： 5名 (Timp.=1、Perc.=4) スタッフ： 8名 (チーフマネージャー、オーケストラマネージャー、ステージマネージャー、ライブリアン) 合計： 75名</p>
<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量： 4t 車長： 約9.1m 車高： 約3.4m 車幅： 約2.3m 台数： 2台</p> <p>※大型楽器(ティンパニ・ハープ・コントラバス)や舞台用ひな壇(平台)や大型パネル等を運搬しますので、4tトラックが体育館に横付けできることが望ましく、学校敷地内に4tトラックが乗り入れ可能であることを前提としてお考えください。また、学校の周辺道路が「トラック進入禁止」などの規制がないことを事前にご確認頂きますようお願いいたします。</p>

【 公演団体名 : ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 】

公演に当たっての
会場条件

実施条件等確認書①をご確認ください。

<p>会場設営 所要時間 (タイムスケジュール) の目安</p>	<p>前日仕込み(有・<input type="checkbox"/>無)</p> <p>※基本的には前日仕込みはありませんが、会場条件によっては前日仕込みをさせて頂く場合がございます。</p> <p>例) 午後の開催が難しく午前中の開催となる場合などは前日の仕込みが必要になります。</p> <p>会場設営の所要時間(2 時間半～3 時間程度)</p> <p>例) 14:00 開演の場合</p> <p>07:30 楽器搬入、仕込み</p> <p>11:30 リハーサル (金管バンド・吹奏楽共演の場合は、児童・生徒の皆さんにも参加していただきます。)</p> <p>13:30 開場</p> <p>14:00 開演</p> <p>15:30 終演、バラシ</p> <p>18:00 撤収完了(予定)</p> <p>上記スケジュールは目安です。会場条件によって変更となる場合がございます。</p>	
<p>児童・生徒 の参加可能人数</p>	<p>ワークショップ</p>	<p>特に制限なし(実施会場に入る範囲内で)</p>
	<p>本公演</p>	<p>特に制限なし(実施会場に入る範囲内で)</p>
<p>ワークショップ 実施形態 及び内容</p>	<p>～前半はプロの楽団員によるオーケストラのお話や楽器の紹介、ミニコンサートなど～</p> <p>楽器紹介ではオーケストラが弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の4つのグループで出来ている事を説明し、楽器ごとに順番に紹介していきます。</p> <p>子供たちが頭の中でイメージしやすいように、各楽器の実寸大のパネルを持ち込み楽器の形(長さ)や大きさや演奏方法の違いなどをわかりやすく説明いたします。</p> <p>開場設備の条件にもよりますがプロジェクターを利用して画像投影を行う場合もあります。</p> <p>また、弦楽器の弓や弓の毛の材料、弦やコマなどの本物のパーツを用意し、バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバスの弦の太さやコマの大きさの違いなどを見比べて頂く事ができます。</p> <p>日程によって楽器の組み合わせは様々となりますが、それぞれの楽器の演奏はもちろん、オリジナル編成でのアンサンブルで生の演奏をお届けいたします。</p> <p>指揮についても本公演の指揮者体験コーナーを見据え本公演の曲と同じ2拍子での指揮の練習を全体で行います。</p> <p>ワークショップでは何名かの児童・生徒の皆さんに指揮に挑戦していただくことで本公演での指揮者体験に繋がるよう心がけます。</p> <p>～後半はプロの楽員による合奏(パート)指導、またはプロのオペラ歌手による歌唱指導、ミニコンサートなど～</p> <p>吹奏楽・金管バンドとの共演の場合は、各指導者が子供たちと一緒に間近で演奏しながら指導をしたり、合奏しながらアンサンブルの楽しさなどを伝えていきます。</p> <p>もちろん、パートでの指導も可能です。</p> <p>合唱共演の場合は、身体の仕組みや発声に関する説明、呼吸法・体操なども交えながら歌唱指導を中心に行います。歌を通じて相手に対する思いやりや何かを伝えることの大切さなどを感じることができるよう心がけます。</p>	

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p style="text-align: center;">—子ども達が音楽を 目と耳と心 で楽しむ気持ちを育みたい—</p> <p>ワークショップにて事前に本公演での共演曲目の指導を行うことで、本公演に向けての課題を明確にいたします。</p> <p>オーケストラのお話や楽器紹介をする際には実寸大の楽器パネル(組立式)を持ち込み、楽器の実際の大きさを説明いたします。会場条件によってはプロジェクターを使っての画像投影や資料説明を行います。</p> <p>また実際に本公演で使われる楽器の演奏を聴くことで子供たちに楽器や音楽に対して興味を持ってもらい、本公演がより充実する為のワークショップとなるよう努めてまいります。</p> <p>ワークショップでは、より近い位置で鑑賞していただき楽器の形や奏者の息づかいなどを間近で感じられるよう意識して取り組んでおります。</p> <p>歌唱指導では歌詞の意味、友達を思う心、一緒に歌う事の感動を大切に伝えられるように心がけております。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>基本的には変更なく実施できると思いますが、学校の先生方とよく話し合い、できる限りご要望に沿えるよう柔軟に対応させていただきます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

出演希望調書別紙

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
構成員 — Orchestra members —

名誉指揮者	飯森 範親 / 山下 一史 / チャン・ユンスン
正指揮者	大勝 秀也 / 牧村 邦彦
コンサートミストレス	赤松 由夏

ヴァイオリン	赤松 由夏 池上 尚里 井上 なつき 景山 映子 高森 真貴子 中川 芙美 袋井 杏子 三浦 裕梨香 山根 朋子
ヴィオラ	上野 亮子 福田 幸子 森永 愛子 柳生 厚彦
チェロ	上塚 憲一 川畑 享子 後藤 敏子 松村 和美 皆川 隼人 柳瀬 史佳 山岸 孝教
コントラバス	丹澤 加奈子 林 武寛 林 俊武 増田 友男
ハープ	山根 祐美
フルート	江戸 聖一郎 長山 慶子 菱田 弓子
オーボエ	福田 由美
クラリネット	松尾 依子 山本 聡美 吉田 由希乃 吉延 勝也
ファゴット	岡本 真弓 錦織 景子 松本 静香 宮本 謙二
ホルン	池田 重一 奥 祐里恵 川村 真菜美 西 陽子 伏見 浩子
トランペット	講崎 里穂 高木 宏之 茶屋 淳子 肥後 徹士
トロンボーン	岡村 哲朗 松下 浩之 和田 翠
バス・トロンボーン	織田 貴浩
チューバ	澤村 隼
打楽器	安永 早絵子
事務局	楽団長：岡 昇 チーフマネージャー兼ステージマネージャー：曾田 健 オーケストラマネージャー兼インスペクター：清水 敏也 オーケストラマネージャー：齋藤 秀之 ライブラリアン：妹尾 良行 林 美沙 総務：佐々木 亮輔

パート別 50 音順
2019 年 11 月 5 日現在

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業一巡回公演事業一

<ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団>(出演予定)

指揮：大勝 秀也 または 牧村 邦彦 他(予定)

● コンサート・ミストレス：赤松 由夏

● 歌と司会：内藤 里美 と 清原 邦仁 または 北野 智子 と 竹内 直紀 他(予定)

Violin I
第1ヴァイオリン

赤松 由夏
中川 美美
井上 なつき
三浦裕梨香
山根 朋子
袋井 杏子
吉川 緑
平松 雅子
赤穂 夫美
農頭 奈緒

Violin II
第2ヴァイオリン

景山 映子
池上 尚里
西山 佳代
石井 柳子
平野 有希
岡本 千英子
横田 詠美
山田 聖華

Viola
ヴィオラ

上野 亮子
森永 愛子
柳生 厚彦
福田 幸子
三上 哲
灘儀 育子

Cello
チェロ

山岸 孝教
皆川 隼人
後藤 敏子
松村 和美
川畑 享子
柳瀬 史佳

Contrabass
コントラバス

林 俊武
丹澤加奈子
増田 友男
林 武寛

Flute
フルート

江戸 聖一郎
磯田 純子
菱田 弓子

Oboe
オーボエ

福田 由美
高橋 幸子
廣瀬 裕美

Clarinet
クラリネット

松尾 依子
吉延 勝也
山本 聡美

Fagot
ファゴット

岡本 真弓
松本 静香
黒田 景子

Horn
ホルン

川村 真菜美
西 陽子
伏見 浩子
奥 祐里恵

Trumpet
トランペット

高木 宏之
茶屋 淳子
肥後 徹士
講崎 里穂

Trombone
トロンボーン

村井 博之
岡村 哲朗
織田 貴浩

Tuba
チューバ

澤村 隼

Timpani
ティンパニ

安永 早絵子

Percussion
パーカッション

吉田 周平
中村 成範
大竹 秀晃
小西 里奈

Harp
ハープ

山根 祐美

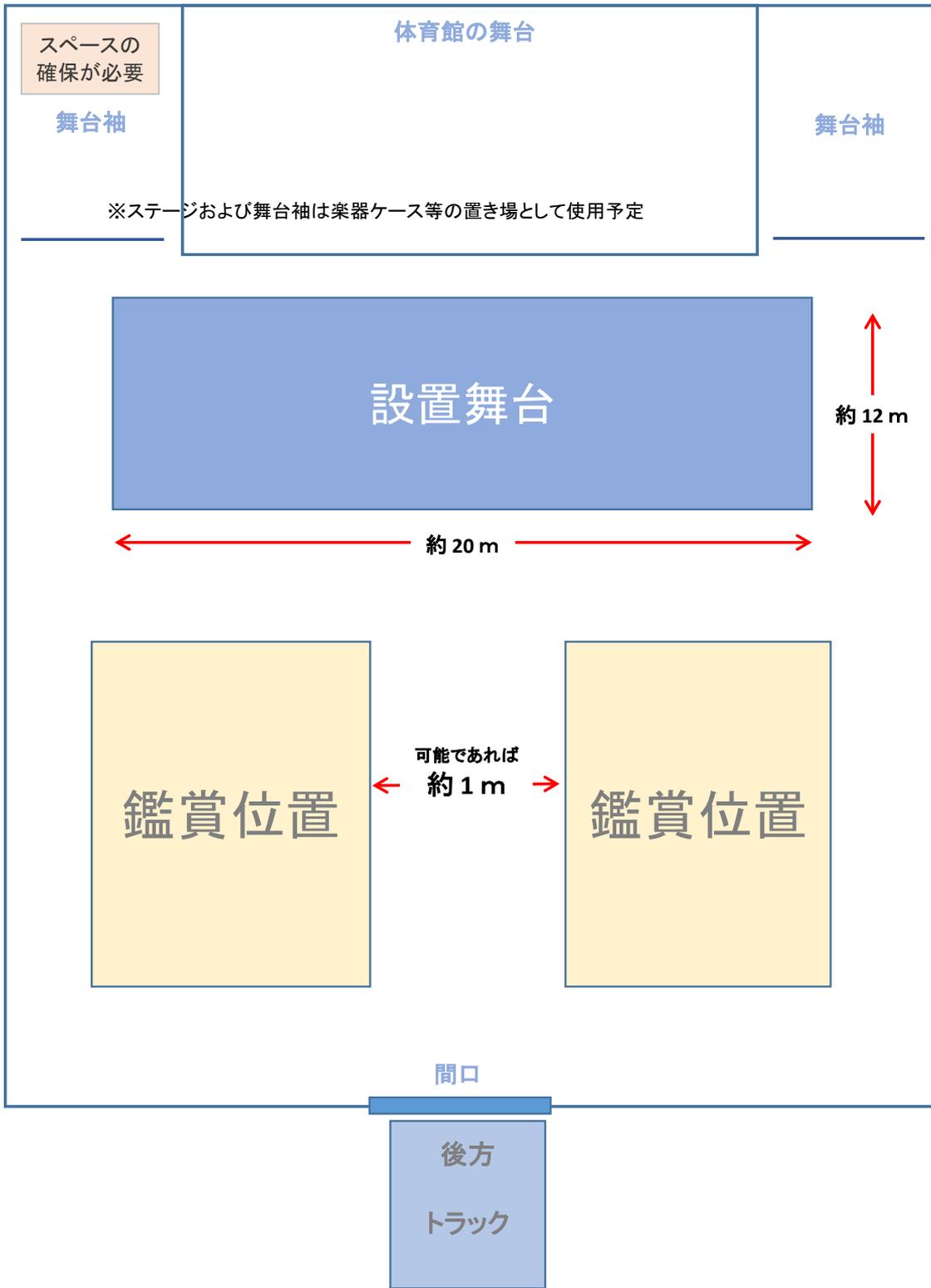
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D37	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団			制作団体名	学校法人 大阪音楽大学				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	4室	条件	指揮者1室、ソリスト1室、男性、女性の着替え用であるためカーテン等で目隠しが出来る部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 2台	大型バス 2台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(ロング)車高3.4m 全長9.1m 車幅2.3m				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内				
	可	搬入経路の最低条件			4t×2台分の物量があり、すべて人力で持ち上げて移動させるため横付けできない場合は要相談となりますが、雨天時の対策が必要不可欠であること(3m50cm以上の屋根が必要)と、横付けできない場合は状況にもよりますが搬入・搬出時にお手伝いをお願いする場合があります。※調整の際に一度ご相談いただけましたら、検討させていただきます。				
		理由			ひな壇等舞台大道具の搬入をするため				
	可	設置階の制限 *			2階以上の場合、お手伝いをお願いすることもあります。				
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m以上が望ましい	高さ	2.2m以上が望ましい			
WSIについて	可	参加可能人数			特に制限なし				
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			特に制限なし				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	20m	奥行	12m	高さ	-
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態		
	-				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可				遮光(暗幕等)の要否 *		要	理由	リハーサル・本番中に日差しが入ると公演の妨げになるため、カーテンがない場合は他のもので代用していただく必要があります。
	-	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	舞台設置範囲外であれば移動不要ですが、舞台設置の妨げとなる場合移動要。			
	-			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	縦方向に固定で設置している場合は舞台の妨げになるため実施できません。(縦方向に昇降式であれば問題ございません。)				
	可	公演に必要な電源容量			-	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
可	ワイヤレスマイク 2本使用 ※機材は楽団持込。電源のみ借用いたします。(通常コンセントで対応可)								
-	※ワークショップではピアノを使用いたします。(本公演では使用いたしません)								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m以上が望ましい	高さ	2.2m以上が望ましい
搬入車両の横づけの要否		要 (応相談可)		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内 (応相談可)		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

プログラム

● オープニング ワーグナー

／ 歌劇「ローエングリン」より 第3幕への前奏曲

● 楽器紹介

～弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器をお話しと演奏を交えながら紹介していきます～

● オペラ・アリア

～プロの歌手達による生の歌声（オペラ・アリア）を男声・女声2曲続けてお届けします～

● オペラ・デュエット

～プロの歌手達によるオペラ・デュエット曲をお届けします～

— 休憩 15分 —

● 校歌合唱

オーケストラの華やかな伴奏で校歌を元気に歌いましょう!!

● 指揮者体験コーナー

ビゼー / 歌劇「カルメン」より 前奏曲

● 共演コーナー（下記の曲より共演希望曲を1曲選択）

オーケストラと一緒に演奏してみよう!!

A. 吹奏楽・金管バンド等との共演の場合

- ・ウィルソン / 76本のトロンボーン
- ・ヤン・ヴァンデルロースト / アルセナール
- ・スーザ / 星条旗よ永遠なれ

B. 合唱共演の場合

- ・杉本 竜一 / ビリーヴ
- ・ひさいし しょう / 君をのせて
- ・久石 譲 / 翼をください
- ・むらい くにひこ /
- ・村井 邦彦 /
- ・まつい たかお /
- ・松井 孝夫 / マイ パラード

● オーケストラ演奏

エルガー / 行進曲「威風堂々」第1番

◆ アンコール

～オペラ歌手達の歌声と共に華やかなアンコール～

ヴェルディ / 歌劇「椿姫」より 乾杯の歌

※ 上記プログラムは一部変更になる可能性もあります

ドイツの作曲家リヒャルト・ワーグナーの華やかで堂々とした旋律が印象的な作品でコンサートの幕開けです!!

君も未来のマエストロ! オーケストラの指揮に挑戦!

オーケストラと子供たちによる夢の共演☆

イギリスの作曲家エドワード・エルガーの代表作で、中間部に出てくる雄大なメロディはイギリスの第2の国歌としても親しまれています。

アンコールはイタリアの作曲家ジュゼッペ・ヴェルディが作曲した歌劇「椿姫」より有名な「乾杯の歌」で華やかに演奏会を締めくくります。

オーケストラの配置

ティンパニは、いくつかの大きさの違う太鼓を足元にあるペダルで音程を変えながら演奏しています。オーケストラの中では第2の指揮者と呼ばれるくらい、重要な柱となる楽器です。

トランペットは、オーケストラの中で高い音を担当し、迫力のある輝かしい響きが特長です。金管楽器(ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバ)は、マウスピースを楽器につけて唇を振動させて音を出します。

トロンボーンは、ほかの金管楽器にはないスライドと呼ばれるU字型の管を伸ばしたり縮めたりして音を出すのが特長です。
バストロンボーン(はトロンボーンより一回り大きく、低い音が出しやすくなっています。

ファゴットは横からできていて、イタリア語で「まきの束」という意味です。伸ばすと2m60cmもあり、木管楽器の中では低い音域を担当します。

コントラファゴットはファゴットの約2倍の長さがあり、ファゴットよりもさらに1オクターブ低い音が出ます。オーケストラで使われる管楽器の中で最も低い音を出すことが出来ると言われていて、また、管の長さは約6mもあり重さは約6kgあります。

ハープは弦が47本はあって、指ではじいて演奏します。見た目も音もとても華やかです。

ホルンは、見た目はカタツムリのような形をした楽器ですが、管の長さは伸ばすと約3m70cmもあります。音がでてくるベルに手を入れて演奏するのが特長です。

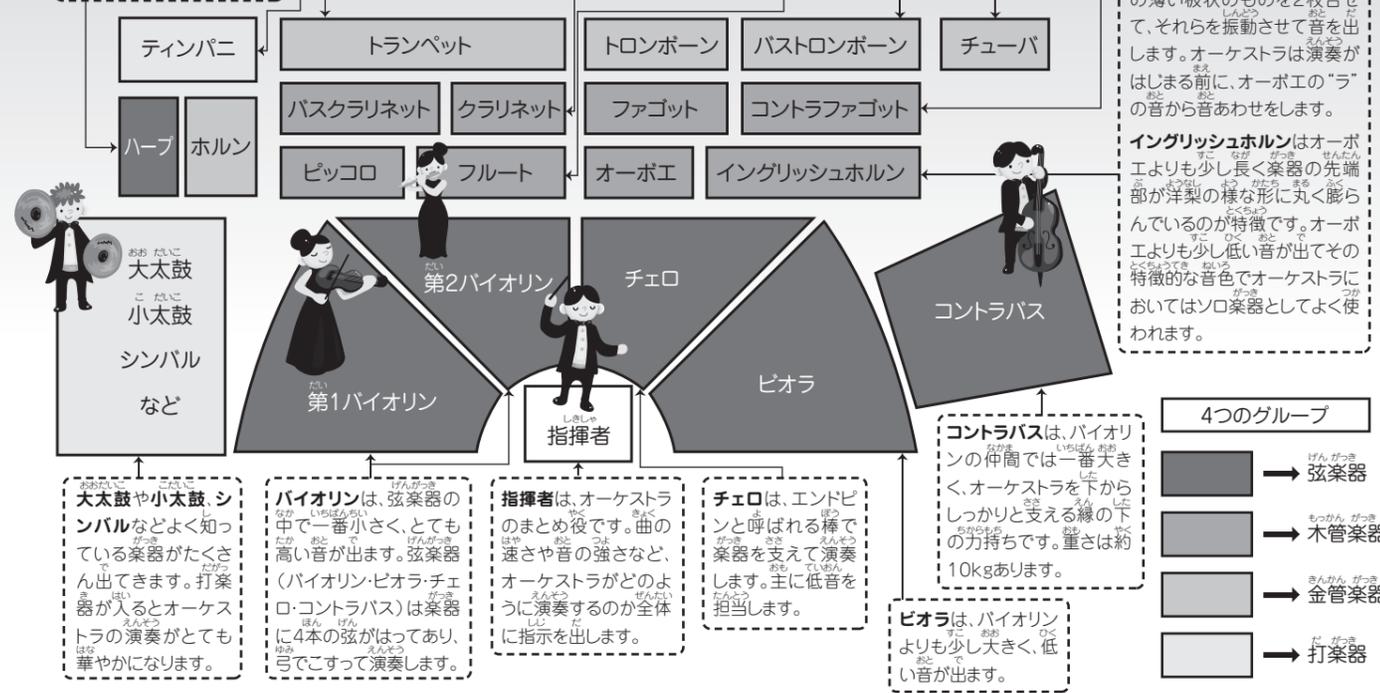
クラリネットは、オーボエと同じグラナディアという黒い木でできています。見た目はオーボエと似ていますが、リードは1枚で演奏します。
バスクラリネットはクラリネットの約2倍の長さがあり、クラリネットより1オクターブ低い音が出ます。

フルートは、昔は木でできていたのですが、現在は金属のものがほとんどです。
ピッコロは、フルートの半分くらいの大きさでオーケストラの中で一番高い音が出ます。

チューバは、金管楽器の中で一番大きな楽器でとても低い音が出ます。オーケストラ全体を包み込む太くて豊かな音が出ます。

オーボエは、リードと呼ばれる先の薄い板状のものを2枚合せて、それらを振動させて音を出します。オーケストラは演奏がはじまる前に、オーボエの「ラ」の音から音あわせをします。

イングリッシュホルンはオーボエよりも少し長く楽器の先端部が洋梨の様な形に丸く膨らんでいるのが特徴です。オーボエよりも少し低い音が出てその特徴的な音色でオーケストラにおいてはソロ楽器としてよく使われます。



- 4つのグループ
- 弦楽器
 - 木管楽器
 - 金管楽器
 - 打楽器

大太鼓や小太鼓、シンバルなどよく知っている楽器がたくさん出てきます。打楽器が入るとオーケストラの演奏がとても華やかになります。

バイオリンは、弦楽器の中で一番小さく、とても高い音が出ます。弦楽器(バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス)は楽器に4本の弦がはってあり、弓でこすって演奏します。

指揮者は、オーケストラのまとめ役です。曲の速さや音の強さなど、オーケストラがどのように演奏するのが全体に指示を出します。

チェロは、エンドピンと呼ばれる棒で楽器を支えて演奏します。主に低音を担当します。

コントラバスは、バイオリンの仲間では一番大きく、オーケストラをしっかりと支える縁の下の力持ちです。重さは約10kgあります。

ビオラは、バイオリンよりも少し大きく、低い音が出ます。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 The College Operahouse Orchestra

「大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス」の専属管弦楽団として、1988年4月に組織された。定期演奏会は2018年11月で54回となった。ザ・カレッジ・オペラハウス主催オペラ公演の管弦楽を担当。また発足当初より学生の研究、学習をサポート。学外では1999年ザ・カレッジ・オペラハウスの引越公演として、東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて黛敏郎《金閣寺》の管弦楽を担当。この公演を含む多彩な演奏活動が認められ、2000年第20回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。以降も多くのオペラの成功に貢献している。2005年9月新国立劇場における「地域招聘公演」第1回として松村禎三《沈黙》の管弦楽を担当、公演は大きな反響を呼んだ。2005年10月ザ・カレッジ・オペラハウスでの《沈黙》および2011年10月の20世紀オペラ・シリーズ、B.プリテン《ねじの回転》の公演では文化庁芸術祭大賞を受賞。2013年同シリーズ、B.プリテン《ピーター・グライムズ》の公演では第22回三菱UFJ信託音楽賞を受賞し、1997年ザ・カレッジ・オペラハウスにおける黛敏郎《金閣寺》の公演での第6回三菱信託音楽賞受賞に続く快挙を果たした。さらに2014年10月の同シリーズ、鈴木英明《鬼娘恋首引》およびB.プリテン《カーリユー・リヴァー》の公演は、狂言と能を題材にした内容と上質な演奏が高く評価され3度目の文化庁芸術祭大賞を受賞。2015年創立100周年記念オペラ公演、G.ヴェルディ《ファルスタッフ》の公演では文化庁芸術祭優秀賞を受賞。以上、数々の受賞に貢献している。名誉指揮者に飯森範親、山下一史、チャン・ユンソン、正指揮者に大勝秀也、牧村邦彦を擁している。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。



オフィシャル・ホームページ
<https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/>

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃひとみざ		
制作団体名	有限会社ひとみ座		
代表者職・氏名	代表取締役 倉正人		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31 (東急東横線「元住吉」駅)		
電話番号	044-777-2225	FAX番号	044-766-0249
ふりがな	にんぎょうげきだんひとみざ		
公演団体名	人形劇団ひとみ座		
代表者職・氏名	代表 中村孝男		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31 (東急東横線「元住吉」駅)		
制作団体 設立年月	1964年 4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 倉正人 取締役 中村孝男・田坂晴男 甲斐勝行・石川哲次 監査 税理士法人昴星 岩田克夫	(1) 団体構成員 計56名 劇団員44名、団友8名、嘱託4名 (2) 加入条件 ひとみ座研究所を卒業後入団	
事務体制の担当	専任・他の業務と兼任	本事業担当者名	取締役 石川哲次
経理処理等の 監査担当の有無	有・無	経理責任者名	経理 宇野かよ

制作団体沿革	<p>昭和23年「劇団ひとみ座」を鎌倉市で創立、翌年「人形劇団ひとみ座」に名称変更をする。小学校の芸術鑑賞教室、幼稚園・保育園での鑑賞会、全国ホールでのツアーなど、人形劇の専門劇団としての活動を展開する。</p> <p>川崎市に本拠地を移し、昭和39年に「有限会社ひとみ座」を設立。同年、NHK テレビ人形劇「ひょっこりひょうたん島」が放映開始、人形美術・製作・操演の全てを担当する。昭和58年に神奈川県文化賞と川崎市文化賞を受賞。他これまで作品での受賞多数。かわさき市民プラザ人形劇まつり、いいだ人形劇カーニバルの立ち上げに参加、地域を人形劇で結びつける活動をプロデュース、分野全体の発展に寄与する活動を展開する。平成17年より日生劇場プロデュースの人形劇ミュージカルに、出演・人形美術及び製作で参加。これまで12作品の公演に関わり、令和元年度は「ムーミン谷の夏まつり」に参加、日生劇場を含む全国9カ所での公演を実施予定。</p> <p>平成18年・21年・24年に、創立60周年記念シェイクスピア三部作を公演(「リア王」新国立劇場、「マクベス」俳優座劇場、「テンペスト」全労済ホール／スペース・ゼロ)。平成28年度より4年間連続で文化庁舞台芸術創造活動活性化事業の年間活動支援団体として採択継続中。平成30年度には、「まっぷたつの子爵」県民共済みらいホール公演、「どろろ」川崎市アートセンター公演を創立70周年記念事業として実施した。</p>																						
学校等における公演実績	<p>首都圏を中心に全国の小学校での巡回公演を、創立以来当劇団の中心的事業として、多彩な作品を制作・公演。例年200～300公演を実施。</p> <p>平成30年度は、学校独自の事業に加えて、各市町村の教育委員会等主催による事業、僻地支援を趣旨とする日本児童青少年演劇協会主催による事業にも参加。</p> <p>～平成30年度学校公演実績(本事業を除く)～</p> <p>「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」 61校89公演</p> <p>「ズッコケ時間漂流記」 38校59公演</p> <p>「岸辺のヤービ」 37校41公演</p> <p>「美女と野獣」 22校35公演</p>																						
特別支援学校における公演実績	<p>徒歩圏内に川崎市立中原養護学校があり、公演実績はもちろん、劇団訪問(町探検・職場体験等)やワークショップなどを含めた日常的な交流を実施。</p> <p>他、川崎市立田島養護学校、川崎市立川崎養護学校など、主に神奈川県内の養護学校で多数の実績あり。障害の度合いに応じたプログラムを企画して対応する。</p> <p>令和元年度文化芸術による子供育成総合事業では、栃木県立足利中央特別支援学校で公演を予定。対面を含む準備や打ち合わせを行っている。</p>																						
参考資料の有無	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="386 1588 491 1637">A</td> <td data-bbox="491 1588 1043 1637">申請する演目のチラシパンフレット等</td> <td data-bbox="1043 1588 1437 1637">有 ・ 無</td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 1637 491 1686">A</td> <td data-bbox="491 1637 1043 1686">申請する演目の DVD または WEB 公開資料</td> <td data-bbox="1043 1637 1437 1686">有 ・ 無</td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 1686 491 1736">A</td> <td data-bbox="491 1686 1043 1736">※公開資料有の場合 URL</td> <td data-bbox="1043 1686 1437 1736">DVD を提出します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 1736 491 1839">A</td> <td data-bbox="491 1736 1043 1839">※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td> <td data-bbox="1043 1736 1437 1839">ID: PW:</td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 1839 491 1919">A の提出が困難な場合</td> <td data-bbox="491 1839 1043 1919">今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</td> <td data-bbox="1043 1839 1437 1919">有 ・ 無</td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 1919 491 1968">A</td> <td data-bbox="491 1919 1043 1968">※公開資料有の場合 URL</td> <td data-bbox="1043 1919 1437 1968"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="386 1968 491 2067">A</td> <td data-bbox="491 1968 1043 2067">※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</td> <td data-bbox="1043 1968 1437 2067">ID: PW:</td> </tr> </table>	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無	A	申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	A	※公開資料有の場合 URL	DVD を提出します。	A	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無	A	※公開資料有の場合 URL		A	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:	
A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無																					
A	申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無																					
A	※公開資料有の場合 URL	DVD を提出します。																					
A	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:																					
A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無																					
A	※公開資料有の場合 URL																						
A	※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:																					

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 人形劇団ひとみ座】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」		
本公演演目	大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」		
原作/作曲	原案/十返舎一九「東海道中膝栗毛」		
脚本	脚本/佃典彦(劇団B級遊撃隊) 演出/山本コーゾー		
脚 本	人形美術/伊東亮 舞台美術/田坂晴男・本川東洋子		
演出/振付	音楽/やなせけいこ 音響/田辺正晴 照明/石川哲次 公演時間(100分)		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>本作は「弥次さん喜多さん」で知られる、江戸時代に書かれた『東海道中膝栗毛』の人形劇作品です。映画や舞台など様々なジャンルで知られる二人の冒険譚を、小学生対象の人形劇作品として、平成26年度に文化庁トップレベルの舞台芸術創造事業採択で制作、平成27年度より全国の小学校や公立文化施設にて巡演、ここまで累計500ステージの上演を重ねてきました。</p> <p>～二人の楽しい珍道中を通して 生きることの素晴らしさを伝える～</p> <p>原案の『東海道中膝栗毛』は、旅行を題材にした大江戸コメディです。当時は、街道や宿場町が整備され、庶民の間にも徒歩旅行が広まり始めた時代でした。本作のテーマであり、今も旅行の定番として生き続ける「お伊勢参り」がブームとなったことは、戦国時代の後に訪れた天下泰平の世で、庶民が「明日生きていられるだろうか」から「明日をどうやって豊かに生きよう」と考えられるようになった証でもありました。</p> <p>そんな世の中だからこそ、弥次さんと喜多さんは幾度となく大失態を演じながらも、気にせず元気に旅を続けることができます。今日の失敗より明日の成功を素直に思い描ける主人公達の物語を通して、たった一度の失敗に折れてしまいがちな現代の子供達に、生きることの素晴らしさを伝えていきます。</p> <p>～庶民の文化『伝統芸能』に触れながら 自分の住む地域の魅力を再発見する～</p> <p>歌舞伎・講談・お囃子など、日本には全国各地に様々な形で伝統芸能が生き続けています。今の児童にとって堅苦しいと捉えられがちなものでも、当時を生きる人々にとっては身近な文化でした。そしてそれらの芸能は、たくさんの人が集まる場所で行われる、地域の人と人をつなぐコミュニケーションの潤滑油のような役割を果たしていました。だからこそ各地域の特色が伝統芸能には強く表れていて、一人の世界で遊びが完結してしまうスマホやゲームにはない魅力が溢れています。</p> <p>本作には、様々な伝統芸能のパロディーが登場します。弥次さん喜多さんの愉快的旅路を彩るたくさんの魅力的な芸能を通して、児童がこの国の文化芸術の礎である伝統芸能を気軽に楽しむと同時に、自分の住んでいる地域の芸能や歴史を再発見する機会を作り出していきます。</p>		
			

～あらすじ～

江戸に住む弥次さんと喜多さんは、まんじゅうの大食い大会で起こした大失敗で、江戸を逃げるように離れることになる。それでも逃げるだけではつまらないと、当時大流行していたお伊勢参りをするために、西へ向かって徒歩旅行に出る。



小田原で五右衛門風呂の入り方がわからず下駄を履いたまま入浴して浴槽を壊したり、大井川を自力で渡ろうとして大迷惑をかけたり、台詞も覚えぬ歌舞伎の興行に出演したりと、二人の行く先々では必ず大騒動が起こるが、二人はその度にピンチを切り抜けていく。



そんな中、夢敗れて故郷に帰ろうとする力士や、全国を行脚する旅一座、二人を執拗に追い回す役人など、二人には旅で出会った仲間が出来る。仲間達の手を借りながら、やがて辿り着いた伊勢神宮では、全員で旅の成功を祝う。



演目選択理由

本作は、平成30年度人形劇団ひとみ座の小学校公演数最多作品で、初演以来大変高い評価を得てきました。

その理由の一つは、「生きることの素晴らしさ」と同時に、「誰もが豊かに生きることの出来る社会と価値観」が強調された本作の内容です。弥次さん喜多さんがどんなに失敗しても周囲から許容される、そんなゆったりとした価値観が本作の背景として表現されています。これから益々多様な価値観が交錯する時代を生きる児童にとって、あらゆる人や生き方を受容する『社会包摂』の理念は、今非常に重要なテーマの一つです。

そしてもう一つの理由は、「自分の住む地域の魅力を再発見する楽しさ」です。物語としては、日本橋(東京)から伊勢(三重)までの主人公達の旅路を演じますが、その途中で【ご当地シーン(弥次さん喜多さんが何故か実施校地域にやってくる場面)】が挿入されています。

	<p>ワークショップでは、人形劇の人形を遣う、観客に自分の意思が伝わるように表現するなどの、人形劇の基礎的体験のほかに、「自分の住む地域の特長について考える」作業がポイントとなってきます。</p> <p>日本の大きな課題の一つに『地方創生』が挙げられますが、「地元を愛する児童を育む」ことは各地域の発展に必要な不可欠な要素です。何も知らなければ地元に着も湧きません。本作を通して、地域の歴史や文化に楽しみながら触れる機会を作り出していきます。</p> <p>地元への愛情を基盤としながら、同時に他地域の多様な文化を楽しむことをテーマとして扱っている本作は、本事業に非常に相応しい作品だと考えています。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>～共演する内容～</p> <p>実施校地域を舞台とする【ご当地シーン】が児童の共演する場面です。児童は「ご当地に住む江戸時代の子供」の役を人形を遣って演じます。ご当地の特色(芸能・お祭り・歴史・名産・自然など)について、児童は弥次さん喜多さんに、次々とクイズ形式で尋ねていきます。他所から来た弥次さんと喜多さんは答えを間違えてしまいますので、児童がその解説をしていきます。</p> <p>このクイズや答えは、ワークショップを通して各校毎に完全にオリジナルの内容を作っていきます。児童と先生と講師で「地域の特長」について知恵を出し合い、そこから生まれた台本を使って共演場面を作り上げていきます。</p> <p>～その他の体験する内容～</p> <p>各実施校と時間や人数などの調整が必要ですが、終演後の児童から出演者への質問コーナー、舞台の裏側を覗くバックステージツアーなどを積極的に実施しています。また、実施校の希望に応じて、共演参加をする児童との給食交流も実施することで、生の舞台芸術ならではの「人と人との出会い」を大事にしていきます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>来住野正雄・齋藤俊輔・小林加弥子・勝又茂紀・西田由美子・日比英理子・田川陽香 蓬田雅代・女部田麻緒</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者： 9 名 スタッフ： 1 名 合計： 10 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 4 t 車長 8 m 台数 1 台</p>

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(3時間程度) <table border="1" data-bbox="389 667 1430 824"> <thead> <tr> <th data-bbox="389 667 523 745">到着</th> <th data-bbox="523 667 778 745">仕込み /リハーサル</th> <th data-bbox="778 667 986 745">本公演</th> <th data-bbox="986 667 1098 745">内休憩</th> <th data-bbox="1098 667 1299 745">撤去</th> <th data-bbox="1299 667 1430 745">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="389 745 523 824">8:30</td> <td data-bbox="523 745 778 824">8:30～11:30(仕込) 11:30～12:10(リハ)</td> <td data-bbox="778 745 986 824">13:00～14:40</td> <td data-bbox="986 745 1098 824">10分</td> <td data-bbox="1098 745 1299 824">15:00～17:00</td> <td data-bbox="1299 745 1430 824">17:00</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み /リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	8:30	8:30～11:30(仕込) 11:30～12:10(リハ)	13:00～14:40	10分	15:00～17:00	17:00
到着	仕込み /リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出													
8:30	8:30～11:30(仕込) 11:30～12:10(リハ)	13:00～14:40	10分	15:00～17:00	17:00													
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	100名まで。																
	本公演	500名まで。500名を超える場合は、2公演実施可。																
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>○事前に製作する人形の材料・見本・作り方をお渡ししますので、ワークショップ当日までに1人につき1体の人形を製作していただきます。作るキャラクターは「実施校地域に住む江戸時代の子供」です。</p> <p>人形は、製作方法や操作方法は容易ですが、人形劇特有のユニークな動きを最も出しやすい平面人形です。</p> <p>○ワークショップ当日の実施内容</p> <p>①生徒が遣う人形の操作方法などを指導します。</p> <p>②次に講師が児童や先生からアイデアを募りながら、地元の特徴を挙げていきます。次にその中から面白いものを選び、他所から旅をして来る弥次さんと喜多さんへのクイズを考えて、その答えと解説を作ります。</p> <p>③セリフを児童に割り振り、共演場面の練習をします。</p>																	
ワークショップ 実施形態の意図	<p>○住んでいる地域の魅力を再発見する</p> <p>行動範囲の狭い児童は、地元と他地域を比較する機会に恵まれないため、地元の歴史や文化を敢えて魅力として感じる機会が少ないものです。しかし、お祭りなどの地域の伝統行事・特産品・自然風土などに、児童は意識せずとも触れながら生活をしています。本事業の実施により、児童が地元の魅力を再発見する契機を作り出していきます。</p> <p>○人形美術デザインの体験</p> <p>児童が人形を作る意義は、工作面の体験のみならず、「どうすれば江戸時代の子供に見えるだろうか」を考える作業にあります。これは、人形劇にとって非常に重要な美術デザインの体験です。</p> <p>○舞台上でコミュニケーションを作り出す体験</p> <p>人形操作は、「もの」を使った表現です。主観的に演じるだけでなく、客観的な視点から「観客からどう見えているのか」を自然と意識することになります。受け手(観客)のことを考えながら発信する体験は、児童のコミュニケーションの基礎力を高めていきます。自分たちが考えた地元の魅力を、他の生徒や先生に対して、生き生きとわかりやすく表現するためのコミュニケーションを体験します。</p>																	

特別支援学校での実施における工夫点	人形操作や製作が難しい場合を考慮して、より簡単に人形を動かせるための工夫をします。また、児童の近くで出演者が楽器を生演奏するなど、共演参加時の方法や導入に工夫をしていきます。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

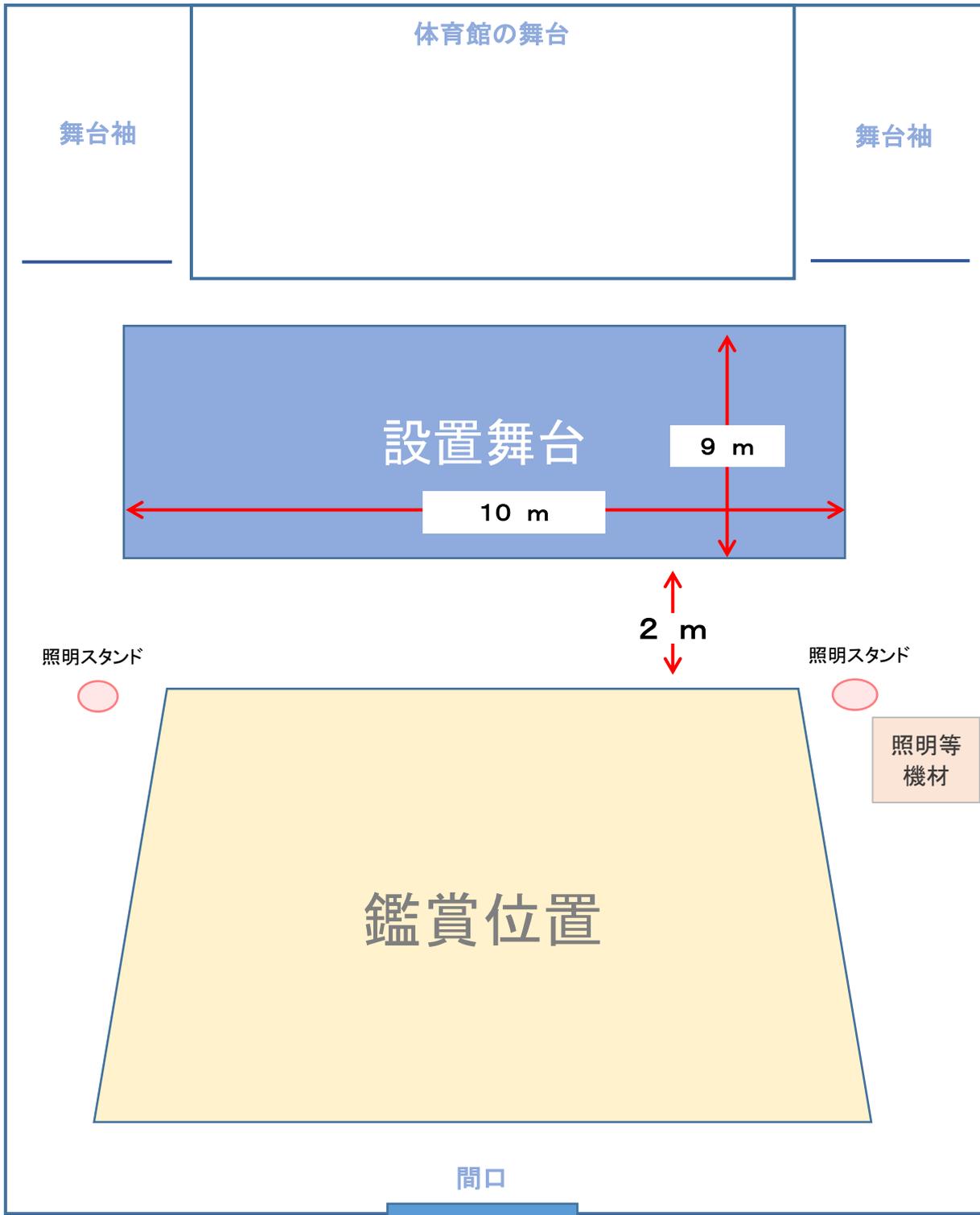
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D38	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	D	区分	B区分
公演団体名	人形劇団ひとみ座			制作団体名	有限会社 ひとみ座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	—	必要数 *	不要	条件						
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4トラック 1台		バン 1台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4トラック1台					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない					
	—	搬入経路の最低条件			特になし。					
	—	理由								
	—	設置階の制限 *			問わない					
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m		高さ	1.8m			
WSIについて	可	参加可能人数			100名まで					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *		中学年		
	不可	所要時間の目安 単位:分			学校の授業時間における2時限分					
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			500名まで(500名を超える場合は2回公演可)					
	不可	舞台設置場所 *			フロア					
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	9m	高さ	4m	
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		不要			
	—				舞台袖スペースの条件 *					
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			緞帳 *	不要		バトン *	不要	
	可				理由		暗幕がない場合、設置することにより公演可。設置方法は要相談。			
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			50A		※主幹電源の必要容量			
その他特記事項										

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要(相談可)		
横づけができない場合の搬入可能距離		指定なし		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



人形劇団 ひとみ座

大江戸
人形喜劇

弥次さん喜多さん

トンちんカン珍道中



大江戸人形喜劇「弥次さん喜多さんトンちんカン珍道中」の舞台



お囃子

人形劇舞台

講談師

◆二人の愉快な旅路を彩る 庶民の娯楽「伝統芸能」の数々

歌舞伎に講談、太鼓に三味線、果ては皿回しまで、そしてもちろん人形芝居！
 伝統芸能には人生を豊かにするための先人の知恵と力が詰まっています。
 「堅苦しい」ものではなく「お気軽に」根付いてこそ意味のある芸能。
 その場にいる人達を結び付けるコミュニケーションの潤滑油です。
 この国の各地域にあるたくさんの魅力に触れながら、
 みんなでわいわい楽しみましょう。



◆ゆっくりのんびり道中記 それそのものがメッセージ

失敗しても何のその。マイペースに旅を続ける弥次さん喜多さん。
 生きているだけで、私たちはかくも人生を豊かにできるのだと、
 多くの子どもたちに感じてほしいと思っています。



相撲取り「鬼の山」とまんじゅうの大食い大会に負けた「弥次さん喜多さん」。
 これをきっかけに、役人の「栗山様」に追われてお伊勢参りに向かうことに...

日本橋

大食いの天下一決定戦



あらすじ

まんじゅうの大食い大会で起こした
 大失敗から、江戸を追われてしまった
 弥次さんと喜多さんは、逃げるだけではつまらないと今流行りの
 お伊勢参りに向かう。二人の行く先々、必ず起こるとんでもない
 大騒動。さらに二人を執拗に追い回す役人の桃右衛門、傷心の
 相撲取り鬼の山なども加わり、
 伊勢までの大珍道中がはじまる—
 歌舞伎に講談、太鼓に三味線、
 果ては皿回しに人形芝居。
 昔の楽しいことが満載で贈る、
 二人のトンちんカンな珍道中！

大井川

『箱根八里は馬でも越すが、
 越すに越されぬ大井川』を
 弥次喜多は自力で渡る！？



桑名



百二十二連敗の鬼の山、駿河の実家でおっ母と
 感動の再会と思いきや...

駿河



伊勢



やっと伊勢に到着！
 色々あって感極まる一同。みんなそろって伊勢音頭！
 伊勢音頭：荷物にならない伊勢土産と呼ばれ、伊勢から各地に作り替えられ普及しています。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	<input checked="" type="checkbox"/> 児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ ともしび ----- 株式会社ともしび		
代表者職・氏名	代表取締役 齊藤 隆		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒171-0033 東京都豊島区高田 1-12-17 (都電早稲田駅 副都心線雑司ヶ谷駅)		
電話番号	03-6907-2731	F A X 番号	03-6907-3812
ふりがな 公演団体名	おべれったげきだん ともしび ----- オペレッタ劇団ともしび		
代表者職・氏名	代表 本道 亮		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 同上		
制作団体 設立年月	昭和 47 年 3 月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 齊藤隆 取締役 丸山堅司 取締役 清水正美 他		団体構成員:「ともしび」の音楽文化を創造し、普及しようとするもの。 加入条件: 上記要件を認め、活動しようとするものはだれでも。
事務体制の担当	専任 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	高柴秀樹
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	小松原奈々子

<p>制作団体沿革</p>	<p>1954 歌声喫茶灯開店 1968 オペレッタ劇団ともしび発足 1969 音楽文化集団ともしび結成 1971 株式会社ともしび設立 (この間) 歌声喫茶灯新宿店 亀戸店 吉祥寺店 オペレッタ「べっかんこ鬼」「お月さんももいろ」首都圏中心に公演 日本児童演劇協会主催僻地巡回公演 茨城・千葉・高知公演など 1989 「金剛山のトラたいじ他」韓国より招聘公演(以後5次にわたり韓国各地で公演) 1992 バブル後の新経営方針 芸術振興基金助成公演「金剛山のトラたいじ他生野野外公演」 1993 「懐かしのうたごえ喫茶」全8巻 CD・CT発売(全国通販) 沖縄キジムナフェスタ立ち上げ参加/日本EU優秀児童劇招聘公演 1994 「金剛山のトラたいじ他」平成6厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財 1996 出前歌声喫茶開始(以後毎年200日公演) 2002 アシテジ(国際児童青少年演劇協会)世界大会・ソウル招聘公演 「金剛山のトラたいじ他」(文化庁フェスティバル助成) 2004 歌声喫茶50周年記念事業 2009 日本・メコン交流記念オペレッタ「シンプルプレイ 3びきのこぶた」ラオス、カンボジア、ベトナム公演(文化庁・外務省助成公演) 現在に至る</p>
<p>学校等における公演実績</p>	<p>1967年 学校公演開始オペレッタ「カップ沼の宝物」年間30公演程度公演 幼稚園・保育園公演「ごんべえかかし」「狼五郎」 1980年代 オペレッタ「べっかんこ鬼」、「お月さんももいろ」等年間100日程度公演 1980年代 オペレッタ「ねこの家」オペレッタ「金剛山のトラたいじ」など年間150日程度公演 1990年代 オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」など年間120日程度公演 2000年代 ともしび「バラエティ劇場」「金剛山のトラたいじ」など年間80日程度公演 2010年代 オペレッタ「トラの恩がえし」ともしび「バラエティ劇場」など年間80日程度公演 主に首都圏を中心に公演 この間、オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」は文化庁「本物の舞台芸術体験事業」 「トラの恩がえし」は2019年に「文化芸術による子供育成総合事業巡回公演事業採択 公益社団法人日本児童演劇協会地方公演、青少年文化センター地方公演などにはほぼ毎年採択され、首都圏以外の学校公演を多数行う。</p>
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>公演実施校:埼玉県立蓮田特別支援学校 都立町田養護学校 埼玉県立和光養護学校 岡山県 健康の森学園養護学校 長野県立稲荷山養護学校等 高知県立盲学校等多数 公演演目:「お月さんももいろ」「金剛山のトラたいじ」「おもしろどんどん」「トラの恩がえし」等</p>

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	https://www.youtube.com/watch?v=u4R_f89pM-I
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

】

対象	小学生() 低学年・中学年・高学年) ・ 中学生()		
企画名	「トラの恩がえし」		
本公演演目	オペレッタ「トラの恩がえし」		
原作／作曲	原作 韓国・朝鮮民話／		
脚 本	音楽:リ・ジェホ+韓国・朝鮮の伝統音楽から		
演出／振付	脚本:中西明+韓国・朝鮮と日本チーム		
	演出:大野幸則+韓国・朝鮮と日本チーム		
	美術:内山勉 新井真紀		
	公演時間(80 分)		
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>●あらすじ:大昔は仲良く暮らしていたという人間とトラ、いつしかお互いを敵として、憎みあって暮らすようになっていました。山奥に母親と2人で暮らす木こりが、ある日けがをして苦しんでいるトラを助けます。思いがけず命を救われたトラは、木こり親子に恩がえしをはじめ、最後には自分の命をかけて一計を案じます。敵同士という垣根を越えて生まれる普遍の友情が胸を打つ朝鮮民話がベースとなっています。</p> <p>●録音やマイクなどの拡声器材を一切使わず、すべて生で歌い、演奏するオペレッタです。子どもたちが思わず声を上げて応援したり爆笑したりと、舞台と客席との交流が豊かで、演者と観客との心の交流が一層の臨場感を生み出す構成になっています。</p> <p>●韓国・朝鮮の伝統的な楽器、歌、美術、独特のリズムを取り入れ、隣国との文化的な相違や共通点を知る機会ともなります。大道芸の妙技も楽しんでいただけます。</p> <p>●演劇には悪条件と言われてきた体育館の構造を逆に活かして、「体育館演劇」と呼ばれる独特の空間を作り出します。具体的には、体育館の舞台も利用してスタジアム風の客席を設営し、後方でも見やすくする、音響器材を使わないことで余分な反響音をなくし、歌やセリフを聞き取りやすくする、などの工夫をしています。</p> <p>●役者たち自身が構成を練り、場面場面を話し合い、試し合って創る「デバイジング」方式をとっています。役者たちがお互いを認め合い、「生きあう」ことが、作品のテーマである「生きあう力」を舞台上で表現する支えになっています。</p>		
演目選択理由	<p>●人間同士の「心の垣根」が諍いや対立、戦争など大きな不幸を生み出している今日、その「垣根」を取り払う思いやりや優しさ、相手への理解の大切さを描きたく、この作品を選びました。また、人の役に立つこと、人に喜ばれることが自分の喜びともなる、そんな生き方、人と人との「生き合う」姿を伝えたいと願っています。</p> <p>●あわせて、隣国の文化に触れるきっかけとなることを期待しています。</p>		

<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>小学校高学年には、劇の冒頭で歌うテーマ曲をいっしょに歌ってもらいます。韓国の伝統的な民謡のひとつをモチーフにした曲で、民族楽器「チャング」で伴奏します。低学年にはテーマ曲に続く「わらべうた」で参加してもらいます。どちらも簡単な振り(動き)をつけて行きます。舞台上に上がれるのは各 30 名程度までですが、歌を全員に覚えてもらうことも可能です。必要に応じて事前に楽譜、CD 等を用意します。 中学校では最後の大道芸の一部を 6 名程度の生徒に体験してもらいます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>中西明 李在浩 藤崎健太 本道亮 宋明花 金嬉仙 千足咲菜</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 7 名 スタッフ: 1 名 合計: 8 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2 t 車長 6 m 台数 1台</p>

【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

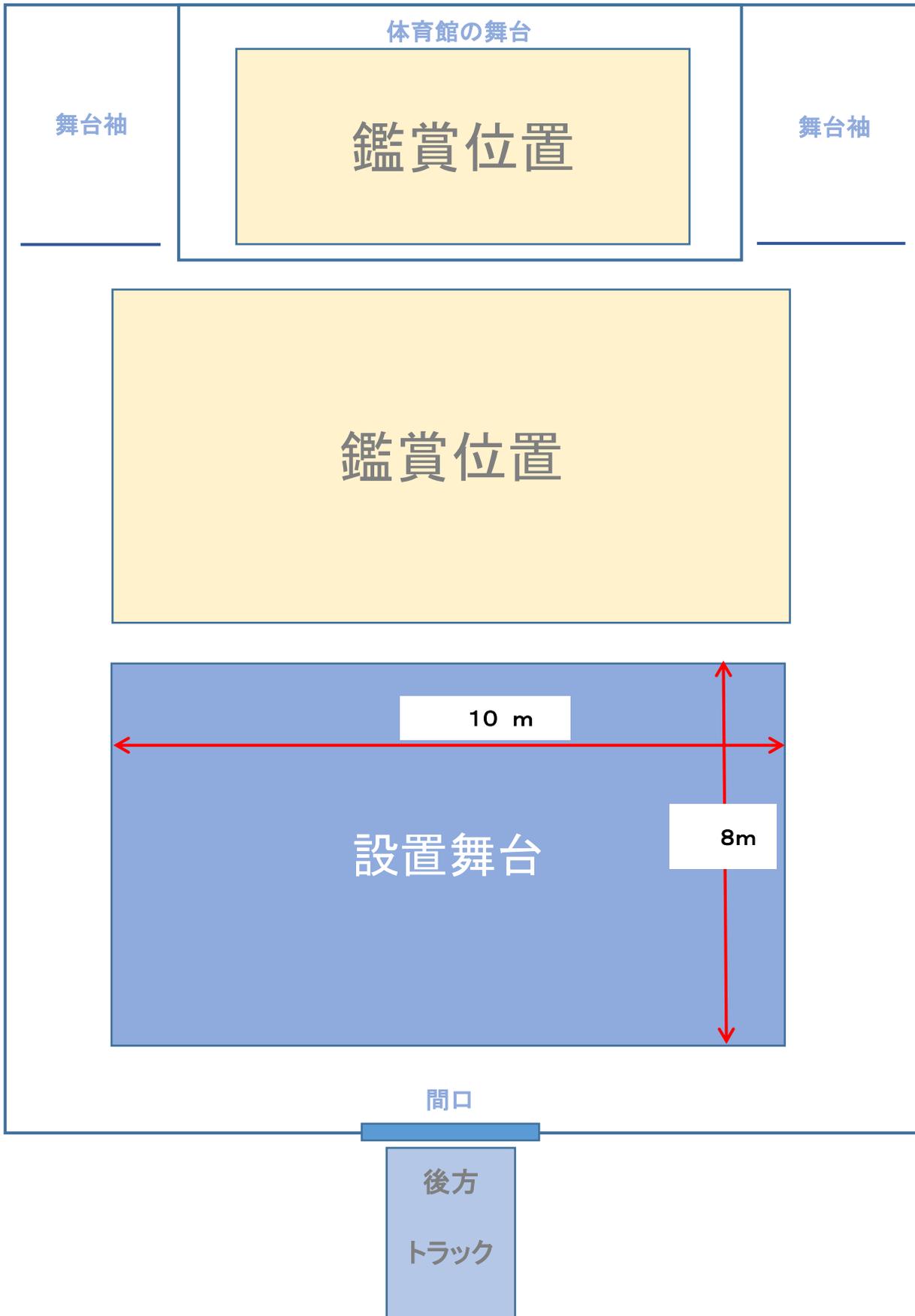
公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時30分	9時30分～12時30分	13時30分～14時50分	0分	15時～16時30分	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	最大40名程度(歌のみならば制限なし)				
	本公演	舞台上上がるのは最大40名ぐらいまで				
ワークショップ 実施形態 及び内容	おおよそ2時限、体育館を使って公演冒頭で歌うテーマ曲(高学年の場合)、または「わらべうた」(低学年)を練習します。公演当日も事前に舞台上で練習し、本番で共演します。 また、民族楽器の紹介と演奏、服装についての紹介等、お隣の国の文化に触れる機会とします。					
ワークショップ 実施形態の意図	韓国・朝鮮とは古代から多くの交流があり、文化的にも様々な共通点を持ちながら、また、まったく違う面もあります。そうした共通点と相違を、とくに音楽文化の面で感じてもらいたいと思います。 また、劇(Play)が「遊び」の延長であることを楽しく感じ取ってもらえるワークショップにしたいと思います。					
特別支援学校で の実施における 工夫点	盲・聾学校では事前に楽譜、台本を提供し、物語の内容が伝えられるよう配慮します。 客席は劇団が設営しますので、車椅子スペースや寝て観るスペースなど、先生方と相談してなるべく見やすい空間にします。ワークショップも、障がいに応じて、歌中心、踊り中心など興味を持てる形態にします。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D39	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	オペレッタ劇団ともしび			制作団体名	株式会社 ともしび				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	窓側にカーテンがある。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック 1台	バン	1台		
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック1台				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内 ご相談します。				
	可	搬入経路の最低条件			出来れば階段など高低差が少ない。登校時間と搬入時間が重ならない時間設定。				
		理由			俳優が裏方も兼任するのでできるだけ負担を軽減したい。				
	可	設置階の制限 *			3階以上の場合にはご相談ください。				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		
WSIについて	可	参加可能人数			最大40名程度(歌のみならば制限なし)				
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			おおよそ2時限				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			400人まで				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	8m	高さ	通常の体育館
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		不要		
	—				舞台袖スペースの条件 *		不要		
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			一部要	理由	西日を遮るため。		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要	※公演では使用しませんので邪魔にならない場所へ移動			
	—			ピアノの事前調律 *	不要				
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *	格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			60A	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
	フロアに客席を劇団が設営します。段差を付けて観客が見やすくするためです。								
	ベンチ椅子・台などを劇団が持ち込みます。折りたたみ椅子などを拝借する場合があります、ご相談します。								
	ピアノは公演では使用ませんが、。俳優の発声練習などでお借りします。								



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m ご相談します。		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財
一般財団法人 児童健全育成推進財団2019年度児童福祉文化財



子どもたちの一人ひとりの「生きる力」から
人と人の「生きあう力」へ

民族楽器の生演奏
韓国・朝鮮の大道芸も楽しい!!
思いやりとやさしさが、
トラと木こりの心をつなぐ!!
笑いあり涙ありの物語。

原作:韓国・朝鮮の民話から
音楽:韓国・朝鮮の伝統音楽、李在浩
脚本・演出:韓国・朝鮮と日本チーム
美術:内山勉、新井真紀
出演者による集団創作(デバイジング)

オペレッタ劇団ともしび

日本児童・青少年演劇劇団協同組合 加盟
国際児童青少年舞台芸術協会(アシテン)日本センター 加盟

トラの恩がえし

オペレッタ 韓国・朝鮮の民話より

エンディングは、韓国・朝鮮の大道芸

民族楽器の
生演奏の楽しさが、
うたごえが
会場いっぱい
あふれます。

チャンゴ、ブク、ケンガリなどの演奏にあわせての大サンモ。
コミカルで楽しくダイナミックなボナ回し(皿まわし)。
思わず、歓声と拍手が…。



制作にあたって

オペレッタ劇団ともしびが「金剛山のトラたいじ他」に続きお送りする、韓国・朝鮮の昔話第2弾「トラの恩がえし」は、広く語りつがれているお話です。トラと人間が互いに殺し合っている時代に、トラと人間の「友情」が生まれました。

たがいに相手を知ろうとしない、無視する、さらに憎み合うという話は、昔話どころか、私たちの身の回りでも日々起こっていることではないでしょうか。いな蔓延しつつあります。

心寒くなるような事件が多発する昨今、人々の平和と安寧を願わない日はありません。

優しさ、相手に対する思いやりは憎しみを超えて互いの人格を尊ぶ心を育てます。芸術作品は子どもたちの心を育てます。

昨日までの体育館が今日は劇場に大変身!

劇団が舞台と客席を設営します。体育館の広いフロアで身近にダイナミックに演じます。



●お申し込み、お問い合わせは 月～金10時～18時 土曜10時～17時

オペレッタ劇団ともしび

〒171-0033 東京都豊島区高田1-12-17

TEL 03-6907-2731 FAX 03-6907-3812

<https://tomoshi.co.jp>

Email info@tomoshi.co.jp



あれ?お前、こんなにひどいケガが… 動くんじゃないよ!



何かのどに刺さっている
おいらがとってあげよう。



今日も山に木を切りにー。



なんだが、
気分だぜ。
あんなに嬉しい

「お〜い
ず〜っと
トラよ!
友だちだからな〜」

「おれも
おれもただちだぞ!」



どうだ。
この見事な毛皮!
こいつは
高く売れるぞ!



「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。
人間はトラの皮を宝物として珍重し、一方トラは、人間を喰うので、お互いに怖れあい、憎み合っていました。
山奥で母親と二人で暮らす、若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。
思いがけず助けられたトラは、怪我がなおると木こりへの恩がえしを始めるのでした。
さて最後の恩がえしは…

上演時間80分(休憩なし) 構成7名 暗幕不要



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, <input checked="" type="checkbox"/> 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

 A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

 あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	(か) げきだん げい ゆう ざ (株)劇団 芸 優 座		
代表者職・氏名	代表取締役 平塚 仁郎		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4 (京王相模原線京王多摩川駅より徒歩8分)		
電話番号	042-489-4555(代)	FAX番号	042-489-9170
ふりがな 公演団体名	(か) げきだん げい ゆう ざ (株)劇団 芸 優 座		
代表者職・氏名	代表取締役 平塚 仁郎		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4 (京王相模原線京王多摩川駅より徒歩8分)		
制作団体 設立年月	昭和47年 11月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 平塚仁郎 取締役 村田里絵 平塚奈々 川口勝也 監査役 平塚キク	制作部 7名 文芸演出部 3名 俳優部 35名 (他に研究生名) 加入条件: 18歳・高卒以上 (制作は面接、俳優はオーディションで選考する)	
事務体制の担当	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	村田 里絵
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経理責任者名	伊澤 智子

<p>制作団体沿革</p>	<p>沿革について</p> <p>昭和47年に(株)総合プロモーションを設立後、舞台や TV 番組の制作を始め、広いジャンルでの活動をしつつ、「まず面白く確かなテーマで」を創造理念として劇団を創設。以来「児童青少年の為だからこそ最高の演劇を」と、総合芸術である舞台劇の魅力を最大限伝えるべく、全国で公演を続けている。平成3年、(株)劇団芸優座と改称。平成10年より事務所・稽古場を現在地に持つ。劇団として、常に高い専門性を維持するために、新人から中堅・ベテランに至るまで、発声・ダンス・日舞等、専門家の指導の下での基礎訓練を重ねると同時に、児童青少年から大人一般まで、それぞれを対象とする様々な作品の自主公演をするなど、日常的な鍛錬を日々欠かさない。</p> <p>これまでの作品</p> <p>令和元年度上演中の中学生向けレパトリーは5作品。「ベニスの商人」は昭和47年の初演以来、既に4000ステージを超え、「最後の一葉」は平成20～22年度「本物の舞台芸術体験事業」、平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」で、「アンクル・トムの小屋の灯に」は平成24・28年度「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」で採択された。「チェーホフ先生こんにちは」「それぞれの絆」も好評を博しており、オリンピックをテーマにした新作「昇らぬ朝日のあるものを」も注目され公演数を伸ばしている。</p> <p>(公社)日本児童青少年演劇協会・(公社)日本劇団協議会・児演協等 加盟</p>																										
<p>学校等における公演実績</p>	<p>平成30年度12作品の実績は全国で、合同公演も含め、高校29回、中学校8回、小学校78回、教育委員会主催公演・公文協など73回。</p> <p>作品ごとの、過去10年間の公演実績は以下の通り。</p> <p><中学校・高校向け作品></p> <table border="1" data-bbox="603 1339 1120 1572"> <tr><td>ベニスの商人</td><td>729回</td></tr> <tr><td>アンクルトムの小屋の灯に</td><td>140回</td></tr> <tr><td>最後の一葉</td><td>144回</td></tr> <tr><td>チェーホフ先生こんにちは</td><td>62回</td></tr> <tr><td>それぞれの絆</td><td>20回</td></tr> <tr><td>昇らぬ朝日のあるものを</td><td>19回</td></tr> </table> <p><小学校向け作品></p> <table border="1" data-bbox="603 1630 1120 1908"> <tr><td>天狗山のトロップ</td><td>224回</td></tr> <tr><td>グリムのハンスと大悪魔</td><td>219回</td></tr> <tr><td>パパはマジシャン</td><td>147回</td></tr> <tr><td>秘密のロビンの大冒険</td><td>168回</td></tr> <tr><td>一休さん</td><td>276回</td></tr> <tr><td>角〜いじめっ子姫の物語</td><td>281回</td></tr> <tr><td>絵本の扉</td><td>31回</td></tr> </table>	ベニスの商人	729回	アンクルトムの小屋の灯に	140回	最後の一葉	144回	チェーホフ先生こんにちは	62回	それぞれの絆	20回	昇らぬ朝日のあるものを	19回	天狗山のトロップ	224回	グリムのハンスと大悪魔	219回	パパはマジシャン	147回	秘密のロビンの大冒険	168回	一休さん	276回	角〜いじめっ子姫の物語	281回	絵本の扉	31回
ベニスの商人	729回																										
アンクルトムの小屋の灯に	140回																										
最後の一葉	144回																										
チェーホフ先生こんにちは	62回																										
それぞれの絆	20回																										
昇らぬ朝日のあるものを	19回																										
天狗山のトロップ	224回																										
グリムのハンスと大悪魔	219回																										
パパはマジシャン	147回																										
秘密のロビンの大冒険	168回																										
一休さん	276回																										
角〜いじめっ子姫の物語	281回																										
絵本の扉	31回																										
<p>特別支援学校における公演実績</p>	<p>事前資料や字幕を作成したり、手話を依頼するなど、必要とされる視覚的・聴覚的様々な工夫を凝らして公演した経験がある。</p>																										

参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	<i>DVD を提出します。</i>
		※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード	ID: PW:
	A の提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団 **芸優座**】

対象	小学生(低学年・中学年・ 高学年)・ 中学生		
企画名	名作の世界をお芝居で楽しもう!		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>ザ・ラスト リーフ 『最後の葉 — O. ヘンリー物語』 (途中休憩10分あり)</p> <p>原作 : O. ヘンリー 脚本 : 平塚 仁郎 演出 : 村田 里絵</p> <p style="text-align: right;">公演時間(100分)</p>		
著作権	<input type="radio"/> 制作団体が所有	<input type="checkbox"/> 制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>★あらすじ 生き難い時代にあっても、たくましく生きる人々!</p> <p>短編の名手O. ヘンリーの4作を厳選し、オムニバスで綴ります。 見事なまでの「どんでんがえし」は、この作品の見所でもあります!</p> <p>第一幕 公園にて (第一話)心と手 (第二話)愛の使者</p> <p>少年ボブは小遣い稼ぎに、旅支度の男の荷物持ちをするが、鞆が重くてへとへと…公園のベンチで一休みすることに。すると、そこへ通りがかる人達のドラマに引き込まれ…そもそも、その旅支度の男も、何やら大変な訳有りのようで…</p>  <p>第二幕 ボブのアパート (第三話)賢者の贈り物 (第四話)最後の葉</p>  <p>ボブのアパートには、貧しいながらも人生を謳歌するユニークな住人が大勢いた。仲睦まじい若夫婦デラとジム、病に倒れたジョンジーと同じ絵描き仲間達…その年のクリスマス、それぞれに、特別なプレゼントが用意されていた… ご存知、O. ヘンリーの名作世界が繰り広げられます。</p>		

★**テーマについて** それぞれの年齢層に相応しいテーマがあります！

- ◎ **生きていく為に、本当に大切な物は何なのかをあらためて考えます**
○. ヘンリーが大切に描いた、普通の人々の、何気ないありふれた日常の中にこそある「幸せ」や「希望」を見つめます。
- ◎ **困難にある時…人との絆を考えます**
人間誰しも陥る危険性のある絶望や無力感…そこから自ら這い上がろうとする時、大きな支えと力になるものこそが人との絆なのではないでしょうか。そして、その絆の結び方をあらためて見つめます。

☆ **そして、もう一度問いかけます。自分自身より大切に思える誰かが、あなたにもいますか？ あるいは誰かが困っていたら、悲しんでいたら…その人のために、あなたは何かができるでしょうか。自分を犠牲にしても行動できるでしょうか？**

<公演の目的に合わせての作品選定>

公演やワークショップを通じて、児童・生徒の創造力・想像力を培い、コミュニケーションを能力の育成を図ることが何より重要です。また、児童・生徒に「演劇の楽しさ」を知ってもらうことで、将来の演劇観客人口の育成を図ることを配慮します。以上の目的に合致した作品を選定しました。

- この作品は、演劇としての「観る楽しさ」と共に、たとえば原作に触れたり、作者について調べたりなど、様々な方向に広げ、深めていく事が期待できます。また、ワークショップでは、この体験が、文化祭や発表などだけでなく、日常の学校生活でも、具体的に役立てて頂けるような取り組みもします。
- 対象を「小学生高学年から中学生」としていますが、事前鑑賞指導の効果もあり、実績としては小学校1年生からしっかり楽しく鑑賞して頂いています。

<事業効果の向上を図るために>

児童・生徒のみならず、保護者や地域の皆さんも楽しめる作品を選定しました。

- 観劇後、みんなで考え、語り合おう…身近な人とすら、どう関わりを持てばよいか難問となってしまった現代にあって、誰かの為に生きる事、生きようとする事の尊さ、そして、実はシンプルで美しいその姿を、あらためて見つめてほしい、そんな願いのもと、この作品は制作されました。子供から大人まで、観劇した人みんなで、深く考えたり語りあえる作品です。

<第三者の評価から>

公益社団法人日本児童青少年演劇協会主催「児童青少年演劇地方巡回公演」でも、いずれの作品も高い評価を得ています。令和2年度は、中学・高校向け5作品から、特に芸術的にも教育的にも効果が高いとの評価を得た作品を選定しました。

- 初演以来、全国の中・高校や鑑賞会等、多くの方々をご覧下さり、ご好評を頂いています。「体育館を劇場に」と、あくまでもオーソドックスであることに拘った美しい舞台、明確なテーマとテンポの良い分かりやすいストーリーは、初めて舞台劇を観る方にも、その魅力をしっかりと感じて頂けるものと信じます。

演目選択理由

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態

「共演」「参加」「体験」の具体的なプランについて

俳優として共演

エキストラにさせません！

予め生徒さん(先生でも可)7名程のご出演を想定していますが、希望人数によってアレンジ可能です。勿論、学年・男女・経験は問いません。

基本の出演シーンは、

- 第一幕冒頭で登場する「街の子ども」兄弟(妹)として 2名
- 同 幕切れには「帰途を急ぐ男(女)」として 1名
- 第二幕『最後の一葉』のワンシーンで、主人公たちの隣人として 4 名まで

さらに、

- 同 舞台転換で、原作の朗読者として朗読で出演 数名
- 同 クリスマスキャロルを歌う聖歌隊として歌で出演 数名 など

簡単なセリフと動きを覚え、朗読や歌の練習をして頂きますが、一番大事なことは「間違えない」ことではありません。役に扮する事を体験する中で、自分らしさを知り、それを表現する事の楽しさ、積極的にコミュニケーションを図り、互いを信頼することの大切さ、共に創り上げること、そして、演劇の面白さを実感して頂くことです。

単なるエキストラではなく、あくまでも共演者として、出演して頂きます。終演後は衣装のまま記念撮影をします。

(共演する生徒さん方も、しっかり鑑賞できるよう工夫しています)

スタッフとして参加

チャンスは「俳優さん」だけではありません！

劇中の効果を高めるための「ツタの葉を落とす」「雪を降らせる」、開演前や幕間のアナウンスやタイムキーパーなど、「舞台監督助手」として舞台の裏方の仕事も2～4名体験できます。舞台芸術は俳優だけでは完成しないのだということ、力を合わせて一つのものを創り上げる喜びを是非とも感じて頂きたいと思います。



カーテンコールのお稽古



ばらし作業の手伝い

終演後も……その他の体験

お別れのその時まで……

舞台を一層身近に感じてもらえるよう、上演後のバックステージツアーや、俳優達との交流会などが実施可能です。

また、条件次第ではばらし作業の見学や「お手伝い」もできます。

「劇場」が、いつもの体育館へと戻っていく様子を目の当たりにするのも、楽しい経験だと思えます。

出 演 者	綾川志剛 鈴木弘子 川口勝也 池田文則 前澤まや 南 幸男 紺谷洋平 山際光次 北村光沙 江口つかさ 市来賢志 亜槍奈美 福島史織 井上愛理			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 14名 スタッフ: 3名 合 計: 17名	機 材 等 運搬方法	積載量 3t ・ バン 車 長 6.09m ・ 4.99m 台 数 1台 ・ 2台	

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。													
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<p>前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(4時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="389 790 1430 907"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み/リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7時</td> <td>7時～11時/ 11～12時</td> <td>13時～ 14時40分</td> <td>10分</td> <td>15時～ 16時30分</td> <td>17時</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</p>		到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出	7時	7時～11時/ 11～12時	13時～ 14時40分	10分	15時～ 16時30分	17時
到着	仕込み/リハーサル	本公演	内休憩	撤去	退出									
7時	7時～11時/ 11～12時	13時～ 14時40分	10分	15時～ 16時30分	17時									
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	第一部全校生徒・第二部7名から20名程度												
	本公演	50名～1000名												
ワークショップ実施形態及び内容	<p><当劇団のワークショップの目的></p> <p>①児童・生徒の想像力・創造力を培う ②児童・生徒のコミュニケーション能力の育成を図る ③将来の演劇観客人口の育成を図るため「演劇の楽しさ」を知ってもらう</p> <p><ワークショップの具体的なプラン></p> <p>① 鑑賞指導…… 全校生徒の皆さんを対象に(20分程度) まずは、作品の粗筋やテーマ・見所、舞台となる街の当時の風景や時代背景、さらに作家の生涯についてなど、プロジェクターでの美しい映像を見ながら簡潔に説明します。その結果、本番を心待ちにして頂けますし、当日の観劇体験がより豊かになると同時に、作品に対しても深い理解と感動が得られます。</p> <p>② 実技指導</p> <p>1)全校生徒の皆さんを対象に(25分程度) 続いて、俳優が日々続けている発声・発音の練習、呼吸法や準備運動等一緒にやってみます。この時、劇団員が生徒さんたちの間に入っていきますので、すぐそばで舞台の声を聞きながら体験できます。</p> <p>さらに、生徒さんの日常生活に役立つ演劇訓練として、人前で上がらずに発表したり、自分らしいパフォーマンスができるようになるための「リラックス法」「集中」の訓練を紹介します。</p> <p>2)共演する生徒さんを対象に(30分) それぞれの「出演シーン」のお稽古の前に、そのウォーミングアップとして、コミュニケーションをとる事の大切さ、体一杯で表現することの面白さ等を経験して頂くことを最大の目標として、簡単なインプロゲームを楽しみます。</p>													

	<p>「ミラーゲーム」「わたし・あなたゲーム」「震源地ゲーム」等々、状況に応じて幾つかのプログラムを選びながら、目的をはっきり持って、意識的に動いて頂けるよう工夫しています。</p> <p>続いて、身近なシチュエーションを用いて、誰にでもできるシンプルで簡単なエチュードなど、演技するための具体的な訓練を体験します。</p> <p>③ 共演の練習(60～90分)</p> <p>いよいよ最後に、「出演シーン」ごとに分かれ、お芝居のお稽古をします。事前に出演台本・楽譜・公演のDVD等お送りしますが、特に予習をして頂く必要はありません。まず、本番のDVDを観ながら、各役のおかれている状況を説明した後、それぞれのセリフや動きを覚えたり、生徒さん方ご自身のアイデアを大切にしながら、その役について研究します。</p> <p>ここまでで既に劇団員とも連帯感が生まれ、リラックスしたムードでお稽古は進みます。本番前の緊張も良い経験ですが、あくまでも楽しい体験となるよう、生徒さん方が自信をもって当日を迎えられるよう配慮します。</p> <p>終わりに、衣装合わせ(メイクは当日のみとなります)をします。 (当日もリハーサルがあります。)</p> <p>☆「スタッフ」をご希望の生徒さん方も、②までは一緒に参加して頂きますが、その後は「俳優」陣とは分かれます。まず、舞台や大道具についての説明を受けた後、役割分担をし、「効果」などの練習をします。</p>
ワークショップ実施形態の意図	<p>◎事前の鑑賞指導について</p> <p>わずかでも作品の背景を知ること、当日、積極的で深い鑑賞が可能となり、より楽しめます。また、そもそも舞台芸術が「観客」と共に創造していくものであるという事を、この事業を通じて「体験」して頂きたい。楽しかったというその体験こそが、将来の良き「観客」を生み育むと考え、豊かな時間となるよう工夫します。</p> <p>◎とにかく、一緒に動いてみよう！</p> <p>共演を通じて、舞台芸術が身近になり、さらに深く興味を持って頂きたい、そして、覚えた事を「正しく」やるのが目的ではなく、自ら心身共に解き放ち、自分を表現する事の喜びや、他人と協力しながら何かを創り上げる事の喜びを経験して頂きたい。その為に必要な信頼関係を短期間で築くには、まず、一緒に動くこと…その経験がコミュニケーション能力の向上につながると思います。</p> <p>◎学校のニーズに対応します！</p> <p>発表会・文化祭・演劇部などの指導をしたり、演劇的なアプローチにより、授業での発表や朗読など様々な学校の日常のシーンにおいて効果を上げる方法を体験します。</p>
特別支援学校での実施における工夫点	<p>公演は変更なく行えます。聴覚障害のある生徒さんには字幕スーパーや手話を準備、視覚障害のある生徒さんには、音楽性を重視し、実際に舞台上がってもらうなど事前事後の指導を徹底し、肢体不自由の生徒さんには車いすの為に段差を観客席に設けます。また、ワークショップ・共演についても、先生と一緒に同じ役を演じて頂くなど、様々な状況に応じ、最大限可能にしたいと考えます。</p>
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

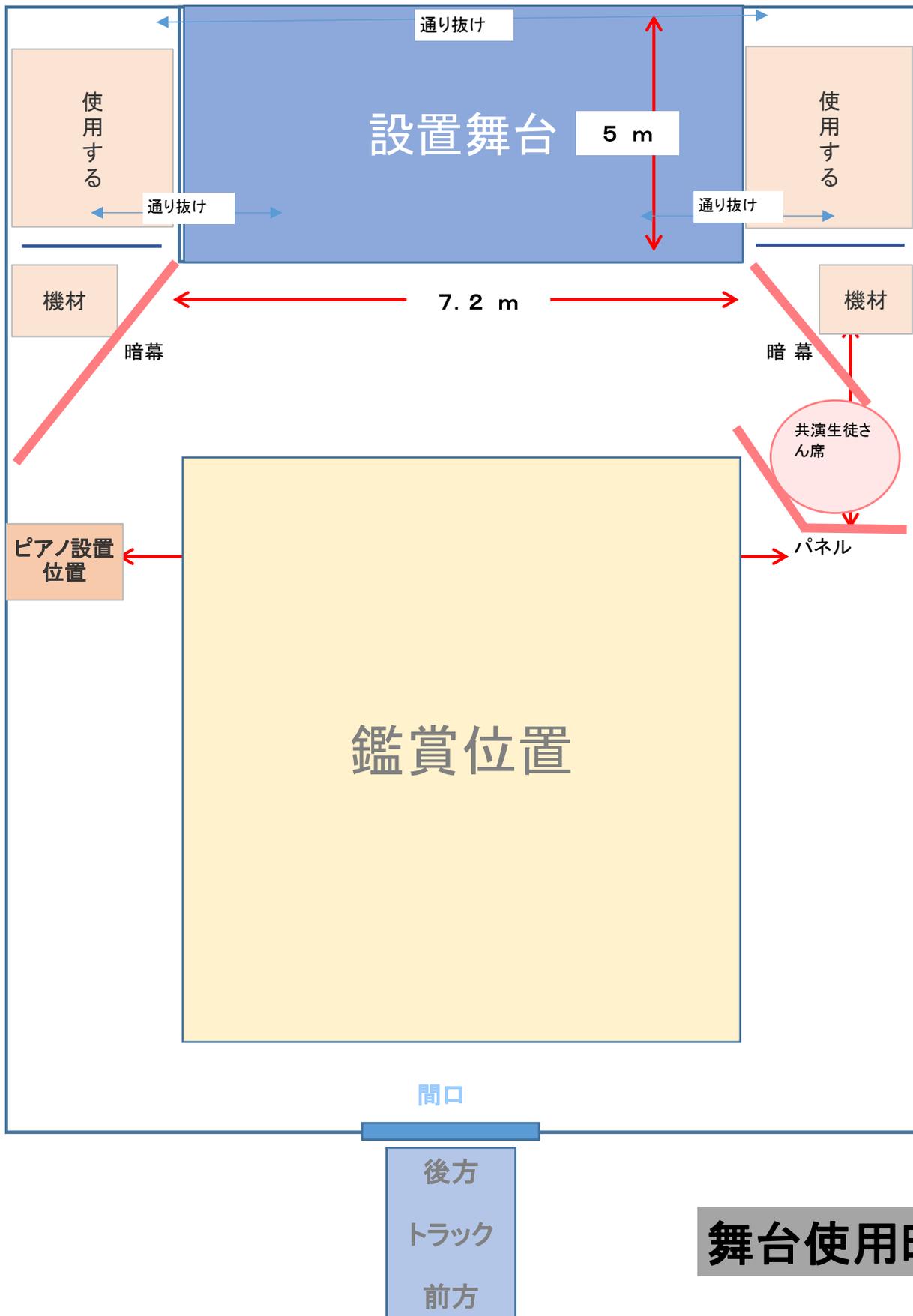
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D40	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	株式会社 劇団芸優座			制作団体名	株式会社 劇団芸優座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	可	必要数 *	1室	条件	水場が近く、普通教室以上の広さが望ましい。着替えの為、カーテンのある部屋を希望。					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			3トラック 1台	バン 2台				
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			3トラック1台(大道具)バン1台(照明・音響機器)					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り階段のない、屋根のある経路を希望。					
	/	理由			大道具や照明・音響機器の搬入の為。					
	—	設置階の制限 *			問わない					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m以上	高さ	2m以上			
WSIについて	可	参加可能人数			一部は全学年可能・二部は20名程度まで					
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分			一部は45分程度・二部は90～120分					
本公演について	/	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			フロアに座りきれば1000名も可					
	可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	7.2m	奥行	5m	高さ	4m	
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要		
	不可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態		
	可				緞帳 *	要		バトン *	要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	完全に遮光しなくても可			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				
	—			ピアノの事前調律 *		不要				
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	不可	公演に必要な電源容量			75A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
不可	電源はステージから20m以内にあること									

会場図面(表記単位:メートル)



舞台使用時

搬入間口について	幅	2m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

劇団 芸優座のご紹介

劇団芸優座は、「青少年にだからこそ最高の演劇を見せたい」という理念のもと、1972年に創立されて以来、全国のホール・会館をはじめ、文化庁の助成公演、公文協自主事業、教育委員会、小・中・高校の芸術鑑賞教室等での公演を、「演劇は、まず面白く、確かなテーマで観客と共に創造する」をモットーに、精力的に活動してきました。18歳から85歳まで各世代にわたる劇団員・研究生およそ60名が共に日夜研鑽に励み、今年は12作品のレパトリーを展開しています。

開催日程

開催日程	実施校名	地元主催者
6月24日(月)	長浜市立浅井小学校	滋賀県教育委員会/長浜市教育委員会
6月25日(火)	近江八幡市立安土中学校	滋賀県教育委員会/近江八幡市教育委員会
6月26日(水)	奈良県立青翔中学校	奈良県教育委員会
6月27日(木)	堺市立茶山台小学校	堺市教育委員会
11月 5日(火)	大阪市立新平野西小学校	大阪市教育委員会
11月 6日(水)	大和郡山市立片桐中学校	奈良県教育委員会/大和郡山市教育委員会
11月 7日(木)	橿原市立橿原中学校	奈良県教育委員会/橿原市教育委員会
11月 8日(金)	大阪市立関目東小学校	大阪市教育委員会
11月11日(月)	五條市立野原中学校	奈良県教育委員会/五條市教育委員会
11月12日(火)	紀の川市立上名手小学校	和歌山県教育委員会/紀の川市教育委員会
11月13日(水)	和歌山県立岡崎小学校	和歌山県教育委員会/和歌山市教育委員会
11月14日(木)	紀美野町立美里中学校	和歌山県教育委員会/紀美野町教育委員会
11月15日(金)	有田川町立金屋中学校	和歌山県教育委員会/有田川町教育委員会

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—

劇団 芸優座 公演

~O.ヘンリー物語~

最後の一片

脚本/平塚 仁郎 演出/村田 里絵



「文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導または鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



～ O. ヘンリー物語～

最後の葉

(2幕2場)

原作 O. ヘンリー
脚本 平塚 仁郎
演出 村田 里絵

第一場 公園にて (第一話「心と手」)

少年ボブは小遣い稼ぎに、暗い感じの青年アーノルドの大きな旅行カバンを持って駅まで案内していたが、もうヘトヘト。そこで公園のベンチで暫く休むことにした。そこへ粹な身なりの青年と風采の上がない中年の男がやってくる。なんと二人は手錠で繋がれていた。通りかかった都会的な女性が、突然青年を呼び止める。どうやら何か深い事情がありそうで、しかも中年の男までも割り込んできて……



(第二話「愛の使者」)

再び駅へ向かおうとすると、偶然アーノルドが三ヶ月前に捨てられたばかりの恋人が通りかかる。二人の間で右往左往する羽目に陥ったボブは……

登場人物

第一場 公園にて

第一話「心と手」 駅へ急ぐ兄弟たち/ボブ/アーノルド/イーストン/保安官
第二話「愛の使者」 フェアチャイルド/リタ/エルジィ/通りがかりの勤め人

第二場 ボブのアパート

第三話「賢者の贈り物」 ジム/デラ
第四話「最後の葉」 スウディ/ジョンジー/ベアマン/フリッツ/医者
看護婦/救護員/アパートの住人たち

第二場 ボブのアパート (第三話「賢者の贈り物」)

「芸術の村」と呼ばれるボブのアパートには、貧しいながらもユニークな住人が大勢住んでいた。評判の仲良し夫婦ジムとデラは、クリスマスが近いので、お互いにプレゼントをどうしようか悩んでいた。ジムは妻が美しい髪を自慢にしているのを知っており、デラは夫が父の形見の懐中時計を大切にしていることを知っており……

(第四話「最後の葉」)

ボブの姉のスウディは同じアパートの絵描き仲間ジョンジーを看病していたが、彼女は窓から見える蔦の葉が、全部落ちたら自分も死ぬのだと信じ込んでいる。医者も匙を投げるような有様だったが、クリスマスイヴの晩、三階に住んでいる画家ベアマンがそれを知って……



四作品をオムニバスでお届けする劇団芸優座の

「最後の葉 ～ O. ヘンリー物語～」

上演時間/100分 (休憩10分含む)

短編の名手といわれる O. ヘンリーの見事なまでの「どんでん返し」の数々をお楽しみ下さい。

〒182-0025 東京都調布市多摩川2-28-4

Tel.042-489-4555(代) geiyuza@mri.biglobe.ne.jp

劇団 芸優座

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, <input type="checkbox"/> ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

(1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能

(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能

(3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能

(4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	ゆうげんがいしゃ おペラシアターこんにやくざ		
制作団体名	有限会社オペラシアターこんにやく座		
代表者職・氏名	代表取締役 萩 京子		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1 (最寄り駅・JR南武線「宿河原」駅)		
電話番号	044-930-1720	F A X 番号	044-930-1721
ふりがな	おペラシアターこんにやくざ		
公演団体名	オペラシアターこんにやく座		
代表者職・氏名	代表 萩 京子		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1 (最寄り駅・JR南武線「宿河原」駅)		
制作団体 設立年月	1988年6月 法人設立 (1971年4月 劇団創立)		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 萩 京子 取締役 大石哲史	代表・音楽監督・座付作曲家/萩 京子、歌役者/3 9名、制作/7名、事務/2名、経理事務/1名 加入条件:団体の活動に全面的に参加できることが必要。歌役者はオーディションを、制作や事務は面接を行なう。	
事務体制の担当	専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	土居 表
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経理責任者名	土居 表

制作団体沿革	<p>1966年に東京芸術大学に発足した「こんにやく体操クラブ」を母体として、1971年、オペラ小劇場こんにやく座創立。日本においてオペラを普及させるために欠くことの出来ない条件として、日本語の明瞭な歌唱表現を追求しながら、小・中・高校生を主な対象とした全国巡回公演を開始。1985年4月にオペラシアターこんにやく座と改名。1988年6月、有限会社オペラシアターこんにやく座設立。創立以来、林光(故人)、萩京子作曲のオリジナルオペラを数多く創作、上演している。活動は国内に留まらず、過去7ツアー延べ19カ国の海外公演も行なっている。</p> <p>1989年、ジローオペラ賞特別賞、文化庁芸術祭賞、音楽之友社賞受賞。1997年、山本安英の会記念基金賞、三菱信託音楽賞受賞。2000年、『ロはロボットの口』の成果により、東京都教育委員会優秀賞、(社)日本演劇協会賞、(財)都民演劇賞の3賞受賞。2014年、小泉文夫音楽賞受賞。</p> <p>1998年より継続して文化庁の現・文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)に採択される。また本巡回公演事業に2003年より継続し採択されている。</p>		
学校等における公演実績	<p>2016～2018年度の3年間において、学校公演は、『銀のロバ』82公演、『ネズミの涙』43公演、『ピノッキオ』31公演、『森は生きている』29公演(本巡回公演事業以外)、『ロはロボットの口』25公演(本巡回公演事業以外)、『おぐりとてると』22公演、『タンゲーまほうをかけた舌』13公演、「コンサート」6公演、『想稿・銀河鉄道の夜』1公演の計252公演を実施。このほか公文協一般公演や、子ども・おやこ劇場、演劇鑑賞会など272公演を実施。</p> <p>『森は生きている』は、1992年初演以来、小、中、高校、保育園幼稚園など、あわせて811公演を実施。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>1984年～2018年までに計30ステージ、約4200名の児童生徒が鑑賞している。</p> <p>作品は『森は生きている』、『ロはロボットの口』、『ピノッキオ』など。</p> <p>その他コンサート企画などの依頼を受け、実施している。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 DVDを提出します ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料 ※公開資料有の場合 URL ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ID: PW:

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 オペラシアターこんにゃく座】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生				
企画名	オペラ『森は生きている』				
本公演演目	オペラ『森は生きている』				
原作／作曲 脚本 演出／振付	原作:サムイル・マルシャーク(訳:湯浅芳子)／作曲:林光 台本:林光 演出:大石哲史／振付:楠原竜也 【注記】2021年度より新演出版(演出:眞鍋卓嗣[劇団俳優座所属])となります。 台本や音楽、構成に大きな変更はございません。 公演時間(105分)				
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	有	許諾の有無
演目概要	<p>オペラ『森は生きている』は1992年の初演以来、こんにゃく座の代表レパートリーとして、全国の小・中・高校の芸術鑑賞行事ほか、公文協や各地実行委員会、鑑賞団体などでの公演を重ね、子どもから大人まで幅広い年齢層の観客に愛されてきました。【厚生省中央児童福祉審議会推薦 平成10年度推薦文化財】</p> <p>歌い手12人が一月から十二月まで‘月の精’を演じながら、娘、女王、兵士、博士など他の役も担い、一人二役以上を歌い演じます。オーケストラのように重層的で豊かな音楽をピアノの演奏が支え、歌役者のアンサンブルが細やかに、また迫力ある場面の展開を演出しています。‘十二月の精’と人間たちが織りなすドラマは、ファンタジーでありながら、自然の雄大さと人間の学びを描いた、示唆に富んだ楽しいオペラとなっています。</p> <p>～ものがたり～</p> <p>新しい年を迎える大晦日、わがままな女王が四月に咲くマツユキ草がほしいと言い出したために、国中は大騒ぎ。ほうびの金貨に目がくらむ継母のいいつけで、マツユキ草を採ってくるようにと一人の娘が真っ暗な森に追いやられてしまいます。そこでは十二月(じゅうにつき)の精たちがたき火を囲んで新年を迎える儀式の最中でした。娘の話聞いた四月の精は、他の月たちに頼んで一時間だけ「時」をゆずってもらいます。娘はマツユキ草を手に入れますが、それを渡された女王は、自らマツユキ草を摘むために吹雪の森へと出かけていきます。しかし、そこで待ち受けていたものは・・・。</p>				
演目選択理由	<p>1954年、俳優座・こどもの劇場で「森は生きている」は日本初演されました。その劇中歌を手がけた若き林光は、子どもたちが「十二月(じゅうにつき)の歌」を口ずさみながら帰る姿を見て、作曲という仕事を一生続ける決意をかためたと言います。オペラ『森は生きている』は、戦後の鑑賞文化、特に子どもの鑑賞機会を大切に、豊かにしてきた本流を継ぐ演目です。</p> <p>ロシア民話を基にした本作は、自然の壮大な美しさ、その自然とともに生きる人間の智慧が、彩り豊かな音楽とともに描かれています。自然の理と対峙する登場人物の姿を通して、子どもたちが自身ならどうするかと思いを重ねる力を、ワークショップや本公演を通じて育み、鑑賞後の学校生活においても本事業の体験が一つの指標となることを願っています。</p>				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>本公演において全校児童生徒に劇に参加してもらいます。</p> <p>1/「森へ向かうソリの歌」を歌う場面で、出演者と一緒に演じながら歌います。</p> <p>2/事前にマツユキ草を児童生徒1本ずつ工作で作ってもらい、マツユキ草が咲く場面で一斉に掲げ、体育館いっぱいの花の野原を演出します。娘役がその野原を歩きながら、子どもたちからマツユキ草を摘んでいきます。</p> <p>3/アンコール曲として、劇中で歌われる「十二月の歌」を一緒に歌います。</p> <p>学校の希望により、仕込みバラシの見学や、給食時間を一緒に過ごす工夫をします。</p>				

出 演 者	相原友代、山本美佐子、沢井栄次、泉まどか、齊藤路都、武田茂、小川ゆず子、鈴木あかね、冬木理紗、泉篤史、大久保哲(以上オペラシアターこんにゃく座歌役者)、佐山陽規(フリー)、大坪夕美(ピアノ・フリー) ※経歴別紙(No.2 メンバー表)		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出 演 者: 13名 <u>ス タ ッ プ: 6名</u> 合 計: 19名	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 4 t / 2 t 車 長 8.4 m / 6.5 m 台 数 1 台 / 1 台(計 2 台)

<p>ワークショップ 実施形態の意図</p>	<p>1／動きが独特で、すぐに真似をしてみたいくなる「こんにやく体操」を導入に行なうことで、初対面の講師と子どもたちとの距離を一気に縮めるねらいを持ちます。かつ、無駄な力を抜きながらまっすぐ立つことを意識した体操から、こんにやく座が培ってきた日本語を歌う方法を子どもたちに分かりやすく伝え、各自が本来持っている声を引き出す準備運動を行ないます。</p> <p>2／短いひとつのシーンを、演劇で台詞だけで演じる場合と、オペラやミュージカルで台詞に歌がある場合の両パターン実演し、その違いを解説します。初めて目の当たりにする子どもも多いであろう“オペラ”への理解を促し、またこの後の時間で実践する、「歌いながら演じる」ことのイメージを膨らませてもらいます。</p> <p>3／本公演で共演してもらおう場면을創作し練習していきます。児童生徒が本公演に参加する意識をしっかりと持ち期待を高めてもらえるように、言葉を添えながら実践していきます。</p> <p>①「森へ向かうソリの歌」は、銀色に輝く美しい景色をつぎつぎと後にしながら、ソリが宮殿から森へと向かう様子を歌った楽しい曲(場面)です。子どもたちは歌詞の内容を想像しながら体を弾ませて、出演者と一緒にソリに乗る姿を表現していきます。</p> <p>②マツユキ草を咲かせるシーンは、児童生徒ひとりひとりが事前に工作をして作ったマツユキ草を掲げることで会場全体が白い花の野原となる、とても美しい感動的な光景です。本公演では、子どもたちによる白い野原の間を、娘役の出演者がマツユキ草を摘みながら進み、感動を歌います。</p> <p>③「十二月の歌」はオペラ『森は生きている』を代表する劇中歌です。大人になっても忘れがたい曲を子どもたちに覚えてもらうことで、本事業での体験を一生の思い出にしてもらいたいねらいがあります。劇中の音程は歌唱技術の未熟な子どもたちには少し高いので、音階を下げ、声を出す楽しさを優先しながらアンコールと一緒に歌えるように練習します。</p> <p>4／最後に児童生徒(また教師)から、この時間で体験したことに対する質問や意見を受ける時間を設けます。疑問を抱いたことをそのままにせず、また繰り返しの確認を言葉で行なうことで、理解の定着を計ります。</p>
<p>特別支援学校での 実施における工夫 点</p>	<p>上記と変更なく実施することが可能ですが、事前打ち合わせで学校との相談の上、子どもたちの習熟レベルに合わせて対処し、やりかたを決めていきたいと思います。基本的な考え方として、特別支援学校(学級)に在籍する子どもたちにも普通学級の子どもたちと同様に舞台芸術に触れる機会を提供できるように工夫していきます。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演— No.2 別紙メンバー表
オペラシアターこんにゃく座
オペラ『森は生きている』

オペラシアターこんにゃく座

オペラ『森は生きている』 出演予定メンバー表

- ①相原友代・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学別科声楽専攻中退後、1988年入座。『森は生きている』八月・女官長役ほか多数のオペラに出演。
- ②山本美佐子・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京純心女子短大専攻科卒業後、1990年入座。『森は生きている』十月・女王役ほか多数のオペラに出演。
- ③沢井栄次・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。洗足学園音楽大学卒業、二期会オペラ研修所マスターコース修了後、2008年入座。『森は生きている』十一月・兵士役ほか多数のオペラに出演。
- ④泉まどか・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。武庫川女子大学声楽学科卒業後、2009年入座。『森は生きている』六月・もうひとりのむすめ役ほか多数のオペラに出演。
- ⑤齊藤路都・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。武蔵野音楽大学卒業後、2009年入座。『森は生きている』三月・リス役ほか多数のオペラに出演。
- ⑥武田 茂・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。明治大学中退後、1980年～1985年こんにゃく座に在籍、2010年に再入座。『森は生きている』一月・総理大臣役ほか多数のオペラに出演。
- ⑦小川ゆず子・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京音楽大学ピアノ科卒業後、2013年入座。『森は生きている』七月・むすめ役ほか多数のオペラに出演。
- ⑧鈴木あかね・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京芸術大学卒業後、1994年～2004年こんにゃく座に在籍、2013年再入座。『森は生きている』九月・おっかさん役ほか多数のオペラに出演。
- ⑨冬木理紗・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。東京学芸大学卒業後、2014年入座。『森は生きている』五月・うさぎ役ほか多数のオペラに出演。
- ⑩泉 篤史・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。新潟大学卒業後、2015年入座。『森は生きている』四月・警護隊長役ほか多数のオペラに出演。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演— No.2 別紙メンバー表
オペラシアターこんにゃく座
オペラ『森は生きている』

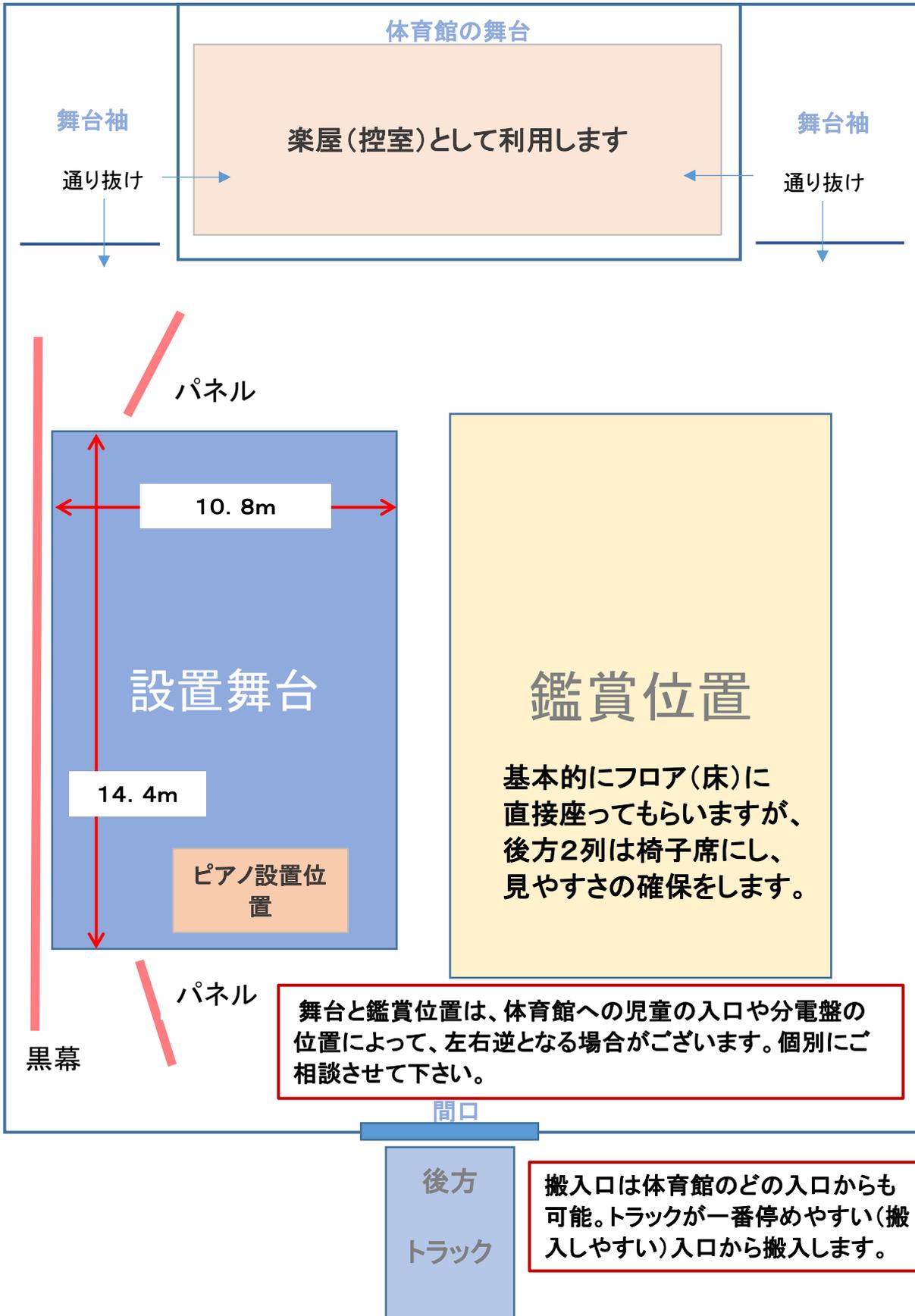
- ⑪大久保哲・・・オペラシアターこんにゃく座歌役者。桐朋学園芸術短期大学芸術科卒業後、2016年入座。『森は生きている』二月・カラス役。
- ⑫佐山陽規・・・フリーの俳優。1972年よりオペラ小劇場こんにゃく座において13年間活動。こんにゃく座在籍中のステージ数は2000回以上に及び、また退座後も多くの作品に客演している。こんにゃく座以外の舞台では、東宝ミュージカル『レ・ミゼラブル』ジャヴェール役、ミュージカル『ピーター・パン』フック船長役など。2002年、ニューヨークとワシントンで上演された宮本亜門演出、S・ソンドハイム作曲『太平洋序曲』では米マスコミからも賛辞を得る。現在、桐朋学園芸術短期大学演劇科非常勤講師。
- ⑬大坪夕美・・・フリーのピアニスト。都立芸術高校を経て桐朋学園大学音楽学部ピアノ科専攻卒業。スペイン・マラガ・コンセルバトリオに入学。その他、ザルツブルグのモーツァルテウム音楽院、ウィーン国立音楽大学での講習会に参加し研鑽を積む。高校2年生の時、ピティナ・コンペティションF級銅賞受賞。スペインで、室内楽コンクール2位、奨学金を得て、サンティアゴ・コンポステーラでの国際スペイン音楽セミナーに参加。「アンドレス・セゴビア賞」受賞。帰国後は主にオペラシアターこんにゃく座のピアニストとして全国各地で演奏活動をする。また多くの合唱団のピアニストも務めている。

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D41	分野	演劇	種目	ミュージカル	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	オペラシアターこんにやく座			制作団体名	有限会社 オペラシアターこんにやく座				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	体育館緞帳を閉めステージ上を控室(楽屋)とします。他に昼食時の控室をご用意下さい。				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック 1台	2tトラック 1台			
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(車幅2.3m×車長8.4m×車高3.3m)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			20m以内				
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・できる限り屋根のある経路が望ましい。 				
		理由			舞台大道具の搬入をするため				
	—	設置階の制限 *			問わない				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	2.0m		
WSについて	可	参加可能人数			450名程度まで				
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし			
	可	所要時間の目安 単位:分		90分程度					
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			450名程度まで				
	不可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	14.4m	奥行	10.8m	高さ	5.4m
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		不要		
	—				舞台袖スペースの条件 *				
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果を出すため		
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場図参照。上げ下ろしが必要な場合、当日一緒にいきます。			
	可			ピアノの事前調律 *		要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			100A (最低65A)	※主幹電源の必要容量			
	その他特記事項								
不可	ピアノの状態(調律)が悪い場合は、必ず本公演までに調律をお願いします。								



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2.0m
搬入車両の横づけの要否			要	
横づけができない場合の搬入可能距離			20m	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

わがままな女王の気まぐれからはじまったかごいっぱいのお金貨につられたマツユキ草探し
むりやり冬の森へ行かされた〈むすめ〉が出会ったのは〈時間〉をつかさどる自然のまもり手
一月から十二月まで 十二人の〈月の精〉たちだった
“もえる もえる あざやかに”
月たちが歌う焚き火のぬくもりのなかで〈むすめ〉はなにをもらったか？
女王はなにを学んだか？

オペラシアターこんにやく座

オペラ 森は生きている

原作
サムイル・マルシャーク (湯浅芳子訳による)

台本・作曲
林 光

演出
大石 哲史



オペラシアター こんにやく座

森は生きている

原作…サムイル・マルシャーク(湯浅芳子訳による)

台本・作曲…林光

演出…大石哲史

美術…池田ともゆき 衣裳…半田悦子 照明…成瀬一裕 振付…楠原竜也 舞台監督…久寿田義晴 音楽監督…萩京子



今から約60年前に日本で初めて上演された「森は生きている」の劇中歌を作曲したのは、当時23歳の作曲家・林光でした。観終わった子どもたちが「もえる もえる あざやかに」と歌いながら会場を後にする姿を目にし、作曲家という仕事を一生の仕事としよう心に決めたといいます。その後「森は生きている」の歌は全国に広まり、1992年こんにやく座によりオペラ『森は生きている』が初演されました。人と人のつながり、人と自然とのつながりを描き、楽しみ、かつ考えさせられるこのオペラは、たくさんの子どもたちを含む観客の目によって磨かれ、多くの人びとに親しまれ、初演以来毎年公演を重ねています。音楽の親しみやすさとスケールの大きさをあわせ持つ、12人の歌手とピアニストが贈る、ロシアの森を舞台に繰り広げられる、心暖まる物語です。

ものがたり

新しい年を迎える大晦日、わがままな女王が、四月に咲くマツユキ草がほしいと言いだしたため、国じゅうは大騒ぎ。ほうびの金貨に目がくらんだ継母と姉娘のいいつけで、マツユキ草を採ってくるようにと一人のむすめが真っ暗な森に追いやられる。

森に分け入ったむすめは、そこで一月から十二月までの月の精たちと出会う。むすめの話

聞いた四月の精は、他の月たちに頼んで一時間だけ「時」をゆずってもらう。冬の森はたちまち春へと季節をかえ、むすめの目の前で一面にマツユキ草が顔を出す。

むすめの帰りを待ちかまえていた継母と姉娘はマツユキ草を取り上げ、宮殿の女王の元へ。女王は、自らマツユキ草を摘むために家来たちを引き連れて森へと出かけていく。しかし、そこで待ちうけていたものは…。



十二月の歌(歌詞)

もえる もえる あざやかに
夏はカッカと照るだろう
冬はなるたけあたたかく
春はやさしく照るがよい
もえる もえる あかるくもえる
消えないように どんどんもえる

もえる もえる パチパチと
つもった雪の山がある
若木林のあちこちに
木の実がたくさんなるだろう
もえる もえる あかるくもえる
消えないように どんどんもえる

巢箱にはこぶミツバチの
みつがたくさんあるように
畑じゃ小麦がびっしりと
穂を出せ 穂を出せ いちめんに
もえる もえる あかるくもえる
消えないように どんどんもえる

公演アンケートより

- ◆すごいなって思ったところは、後の木がおしろになったことです。(小2)
- ◆女王さまが(強情なところが)自分にてて、おもしろかったです。(小4)
- ◆話の内容が良くわかって、自分も物語の中に入りこんでいるような感じになりました。(小5)
- ◆20年ぶりにやって来ました。その当時小さかった娘といっしょに見ました。ずーっと続けて上演してくださいね。(58歳)
- ◆しっかりした歌唱に加え、きびきびした動きに加え、アイデア一杯の場面、何もかも心ときめく「森は生きている」でした。(72歳)



林光(はやしひかる) / 作曲

1931~2012。長年オペラシアターこんにやく座の芸術監督・舞台作曲家をつとめる。代表作にオペラ『ゼロ弾きのゴージュ』、オペラ『変身』など。映画「裸の島」(監督・新藤兼人)の音楽に対し(第2回モスクワ映画祭作曲賞)(1961年)を、オペラの作曲活動全般に対し(第30回サントリー音楽賞)(1998年)を受賞した。室内楽曲、オーケストラ曲、劇音楽、映画音楽等に優れた作品を多数残し、子どもからおとなまで、ともに歌えるたくさんのうたを作曲した。

大石哲史(おおいしさとし) / 演出

1955年京都市生まれ。京都市立芸術大学音楽学部声楽科卒業。関西二期会などを経て、1981年こんにやく座に歌役者として入座。入座後、こんにやく座のほとんどの作品に出演し、『森は生きている』の初演(1992年)では十二月、博士などを演じた。演出家としても『想稿・銀河鉄道の夜』(2010年)などを手がける。こんにやく座外の活動も精力的におこなっており、各地で定期的な「うたのワークショップ」を展開している。

オペラシアターこんにやく座とは…

こんにやく体操による身体訓練を続け、言葉(日本語)がはっきりわかるオペラを創作上演するオペラ劇団として1971年に創立。マイクを使用しない生の歌声、ピアノを主とした様々な楽器の生演奏による作品を多数上演している。歌役者の歌い語り演じる力によって、子どもからおとなまで楽しめる多彩な作品をレパートリーとし、年間約250公演を上演する。

オペラシアター
こんにやく座

〒214-0021 神奈川県川崎市多摩区宿河原 7-14-1
TEL.044-930-1720 FAX.044-930-1721
http://www.konnyakuza.com

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃびー・しゃんぶるうえすと 株式会社B・シャンブルウエスト		
代表者職・氏名	代表取締役 今村博明		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒192-0902 東京都八王子上野町104-16 JR八王子駅		
電話番号	042-624-4037	FAX番号	042-624-4027
ふりがな 公演団体名	ばれえしゃんぶるうえすと バレエシャンブルウエスト		
代表者職・氏名	総監督 今村博明		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒192-0902 東京都八王子上野町104-16 JR八王子駅		
制作団体 設立年月	2011年 6月		
制作団体 組織	役職員 総監督 今村博明 芸術監督 川口ゆり子 事務局 井出淳子 製作 上島桃子 山田つゆ路 外部監査 加瀬明彦 金田一順子 バレエミストレス 東松由香里	団体構成員及び加入条件等 団体構成員70名 オーディションにより団員が決定される。団員は川口ゆり子バレエスクール修了生ならびにプロフェッショナル精神と技術を有するもの。 主な舞踊手 吉本真由美 松村里沙 橋本尚美 山田美友 斉藤菜々美 石川怜奈 吉本泰久 染谷野委 土方一生 藤島光太	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	今村博明 野口桃子
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	金田一順子

制作団体沿革	<p>1989年 八王子ユースバレエを設立 旗揚げ公演「くるみ割り人形」を上演。 1995年 文化庁芸術祭大賞受賞を機にバレエシャンブルウエストと改名。 2011年 株式会社B.シャンブルウエストを設立し公演活動の充実を計る。</p>		
学校等における公演実績	<p>地元の八王子第3小学校や、出演者の出身校である津久井第1小学校、福岡県立三池高校等にて実演披露。講演も行う。</p> <p>2011年の東日本大震災後は東北3県27都市の避難所を23日間にわたり慰問公演する。これより3年間の連続慰問を計画し翌12年,13年は被災地の小中学校で慰問公演を開催した。</p> <p>平成25年度より文化庁の巡回公演を担当。これまで多くの学校で公演し、「自身の教師生活でこれまでのイベントはなかった」という老教師の声や「次は劇場へ行きます。劇場はどこにありますか」など素朴な質問をする生徒との出会い、交流を続け情操教育の場を提供し、子供の人間形成に寄与するなど多くの効果をあげている。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>平成25年「次代を担う子供の文化芸術体験事業」を愛知県豊橋養護学校にて担当。初めての特別支援学校での開催であったが、学校との連携を取り、各生徒の状況を把握する体制を取った。バレエ上演後は交流を図り感動的な時間を過ごしました。</p> <p>平成30年「文化芸術による子供の育成事業」では三重県立豊学校で公演予定。事前にワークショップや公演の進行状況を文書で提出し、学校独自の方法で事前学習など準備を進めていただく計画で、開催に向け準備を進めているところである。</p> <p>また当団が主催する清里フィールドバレエの野外劇場にはスペシャルオリンピックの知的障害者を招待している実績を持つ。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 バレエシャンブルウエスト】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	くるみ割り人形 (巡回公演スペシャルバージョン)		
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	「くるみ割り人形」 原作 E.T ホフマン 作曲 P.I チャイコフスキー 演出振付 今村博明 川口ゆり子 公演時間(100分)		
著作権	○	制作団体が 所有	制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	「くるみ割り人形」は「白鳥の湖」「眠れる森の美女」と共にチャイコフスキー作曲の3大バレエとして今日に継承される名作です。1892年にサンクトペテルブルグのマリンスキー劇場で初演され、その後世界中のバレエ団で上演する大変人気のある演目です。今回上演するバレエシャンブルウエスト版は1989年に制作され30年間連続上演され好評を博す作品ですが、さらに今回は学校公演用スペシャルバージョンとして解説を加えた新演出で上演致します。全ての世代にそれぞれの感性に届くクラシックバレエの傑作です。		
演目選択理由	名作バレエ「くるみ割り人形」の鑑賞は舞台芸術に触れる第1歩として小中学生に最適です。本作品の第1幕の行進曲や第2幕の花のワルツ、中国の踊り、あしぶえの踊りなどは小中学生にもなじみあるもので、音楽と踊りが一体化するバレエを目と耳で素直に楽しむ事ができます。この生の舞台芸術に触れる体験は子供時代の情操教育として大変有意義なものです。主人公の少女クララは小中学生の子どもたちへの親近間に繋がると考えます。クララの優しい心を伝え、子供たちの心に響くバレエとして「くるみ割り人形」を上演し、クララと同じように幸せなひとときを感じていただきたいと思います。		
児童・生徒の共演, 参加又は体験の形態	クリスマスパーティに招かれた子供役(男子2名、女子2名) 子ねずみ役(男女6名) クララをお菓子の国へ案内する執事役(男子4名)、お菓子の国のロシアの踊りの役(女子6名)に出演していただき、衣装を着用しバレエ団との共演して頂きます。本番直前の指導で問題なく出演して頂けます。		
出 演 者	吉本真由美 松村里沙 橋本尚美 山田美友 深沢祥子 斉藤菜々美 吉本泰久 染谷野委 土方一生 藤島光太 ほか		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 35名 スタッフ: 26名 合計: 61名	機材等 運搬方法	積載量 4t 車長 8m 台数 2台

【公演団体名 バレエシャンブルウエスト】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間(時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	7時45分	8時～ 10時	13時30分～15時	10分	15時～16時30分	17時
	<p>※本公演時間の目安は、午後1時半～、2時限分程度です。</p> <p>公演日に大道具、衣裳などの搬入と仕込み 仮設舞台設営 照明・音響の仕込みを行います。公演終演後は、撤去に1時間半ほど時間を要します。</p>					
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	100～500人				
	本公演	100～500人				
ワークショップ実施形態及び内容	バレエの特徴を生徒自身で感じることを体験、その後バレエの基礎訓練の様子を解説付きでご覧いただきます。バレエダンサーの日常、バレエの歴史を伝え、本公演で上演する「くるみ割り人形」の物語を解説します。その後、実技としてバレエのレッスンを体験していただきます。					
ワークショップ実施形態の意図	<ul style="list-style-type: none"> ●バレエダンサーの実演によるバレエのレッスンの鑑賞 ●その後にバレエレッスンを体験。実際に体を動かしバレエの基本とバレエに欠く事の出来ない音楽性やリズム感も学んでいただきます。(体操着での参加が望ましいです) ●ワークショップに参加された方の中から本公演に数名出演していただきます。 					
特別支援学校での実施における工夫点	<p>障害の段階により、完全なる暗転が難しい場合は薄明かりでの上演や、音量の調整等も可能です。聾学校での公演の際は事前に聾学校の先生へプログラムの詳細を送り、手話での同時説明を行いました。</p> <p>学校の先生と細かな打ち合わせをして学校に合った対応工夫をいたします。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

出演者名簿

1	吉本真由美	23	井野美理
2	松村里沙	24	荒川沙玖良
3	橋本尚美	25	廣江珠理
4	山田美友	26	阿部美雪
5	深沢祥子	27	寺内愛穂
6	米村ひかる	28	吉本泰久
7	府金知佳	29	藤島光太
8	斉藤菜々美	30	染谷野委
9	鈴木静香	31	土方一生
10	遠野 萌	32	正木亮
11	野口陽香	33	石原稔己
12	鈴木愛澄	34	江本拓
13	川口りさ	35	奥田慎也
14	土田明日香		
15	田野倉理沙		
16	石川怜奈		
17	亀田麻梨奈		
18	加藤聖来		
19	伊藤可南		
20	村井鼓古露		
21	川口まり		
22	柴田実樹		

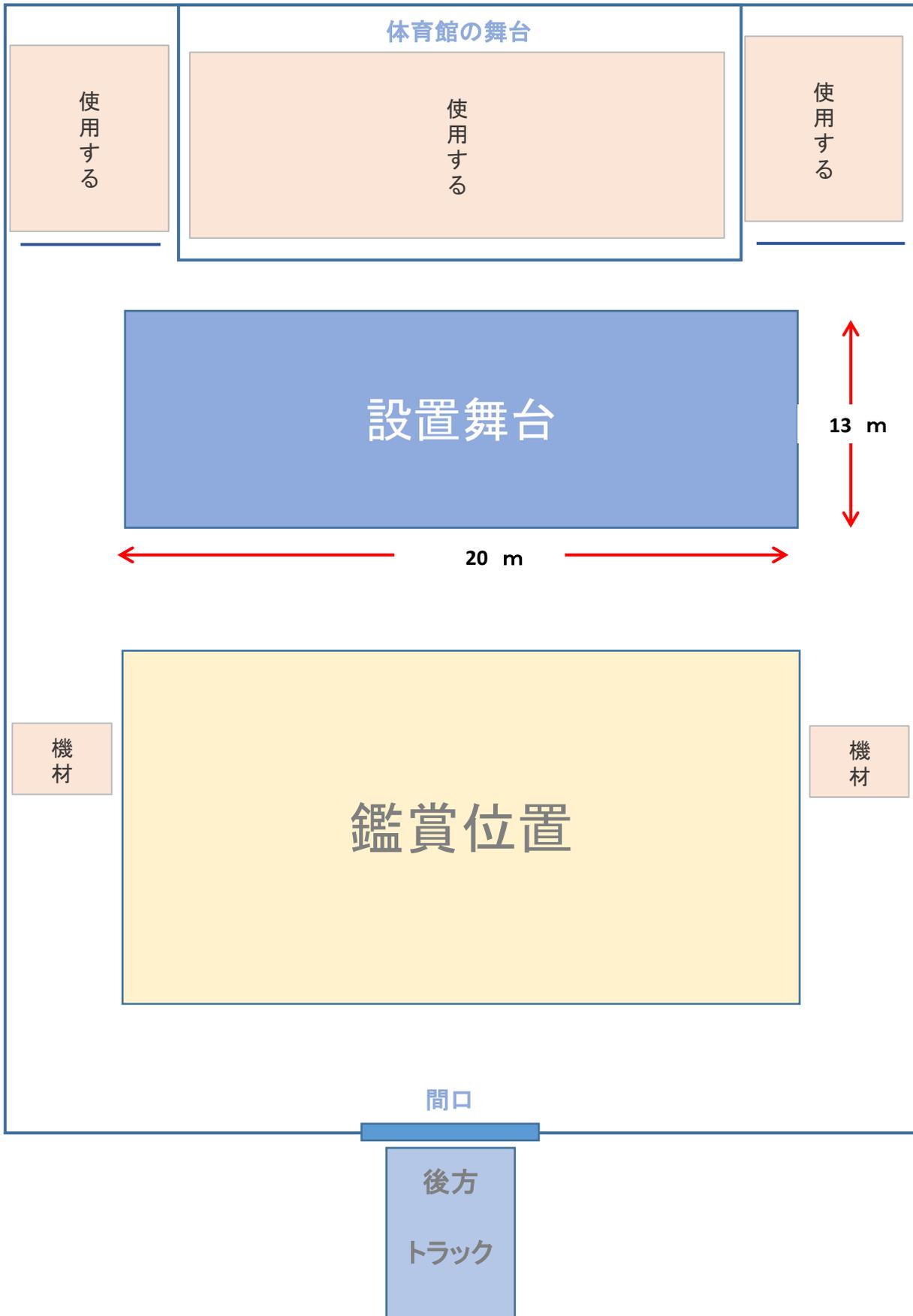
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D42	分野	舞踊	種目	バレエ	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	バレエシャンブルウエスト			制作団体名	株式会社 B・シャンブルウエスト				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	不要	条件	※出演者の控室は体育館内で補えます。							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック2台 電源車1台 大型バス2台							
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック2台 電源車1台							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内							
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。							
		理由			重量物やキャスター付き機材があるため。							
	不可	設置階の制限 *			2階以上不可							
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	対角線で2m45cm	高さ	対角線で2m45cm						
WSIについて	可	参加可能人数			制限なし							
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			45～60							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			体育館の広さにもよるが、通常仮設客席を組むので500名程度							
	不可	舞台設置場所 *			フロア							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	20m	奥行	13m	高さ	指定なし			
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態				
	可				緞帳 *	要		バトン *	不要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果を高めるため					
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。					
	—			ピアノの事前調律 *		不要						
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量					
	その他特記事項											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	対角線で2m45cm	高さ	対角線で2m45cm
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



くるみ割り人形

The Nut Cracker



Ballet Chambre Ovest
バレエシャンブルウエスト

クララと一緒に夢の世界を旅してみませんか…



令和2年 文化芸術による子供育成総合事業 —巡回募集—

The Nutcracker くるみ割り人形

『くるみ割り人形』は、クリスマスになると世界中の劇場で上演され、冬の風物詩ともなっているバレエです。チャイコフスキーの美しい音楽に乗せて繰り広げられるファンタジックな物語は、子供から大人まで魅了し続けてきました。バレエシャンブルウエストでも毎年好評をいただいておりますが、今回は学校公演向けのスペシャルバージョンでお届けします。夢を持ち続けるすべての人に、ぜひクララと一緒に夢の世界をお楽しみください。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・ <u>能楽</u> 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	こうえきざいだんほうじん うめわかかい		
制作団体名	公益財団法人 梅若会		
代表者職・氏名	代表理事 梅若 善政(芸名:梅若 実)		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14(JR 東中野駅・地下鉄 東中野駅 中野坂上駅)		
電話番号	03-3363-7748	FAX番号	03-3363-7749
ふりがな	こうえきざいだんほうじん うめわかかい		
公演団体名	公益財団法人 梅若会		
代表者職・氏名	代表理事 梅若 善政(芸名:梅若 実)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒164-0003 東京都中野区東中野 2-6-14(JR 東中野駅・地下鉄 東中野駅 中野坂上駅)		
制作団体 設立年月	昭和 36 年 10 月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 梅若善政(芸名 実) 常務理事 梅若靖記(芸名 長左衛門) 監事 宮内威 理事 10 名、評議員 10 名	団体構成員: 個人(能楽師): 正会員 27 名 準会員 22 名 主な構成員: 梅若善政(芸名 実・重要無形文化財各個認定保持) 加入条件: 能楽の所定の免状取得および代表理事の承認	
事務体制の担当	専任 ・ <u>他の業務と兼任</u>	本事業担当者名	理事 山崎 正道 事務局長 山本 祥一
経理処理等の 監査担当の有無	<u>有</u> ・ 無	経理責任者名	事務局長 山本 祥一

<p>制作団体沿革</p>	<p>1. 歴史 猿楽の発祥の地とも言われている丹波地方において、平安時代の末期より鎌倉時代の初期に職業的猿楽師の団体があり、その中で丹波猿楽梅若の名が文献に出てきたのは、応永 23 年(1416 年)3 月 9 日の条に【仙洞に猿楽あり梅若仕る】と看聞御記に始めて出てきます。梅若家の系譜は奈良朝の橘諸兄に始まり、現梅若家当主四世梅若実(本名:善政)は橘諸兄から計算すると五十六代となります。 四世梅若実の曾祖父である初代梅若実(1828～1909)は、明治維新で幕府や大名家の保護を失った能の再興に尽力し、現在の能楽界の礎を築きました。初代梅若実は明治 4 年に青山下野守の舞台を譲り受け、厩橋(現台東区蔵前)に舞台を建てますが、その後戦火により焼失し、昭和 36 年、五十五世梅若六郎が現在の中野区東中野に我が国唯一の能楽教習の場として梅若能楽学院を開校、同時に財団法人の設立をしました。設立当初より自主公演の定期開催と国内外の能楽公演等を中心に能楽普及振興のため精力的に活動しています。</p> <p>2. 設立目的 当法人は、我が国固有の伝統芸能である能楽の普及振興及び人材育成を図るため、能楽の公演及び伎芸の伝承・継承と法人が所有する能舞台(梅若能楽学院会館)の貸与を広く一般へ行い、もって我が国芸術文化の向上発展に寄与することを目的としています。</p> <p>3. 略歴 昭和 36 年(1961 年)8 月 5 日梅若能楽学院会館竣工披露能開催 同年 8 月 6 日梅若能楽学院開校式、初代校長岩倉具栄 同年 10 月 25 日財団法人認可 平成 24 年(2012 年)3 月 22 日梅若能楽学院創立 50 周年記念発表会開催 平成 26 年(2014 年)4 月公益財団法人移行認定</p>
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成 31 年度 文化芸術による子供の育成事業において狂言「柿山伏」、能「殺生石」上演 ・三重県名張市立美旗小学校(1 回) ・三重県松阪市立大河内小学校(1 回) ・滋賀県湖南市立菩提寺小学校(1 回) ・滋賀県甲賀市立伴谷小学校(1 回) ・和歌山県橋本市立境原小学校(1 回) ・和歌山県紀の川市立調月小学校(1 回) ・和歌山県海南市立黒江小学校(1 回) ・和歌山県有田市立保田小学校(1 回) ・和歌山県上富田町立上富田中学校(1 回) ・奈良県香芝市立鎌田小学校(1 回) ・奈良県大淀町立大淀中学校(1 回) ・奈良県葛城市立新庄中学校(1 回) ・学生能楽鑑賞会:福岡県下の 5 校に実施。(昭和 58 年より毎年継続して行われている高校生対象のレクチャー、鑑賞会)①生徒参加による能楽体験教室 ②狂言「柿山伏」、半能「土蜘蛛」実演</p> <p>平成 30 年度 ・牛込仲之幼稚園:能楽ワークショップ①能のおはなし②能「老松」謡体験③能の構え、すり足等体験④仕舞「老松」発表会</p>

	<p>・中野第三中学校:「梅若実先生から学ぶ～日本人が大切にしたいこと～」①梅若実による講演(主旨:その道の先人の話を聞いてもらい、自分の夢や進路に役立てる)②生徒参加による能の歩き方等の体験</p> <p>・学生能楽鑑賞会:福岡県下の8校に実施。(昭和58年より毎年継続して行われている高校生対象のレクチャー、鑑賞会)①生徒参加による能楽体験教室 ②狂言「柿山伏」、半能「土蜘蛛」実演</p> <p>・香川県立高松高等学校:ワークショップ(お話、謡、動きの体験、仕舞実演等)</p>		
特別支援学校における公演実績	特にありませんが、特別養護老人ホームの訪問はございます。		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	①有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	①有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益財団法人 梅若会】

対象	小学生(<u>低学年</u> ・ <u>中学年</u> ・ <u>高学年</u>) ・ <u>中学生</u>				
企画名	(公財)梅若会 能狂言鑑賞教室				
本公演演目 原作/作曲 脚 本 演出/振付	1. ごあいさつとお話「狂言について」 2. 狂言「柿山伏」 3. お話「能について」 4. 能「殺生石」 公演時間(100分)				
著作権	無	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	無 (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演 目 概 要	<p>1. ごあいさつとお話「狂言について」 冒頭に能楽師がごあいさつと能狂言の全体的な見方をお話します。一見堅苦しいイメージがある古典芸能に対して、各々がどのように接し、見たら良いか、感じたら良いかなどお話します。続いて狂言についてお話します。このあと演じる狂言のあらすじについても解説しますが、最後の結末は伏せます。</p> <p>2. 演目のあらすじ (1)狂言「柿山伏」 大和の国(今の奈良県)大峰山・葛城山での修行を終わり、本国の出羽の国(今の山形県)羽黒山へ帰る旅の途中の山伏、修行のおかげで、空を飛ぶ鳥をも祈り落とす程の力を持つようになったと自慢しています。 さて、今朝早く出発したので空腹になった山伏は、柿の実が実っているのを見つけ、何とか落とそうと試みますが、うまくいきません。そこで柿の木に登って実を食べていると、見回りにやって来た柿の木の持ち主に見つかってしまいました。怒った柿主はわざと、「あそこにいるのは鳥だ、猿だ、鳶だ」と言っていじめます。山伏は懸命にそれらの物真似をして何とか取り繕おうとします。しかし最後に、「鳶ならば羽を伸ばして鳴くものだ。もうそろそろ飛び立つ頃だ。」と言われ、思わず高い木の梢から飛んでしまいます。</p> <p>3. お話「能について」 能楽師が本日の演目解説を致します。当日配布予定のパンフレットを元にあらすじ、曲目に関する親しみやすい知識も含め、敷居が高くないわかりやすい解説をします。</p> <p>(2)能「殺生石」 奥州の玄翁和尚(ワキ)が修業の途中、那須野の原の大石に近づくと、里女(シテ)にその大石は触れれば鳥獣も死ぬと声をかけられます。玄翁が話を聞くと里女はこの石は国を滅ぼそうとした野干の精(妖狐)だと話します。その野干は玉藻の前に化け鳥羽法皇に近づきましたが、野干と見破られて殺され、この石となった今も殺生を続けていると話し、実は自分がこの石魂と明かし石の中に消えます。(中入)玄翁が仏事を営むと石が割れ中から妖狐(シテ)が現れ、三国(インド・中国・日本)の王朝に危害を加えた事を語ります。その後この国の武士達に討たれ石魂となっても悪事を続けていますが、妖狐は玄翁の御法により悪事を行わない事を約束し姿を消します。</p>				

<p>演目選択理由</p>	<p>古典芸能との出会いは第一印象が最も大切であり、楽しく、わかりやすい曲目を検討した結果、能狂言の現行曲の中でも人気曲の狂言「柿山伏」、能「殺生石」を選択しました。理由としては狂言「柿山伏」は学校教科書にも掲載されており、あらずとも大変わかりやすい内容となっていることです。</p> <p>能「殺生石」は一般的に九尾の狐伝説として知られおり、現在もその殺生石は栃木県那須に実在し、観光名所となっています。比較的静かな印象がある能ですが、この曲は激しい動きもあり、限られた時間内で古典芸能の魅力を伝えることが可能な曲であることも採択理由のひとつです。</p> <p>また、みどころに後半、狐の精が岩を割って登場するシーンがありますが、当会が所有する「岩」の作り物は分解、持ち運びが容易なため、能楽堂以外の会場でも省略せず、上演が可能となります。</p> <p>◆狂言「柿山伏」:物まねなど面白さの中に、山伏というカリスマ的な者への風刺的な要素もあり、子どもから大人まで楽しめる狂言です。</p> <p>◆能「殺生石」:インドから中国を経て日本へ渡り、国を傾けようとした狐の精の物語で、殺生石伝説の元になったものです。能の中でも動きが激しい場面があり、視覚的にも魅力がある曲目です。劇中、狐の精に化けた里女が自らの正体を語った後、石の中へ姿を消し、供養のため玄翁和尚が石を砕き割りますが、このとき使用した道具が今の大工道具のカナヅチ(玄能)の由来といわれています。また九尾の狐は子ども達に人気のあるアニメのキャラクターにも登場します。以上のようなトリビア的な知識もあり、幅広く日本の文化を認識することができると思っています。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前ワークショップ「能楽鑑賞のためのみちびき」にて行います。 2. 体験の形態について <ol style="list-style-type: none"> (1) お話 10分 <ul style="list-style-type: none"> ・能の歴史についておよび狂言「柿山伏」、能「殺生石」について解説します。 (2) 能の動きを体験しよう（生徒代表20名まで）：30分 <ul style="list-style-type: none"> ・能の構え、摺り足等といった代表的な動きを学びます。 ・能における独特な動きの感情表現を体験します。 ・能面をつけて歩いてみます。（生徒代表20名の中から6名のみ） (3) 能の楽器に触れてみよう（生徒代表 小鼓3名、太鼓3名）：10分 <ul style="list-style-type: none"> ・能の楽器（小鼓、太鼓）に触れてみます。道具に対して心をこめて扱うなどを学びます。 (4) 謡を謡ってみよう（全校生徒）：10分 <ul style="list-style-type: none"> ・能「殺生石」の一部を全員で合唱します。プリントを元に謡曲の独特な節使いなどをレクチャーし、皆で謡います。 (5) 能面を見てみよう：15分 <ul style="list-style-type: none"> ・本物の能面を間近に見てみます。 (6) 仕舞「殺生石」実演：5分 (7) 質問コーナー等：10分 <ul style="list-style-type: none"> ・皆様からの質問にお答えします。 3. 参加可能人数：全校生徒対象（最少人数無し～500名）

	4. 所要時間：90分前後		
出 演 者	<p>シテ方：★山崎 正道・★小田切康陽・★角当 直隆・★山中 迥晶・松山 隆之・川口 晃平・内藤 幸雄・伶以野陽子・小田切亮磨・山崎 友正・山中 景晶(11名) (シテ方詳細はNo.2 別紙メンバー表参照)</p> <p>狂言方：山本東次郎家(4名) 他 ワキ方、囃子方 6名</p> <p>★重要無形文化財総合認定保持者 公演の出演者は人間国宝梅若 実に指導を受けた当法人所属のシテ方能楽師、また経験豊富な狂言方、囃子方、いずれも能楽の伎芸が高度なレベルに達した者で構成します。</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出 演 者： 21名 <u>ス タ ッ プ</u>： 1名 合 計： 22名</p>	機 材 等 運 搬 方 法	積 載 量 キャラバンサイズ 車 長 5m 台 数 3台

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。																	
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間(2時間程度) <table border="1" data-bbox="416 703 1433 824"> <tr> <td>到着</td> <td>仕込み</td> <td>本公演</td> <td>内 休 憩</td> <td>撤去</td> <td>退出</td> </tr> <tr> <td>時</td> <td>10:30～12:30</td> <td>13:00～14:40</td> <td>10分</td> <td>15:00～16:30</td> <td>16:45</td> </tr> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。						到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出	時	10:30～12:30	13:00～14:40	10分	15:00～16:30	16:45
到着	仕込み	本公演	内 休 憩	撤去	退出													
時	10:30～12:30	13:00～14:40	10分	15:00～16:30	16:45													
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	最小人数無し～500名																
ワークショップ 実施形態 及び内容	本公演	全校生徒 <ol style="list-style-type: none"> 1. お話 10分 <ul style="list-style-type: none"> ・能の歴史についておよび狂言「柿山伏」、能「殺生石」について解説します。 2. 能の動きを体験しよう（生徒代表20名まで）：30分 <ul style="list-style-type: none"> ・能の構え、摺り足等といった代表的な動きを学びます。 ・能における独特な動きの感情表現を体験します。 ・能面をつけて歩いてみます。（生徒代表20名の中から6名のみ） 3. 能の楽器に触れてみよう（生徒代表 小鼓3名、太鼓3名）：10分 <ul style="list-style-type: none"> ・能の楽器（小鼓、太鼓）に触れてみます。道具に対して心をこめて扱うなどを学びます。 4. 謡を謡ってみよう（全校生徒）：10分 <ul style="list-style-type: none"> ・能「殺生石」の一部分を全員で合唱します。プリントを元に謡曲の独特な節使いなどをレクチャーし、皆で謡います。 5. 能面を見てみよう：15分 <ul style="list-style-type: none"> ・本物の能面を間近に見てみます。 6. 仕舞「殺生石」実演：5分 7. 質問コーナー等：10分 <ul style="list-style-type: none"> ・皆様からの質問にお答えします。 8. 参加可能人数：全校生徒対象（最少人数無し～500名） 9. 所要時間：90分前後 																

ワークショップ 実施形態の意図	一般的に敷居が高いと思われがちな古典芸能ですが、まずワークショップを通して見たこと、触れたこと、学んだことは、漠然とした古典芸能に対するイメージを払拭し、これまでより一層身近に感じてもらいたい意図があります。特に能の動き、感情表現を体験し、能面を付けて歩く等の楽しく新鮮な体験は、本公演を鑑賞するための大きな助けになり、より理解が深まるものと思っています。
特別支援学校での 実施における工夫 点	施設側と密な打合せを行い、可能な限りご要望に沿えるよう努力したいと思います。また過去に特別養護老人ホームを訪問した際に、ワークショップを入所者と共に行ったことがあり、その際得た経験を生かすことができると考えております。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

<おもな出演者>

・山崎 正道（やまざき まさみち）重要無形文化財総合指定保持

昭和 38 年 8 月生まれ。昭和 41 年初舞台。昭和 57 年五十六世梅若六郎（現 実）に入門師事。

昭和 53 年石橋、平成 2 年猩々乱、平成 6 年道成寺などを抜く。

平成元年観世流準職分に認定。

緑英会（りょくえいかい）主宰

・小田切康陽（おだぎり やすはる）重要無形文化財（総合）指定保持

昭和 40 年福岡生まれ。幼少より祖父・観世流シテ方小田切梧陽の手ほどきを受け、昭和 58 年観世流シテ方五十六世梅若六郎（現 実）に内弟子入門し平成 4 年に独立。

平成 5 年独立、石橋を抜く。その後道成寺、望 月、翁、安宅を抜く。

緑滄会（ろくそうかい）主宰

・角当 直隆（かくとう なおたか）重要無形文化財（総合）指定保持

昭和 62 年入門。五十六世梅若六郎（現 実）に師事。

平成 7 年独立。昭和 47 年初舞台、仕舞「老松」。52 年初シテ「菊慈童」。抜き昭和 57 年「石橋」。平成 8 年「猩々乱」。平成 9 年「千歳」。

平成 12 年「道成寺」。平成 16 年「望月」。平成 17 年「俊寛」。平成 19 年「翁」。

緑皇会（りょくおうかい）主宰

・山中 迺晶（やまなか がしょう）重要無形文化財（総合）指定保持

昭和 45 年 1 月生まれ。父山中義滋、五十六世梅若六郎（現 実）に師事。

昭和 47 年初舞台「老松」。幼少より子方として舞台に立ち現在に至る。

平成 5 年より 2 年間、京都造形大学の非常勤講師を務め、同大学に初めて能学部をつくり、生徒と共に学園内での公演などを行う。平成 7 年、梅若六郎家に入門し 4 年間の修行期間を経て、平成 11 年春、卒業する。

緑蘭会（りょくらんかい）主宰。

・松山 隆之（まつやま たかゆき）

昭和 50 年生まれ。五十六世梅若六郎（現 実）に師事。

昭和 53 年初舞台仕舞「老松」。

通年、国内公演に多数参加の他、これまで数々の海外公演にも参加。

舞台活動の他、多方面に亘る講演（寺院・百貨店・施設ボランティアなど）や稽古事の指導にも積極的に従事。児童・生徒に向けた公演・講演にも携わる。

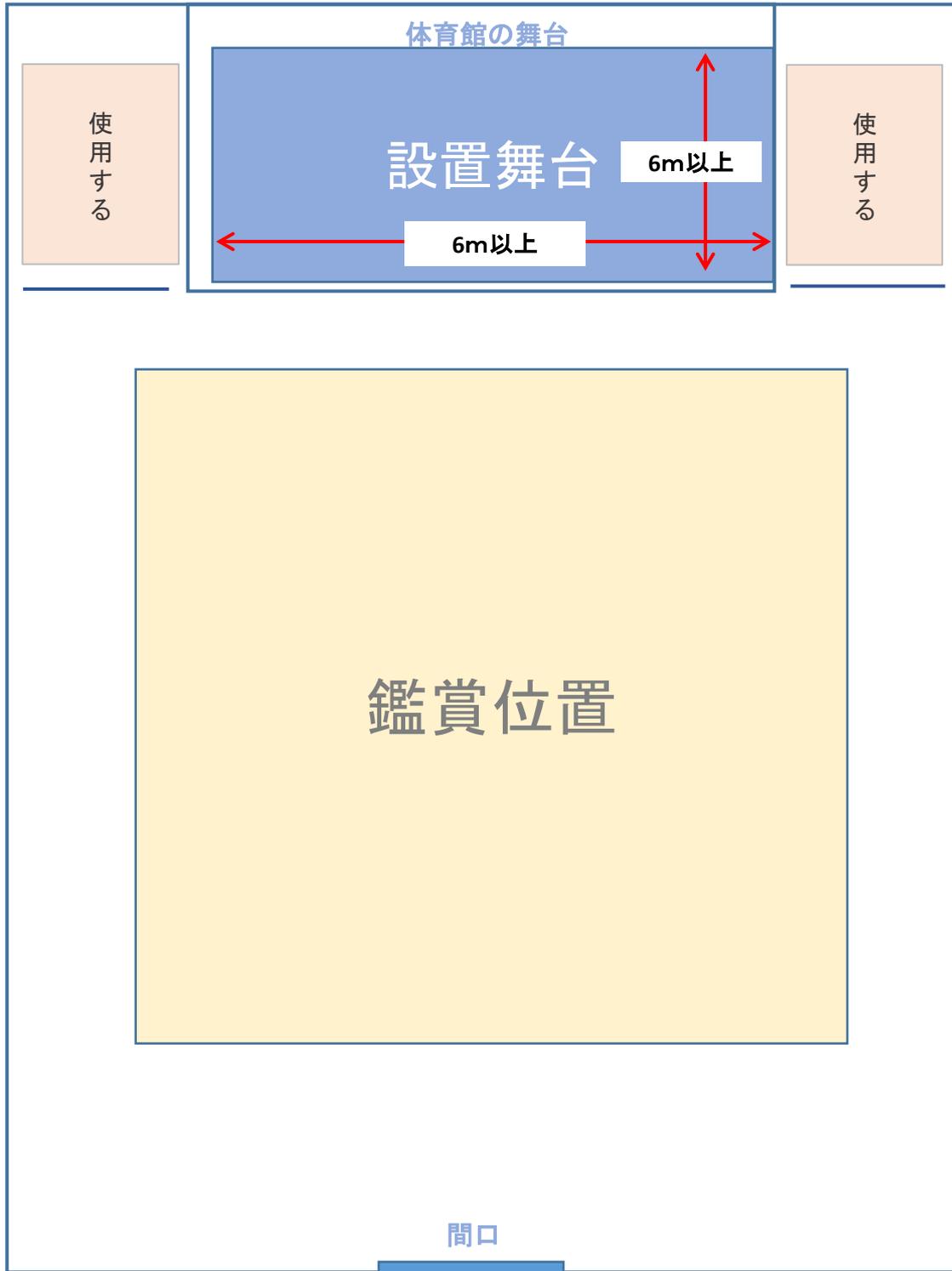
緑翔会（りょくしょうかい）主宰

【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D43	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	公益財団法人 梅若会				制作団体名	公益財団法人 梅若会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等								
控室について	—	必要数 *	不要	条件	なし					
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	3台	乗用車	4台		
	不可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			およそ全長5m × 全幅1.7m × 全高2.3m					
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要					
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			10m以内					
	可	搬入経路の最低条件			できる限り屋根のある経路が望ましい					
	理由				舞台上で使用するカバーできない大きさの道具の搬入出のため					
	—	設置階の制限 *			問わない					
	不可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			最少人数なし～500名					
	可	学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	なし				
	可	所要時間の目安 単位:分		90分前後～100分前後						
本公演について	理由	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。					
	可	鑑賞可能人数			全校生徒					
	可	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能					
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	6m以上	奥行	6m以上	高さ	ステージの高さで対応	
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要			
	可				舞台袖スペースの条件 *		出演者の着替えが可能な広さが必			
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			緞帳 *	不要	バトン *	不要		
	—				指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。		
	—	ピアノの調律・移動の要否			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				
	可	公演に必要な電源容量			20A	※主幹電源の必要容量				
	その他特記事項									
	可	体育館で使用するワイヤレスマイクを数本使用させて頂きたくお願い致します。								
	可	出演者人数分のスリッパ(20足前後)をお借りします。								
—										



キャラバンサイズ
レンタカー1~3台

舞台使用時

搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

公演日程

開催日	開催校	実施校以外の地元主催者
6月17日(月)	三重県名張市立美旗小学校	三重県教育委員会、名張市教育委員会
6月18日(火)	三重県松阪市立大河内小学校	三重県教育委員会、松阪市教育委員会
7月1日(月)	滋賀県湖南市立菩提寺小学校	滋賀県教育委員会、湖南市教育委員会
7月2日(火)	滋賀県甲賀市立伴谷小学校	滋賀県教育委員会、甲賀市教育委員会
7月8日(月)	和歌山県橋本市立境原小学校	和歌山県教育委員会、橋本市教育委員会
7月9日(火)	和歌山県紀の川市立調月小学校	和歌山県教育委員会、紀の川市教育委員会
7月10日(水)	和歌山県海南市立黒江小学校	和歌山県教育委員会、海南市教育委員会
7月11日(木)	和歌山県有田市立保田小学校	和歌山県教育委員会、有田市教育委員会
7月12日(金)	和歌山県上富田町立上富田中学校	和歌山県教育委員会、上富田町教育委員会
9月10日(火)	奈良県香芝市立鎌田小学校	奈良県教育委員会、香芝市教育委員会
9月11日(水)	奈良県大淀町立大淀中学校	奈良県教育委員会、大淀町教育委員会
9月12日(木)	奈良県葛城市立新庄中学校	奈良県教育委員会、葛城市教育委員会

知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です~

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

公益財団法人梅若会

〒164-0003 東京都中野区東中野2丁目6番14号

TEL. 03-3363-7748

FAX. 03-3363-7749

ホームページ umewakanoh.exblog.jp

メールアドレス umewakakai.pif@gmail.com

公益財団法人梅若会は1961(昭和36)年に設立された、能楽親世流の主要団体のひとつです。当主の四世梅若実(人間国宝・日本藝術院会員)は、現代の能楽界を代表する演者のひとりであり、古典はもとより、新作上演にも積極的に取り組み、今日を生きる古典芸能としての能を支えています。梅若能楽学院会館(東京・中野区)を活動拠点に定期公演を開催する他、梅若能楽学院では後進の育成にも力を注いでいます。



撮影：神田佳明



令和元年度

文化芸術による 子供育成総合事業

一巡回公演事業一

公益財団法人梅若会 能楽公演

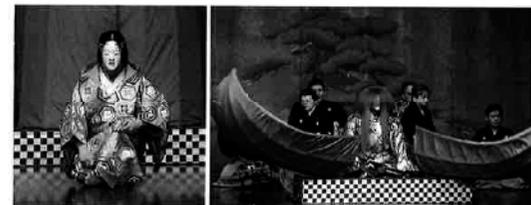


本日のプログラム

1. ごあいさつ
観世流 梅若家当主 四世 梅若実
2. お話「狂言について」
3. 狂言「柿山伏」
4. お話「能について」
5. 能「殺生石」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



撮影：吉越研

今日の演目について知ろう

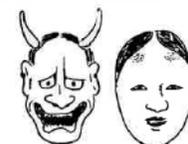
能「殺生石」あらすじ

玄翁という僧(ワキ)が、那須野の原(現在の栃木県)を通りかかったとき、巨石に近づいた空飛ぶ鳥が落ちるのを見て不思議に思います。そこに一人の女(前シテ)が現れ、石は殺生石といい、近づくと命を奪われると教えます。その昔、玉藻前という女官がいて帝に寵愛されていました。しかし狐の化身であることが知れたことで討たれ、その怨念が石となったのです。女は自分こそがその玉藻前だと言いながら消えています。

やがて、玄翁が祈りを捧げていると殺生石が2つに割れ、狐の霊(後シテ)が姿を見せます。そして、自らが討たれた様子として石となり生き物を殺してきた過去を語ります。しかし、玄翁の力で今はその恨みも消え、狐の霊は静かに去っていくのでした。

狂言「柿山伏」あらすじ

山伏が修行を終えて帰る途中、空腹に負けてしまい、柿の木に登って勝手に柿を食べ始めます。するとそこに柿の木の持ち主が現れて、木の上にいる山伏を見つけます。持ち主は、盗み食いをする山伏をからかって、そこにいるのは「犬だ」「猿だ」「鶯だ」といって、それに応えて山伏もモノマネをしてその場を逃れようとしています。終には「そろそろ飛び立つ頃だ」といわれ、山伏は柿の木から飛び降りてしまいます。遂に顔を合わせた山伏と柿の木の持ち主のふたり。さて、最後はどのような展開になるのかというと……。



「なぜ」「どうして」を知る!

はじめまして

能と狂言

のう

きょうげん

能と狂言は、どちらも古くから楽しまれてきた演劇です。いろいろな人が工夫をして、長い時間をかけて今のようないの深い芸能になったのです。ここでは8つの話題から、そんな能と狂言の世界を少し学んでいきましょう。

1 能ってなに!?



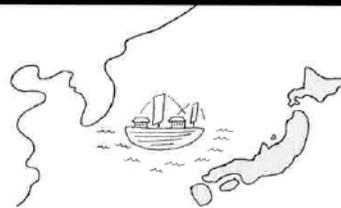
能と狂言、2つの芸能をまとめて「能楽」と呼びます。まずは能について、お話ししましょう。能は、仮面をつけて演じられる演劇です。神様が出てくるもの、鬼が出てくるものなど、たくさんのお話があり、その数は200種類以上もあります。笛・小鼓・大鼓・太鼓という楽器の演奏と、情景描写や登場人物の気持ちを独特のリズムをつけて謡い上げる地謡という人たちによって、物語が進んでいきます。主役をシテ、その相手役をワキといいます。

2 狂言ってなに!?



次は、狂言のお話しをしましょう。狂言は、笑いを中心とした演劇です。主人公には、少しばかりイタズラをしようとお調子者や、嘘がバレてしまい大目玉を食らう間抜け者がたくさんいます。能には歴史上の人物が登場することもあります。狂言は夫・妻・主人など、私たちの身近にもいる普通の人が主役になることが多い喜劇です。通常は2~3人で物語が進みます。

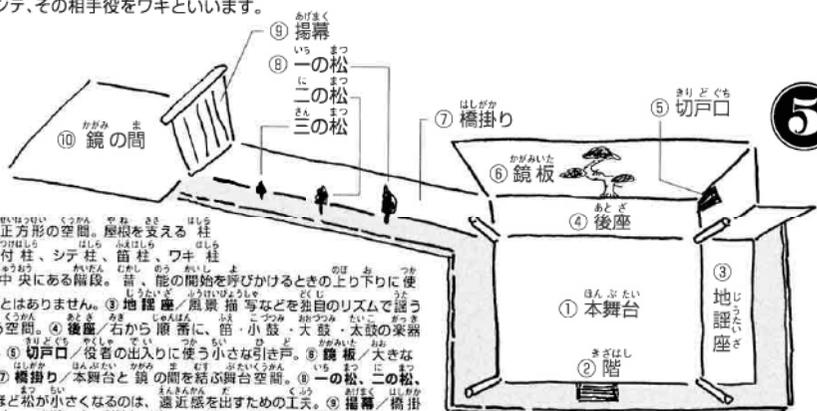
3 散楽→猿楽→能楽!



今から約700年前の室町時代、能は観阿弥と世阿弥という親子によって今のスタイルにまとめ上げられました。さらに古い時代には、猿楽と呼ばれていました。大陸から伝わったモノマネなどの芸能を散楽といい、それが訛ったというわけです。江戸時代には「式楽」という公式の儀式で用いられる芸能として認められ、能と狂言の地位は確かなものになりました。

4 ベストセラー『風姿花伝』

観阿弥・世阿弥親子は、能楽を学ぶときの最重要人物! そのふたりを知るのに欠かせないのが『風姿花伝』です。父・観阿弥の教えをもとに世阿弥が書き残した本で、日本で一番古い演劇論です。例えば、秘めることでモノの魅力が高まることを、世阿弥は「秘すれば花」という言葉で表現しました。今では日本文化を知る手掛かりとして、世界で読まれている名作なのです。



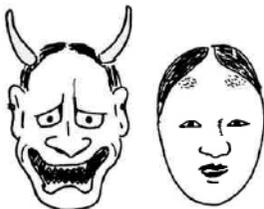
① 本舞台 / 一辺が約6mの正方形の空間。屋根を支える柱は、左下から時計回りに目付柱、シテ柱、笛柱、ワキ柱といます。② 階 / 舞台中央にある階段。音、能の開始を呼びかける時の上り下りに使います。③ 地謡座 / 風景描写などを独自のリズムで謡う地謡を担当する役者が座る空間。④ 後座 / 石から順番に、笛・小鼓・大鼓・太鼓の楽器を演奏する役者が並びます。⑤ 切戸口 / 役者の出入りに使う小さな引き戸。⑥ 鏡板 / 大きな老松が描かれた舞台背景。⑦ 橋掛り / 本舞台と鏡の間を結ぶ舞台空間。⑧ 一の松、二の松、三の松 / 本舞台から離れるほど松が小さくなるのは、遠近感を出すための工夫。⑨ 揚幕 / 橋掛りと鏡の間を仕切る五色の幕。⑩ 鏡の間 / 揚幕の奥にある大きな鏡のある空間で主役はここで能面をつけ、出演に備えます。

5 なぜがいっぱいの能舞台

その昔、能舞台は屋外に建てていました。今の能舞台に立派な屋根があるのはそのためです。周囲の4本の柱は屋根を支えるとき同時に、能面をつけた役者が舞台を動く時の目印にもなっています。舞台奥の松は年中枯れることのない植物で、どんな物語にも寄り添いやすい自然物として描かれています。そして、舞台左側の長い廊下を橋掛りと呼び、ここでの演技にも注目です!

6 ほほ笑み、涙する能面

表情に変化のない人を指して「能面のような顔」ということがあります。それは大きな間違いです。能面をつけて、顔を少し上に向けたときを「テル」と呼び、明るい表情が現れます。反対に顔を少し下に向けたときを「シモル」と呼び、悲しい表情が現れます。いずれもその動きはわずかですが、実は物語の場面に合わせて能面はとて豊かな変化をみせているのです!



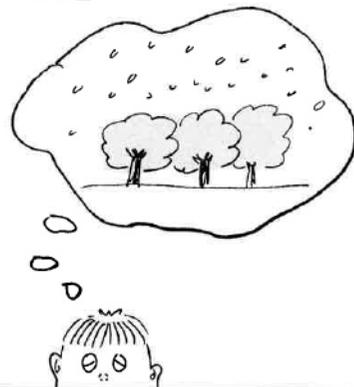
7 足元にも注目しよう

能楽の基本動作は、つま先をわずかに上げて踵は舞台から離さず、ゆったりと歩を進めます。重心は常に一定の水平運動が基本で、その動作に欠かせないのがすり足です。ゆっくり動いているからカラダも楽なのかといえば、そうではありません。それは、地上からは空をのんびり進むかのように見える飛行機が、実際はもの凄いいエネルギーを使っているのと同じことなのです!



8 まとめ「能楽の楽しみ方」

能や狂言が演じられる舞台は、役者と少しばかりの小道具(作り物)とありますが、ただで並ぶ空間です。そして、美しいリズムをつけた言葉(謡い)で物語を描きます。能楽を楽しむとき、大切なことの一つが言葉をよく聞くことです。そして頭の中で、その場面を想像してください。そのとき、隣の人と同じイメージである必要はまったくありません! 能楽は、皆さんの想像力を信じて、役者と観客が一緒になって物語を進めていく日本独自の演劇なのです。



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎 [○] ・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A[○]区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・[○]なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしがいしゃ でんとうげいのうおふいす 株式会社 伝統芸能オフィス		
代表者職・氏名	代表取締役 中坪眞		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒221-0822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川 1-15-2 パーソナルハイツ東白楽 101 東急東横線「東白楽駅」		
電話番号	045-324-3421	FAX番号	042-324-5159
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじん みやけきょうげんかい 一般社団法人 三宅狂言会		
代表者職・氏名	代表理事 三宅右近(和泉流狂言方)		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒176-0021 東京都 練馬区貫井 3-33-2		
制作団体 設立年月	昭和 51 年 4 月		
制作団体 組織	役 職 員		団体構成員及び加入条件等
	代表取締役 中坪 眞 取締役 名取 映 取締役 中坪 一世	40名(落語家、狂言師、音楽家など) 制作スタッフ:13名 舞台スタッフ:10名	
事務体制の担当	[○] 専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	中坪眞
経理処理等の 監査担当の有無	[○] 有 ・ 無	経理責任者名	村田翔太郎

制作団体沿革	<p>●(株)伝統芸能オフィス(通称・日本伝統芸能を守る会)・沿革</p> <p>○昭和 43年糸あやつり人形結城糸女子一座(ゆうきしめこ)沖縄公演(沖縄復帰以前)</p> <p>○昭和47年全国の小中学高校の児童生徒対象に日本の伝統芸能(落語、能狂言、邦楽など)芸術鑑賞教室を始める。落語は学校寄席、わんぱく寄席で定着 狂言は和泉流、大蔵流で狂言鑑賞教室</p> <p>昭和51年4月 株式会社ナカシン設立。</p> <p>平成14年1月 株式会社伝統芸能オフィスに社名変更 通称「日本伝統芸能を守る会」</p> <p>平成25年5月厚生労働省児童福祉文化財特別部門受賞(日本伝統芸能を守る会 長年にわたって 日本の伝統芸能を子どもたちに普及し、児童の健全育成に貢献してきた活動にたいして)</p>		
学校等における公演実績	<p>昭和 47 年より現在まで 10000 校以上 年間 150 校の学校での公演実績</p> <p>平成 17・18 年「本物の舞台芸術体験事業」 平成 20 年 21 年 22 年「本物の舞台芸術体験事業」 平成 23 年「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」 平成 25 年「次代を担う子供の文化芸術体験事業」 平成 26 年「次代を担う子供の文化芸術体験事業」 平成 27 年「文化芸術による子供の育成事業」 平成 28 年「文化芸術による子供の育成事業」 平成 29 年「文化芸術による子供の育成事業」 平成 30 年「文化芸術による子供の育成事業」 令和元年「文化芸術による子供育成総合事業」 平成 23 年北区文化振興財団「親子で楽しむ狂言」</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>北海道余市養護学校しりべし学園分校 香川県立善通寺養護学校</p>		
参考資料の有無	A	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>ID: PW:</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>
	A の提出が困難な場合	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 株式会社伝統芸能オフィス】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生			
企画名	三宅狂言会「茸」			
<p>本公演演目</p> <p>原作／作曲 脚 本 演出／振付</p>	<p>第1部</p> <p>1、狂言解説 ～狂言ってなあに?～</p> <p>2、狂言「盆山 ぼんさん」</p> <p>3、狂言体験 ～僕も私も1日狂言師～</p> <p>+++++ 休 憩 (15分) +++++</p> <p>第2部</p> <p>4、狂言 「茸(くさびら)」一大勢狂言一</p> <p>※ 監修 振り付け……三宅右近(和泉流狂言方)</p> <p>※ 企画原案 演出 脚本 構成……なかつぼ まこと</p> <p style="text-align: right;">公演時間(90分)</p>			
著作権	○	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無

公演の前

いよいよ公演のはじまりはじまり
舞台へ向かう入り口に
狂言ミニ博物館を設置。
狂言の本物の装束や
「茸(くさびら)」で使う鬼茸の面を
展示してこれから始まる狂言の
雰囲気を一層高めます



狂言の装束

狂言の装束には
季節の柄やおめでたい柄
など大胆でおもしろい柄
がデザインされています



能楽堂や有名な舞台の写真

盆山(写真)

写真で今回の
「盆山」を説明



鬼茸の面

鬼茸の実物の面を展示
上からのぞきこむと
怒っているようにみえて
下から見ると情けない
表情に見えるおもしろさ



おもしろい面の数々

鬼茸の他にも狂言には天狗や
お猿さんなど様々な面があり
ます。今回の茸にはどんなおもしろい面がでてくるかな?

体育館が能舞台に変身!



掲幕(あげまく)

演者が出入りするときに竹竿で幕を上げ下げする
きのご役の児童・生徒はここから登場してきます

舞台のほうから
一の松、二の松、三の松と
順に小さくして
遠近感をだしている

鏡板

老松が描かれた装置
歌舞伎では松羽目と
呼ばれている

切戸

ちいさな扉になっていて
きのご役の児童・生徒は
ここからも登場してきます

本物の装束

出演者は絆絆をつけて
足袋をはき
本物の装束を身にまとうと
登場します



ここに注目!

体育館に本格的な能舞台をつくり、
子どもたちの視覚を刺激します。

出演の子どもたちは普段は着ることのない装束を
身にまとうことで、演技者として舞台に出る喜びを
深く感じるようになります。





第1部

1、狂言の解説 ～狂言ってなあに?～

初めて狂言、伝統芸能の世界に触れる児童生徒のために、
 簡単な歴史や、能舞台のしくみ、役割、狂言の衣裳、装束(しょうぞく)、
 狂言独特の演出方法などを実演をまじえながらわかりやすく解説します
 ※教科書に「柿山伏」が載っている学校は、「柿山伏」の解説をいたします



狂言を楽しく鑑賞する決まり事を
 わかりやすくおはなしします

- 🍵 狂言はいつの時代にできたの?
- 🍵 能舞台ってどのような構造なの?
- 🍵 狂言の衣裳のあれこれ
- 🍵 狂言に登場するゆかいなキャラクター
などなど

2、狂言「盆山 ほんさん」 実演を交えた 狂言の特徴のおはなし

狂言「盆山」は狂言で表現される基本的な所作(足、手、腰の動き)、
 セリフ、擬音などの特徴がふんだんに盛り込まれております。
 演目あらすじ、見どころを丁寧に説明したあと、狂言を見ていただき、
 見終えたあとその特徴についておはなしします。



【盆山あらすじ】

ある男が登場。友達が当時流行の「盆山」のコレクターで、その男もその盆山が欲しくなり友達に一つ分けてくれと頼みますが、友達はケチで分けてくれません。そこで男は夜にこっそりと友達の家へ盗みに忍び込むが、物音に気付いた友達は顔見知りと分かり、からかってやろうと色々な動物の鳴き声をさせるのですが……
 果たしてどうなることでしょうか。

盆山を見た後は、狂言「茸」に出演する子どもたちをみんなで送ります。

狂言「茸」に狂言師として出演する代表の児童生徒たちが、装束(狂言の衣裳)に着替えるために楽屋へ移動します。みんなで声援をおくりましょう!



3、狂言体験 ～僕も私も1日狂言師～

全員参加ワークショップ

狂言の世界を体験 1日狂言師気分を味わおう!



狂言のお稽古は、
「礼に始まり礼に終わる」
まずはお辞儀から。
きちんと正座をして、
大きな声で「よろしくお願ひ致します」と挨拶。
狂言師が基本の動作をレクチャーします。

狂言の基本所作(動き)を学ぼう!

かまえ(姿勢)…大きく美しく見せる

足の運び(歩き方)

…すり足(足の裏を見せずに大股で歩く)

動物の鳴き真似クイズ

最初に見て頂いた「盆山」にも犬、猿の鳴き真似が出てきましたね。
犬は「ビョービョービョー」と鳴いていました。さてこの動物の鳴き声はなんでしょうか?

Q クークークー
ゴオーケエー



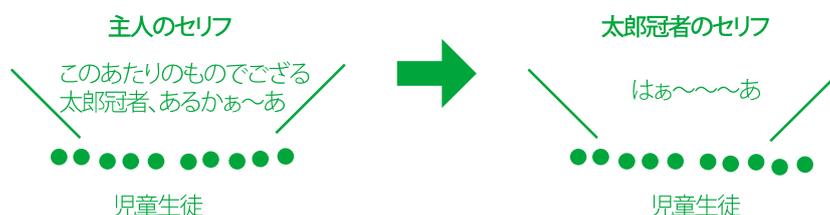
Q プ～ン



狂言の発声にチャレンジ!

セリフ劇である狂言の発声の仕方を全員でトライしてみましょう!

狂言の代表的な登場人物の太郎冠者と主人のセリフの掛け合いを、
客席を二つに分けて、大きな声で言ってみよう!



🗨️ みんなで謡を謡おう!

狂言はセリフだけでなく、歌謡的要素の狂言も大きな魅力の一つです。
馴染みやすい狂言の謡「兎(うさぎ)」の一節を全員で謡ってみましょう。

最初は狂言師が節回しを区切りながら謡います

↓
そのあとをつづいて全員で謡います

↓
覚えたら区切らず最初から最後まで謡います。

↓
その謡に合わせて狂言師が「小舞」を舞います。

オプション 小規模校の場合など

ご希望の場合、茸役の他に
謡役の子ども達が
謡いと小舞を事前ワークショップで
練習して本公演で
披露することも可能です。



休 憩

そのころ舞台裏では……



出演者が狂言の装束を着付けながら、言葉をかけて緊張をほぐしていきます
装束に着替えた子どもたちは大興奮!何度も鏡で自分の姿を見たり、友達同士でほめ合ったりと
気分は最高潮に!



いよいよ本番! きちんと挨拶をして本番に臨みます。
笠と面(おもて)をつけて準備万端。お友達の面がちゃんと付いているかお互いチェック。
舞台裏はわくわくとドキドキの子どもたちの熱気に包まれます。

ここに
注目!

子どもたちは狂言の本物の装束(衣裳)を身につけます。
はじめて着る装束に子どもたちの気持ちも高まります。
この舞台でしか味わえない
一生の思い出に残る瞬間です。



4、狂言「茸くさびら」 一大勢狂言ー

児童・生徒さん12名が
主役のキノコ役として出演

先生も
鬼役に変身!



笠と面

自分たちで作成した
笠と面をつけて登場!
キノコの独特の不思議な
世界を演出します
(作成時間の都合により、
笠はこちらがご用意したものを
使用することも可能です)



鬼茸(おにたけ)
先生も鬼茸役として出演

登場人物

装束

本格的な狂言の装束を身につけ
舞台を華やかに彩ります



主人

家にキノコがたくさん
生えてきたので、
山伏に祈禱を
おねがいます



山伏

主人からの願いで
キノコを退治しようと
祈禱するが……

【あらすじ】

ある家でキノコがたくさん生えてきたので、その家の主人が気味が悪くなってキノコを退治してもらおうと山伏に祈禱をお願いします。霊験あらたかと自負をしている山伏は祈禱を始めます。ところが山伏が祈れば祈るほどキノコは増え続け家の中はキノコだらけになってしまいます。走り回るキノコ、いたずらをするキノコ、最後はおどろおどろした鬼茸(おにたけ)まで出現、とうとうキノコに追われて逃げ出します。



「ポーロンポロン」と山伏が祈禱を唱えれば唱えるほど



どんどんキノコがふえてゆきます



祈禱がやむとびたつと動きをとめるキノコたち



クライマックスでは鬼茸が出てきて……

カーテンコール

本日出演した子どもたちが最後に名前を呼ばれて出てきます。
ここではじめて面と笠を脱いで顔を出してあいさつします。
すると、あの草はあの子だったのかと驚きの声があがります



ひとりひとり狂言師から名前を呼ばれて、自分の作った面と笠を見せて出てきます

鬼役の先生は誰なのか当日まで内緒



演技を終えた子どもたちが観客のみなさんにお礼の挨拶をして幕を閉じます。みんな演技をやり終えた達成感に笑みがこぼれます

記念撮影

最後に、装束を着けたまま舞台上で記念撮影。
忘れられない
大切な思い出がのこります



<p>演目選択理由</p>	<p style="text-align: right;">ぼんさん</p> <p>「狂言の基本要素が盛り込まれた作品」～盆山～</p> <p>狂言「盆山」は、狂言の特色である、所作、セリフ、擬音など総てが盛り込まれた作品で、初めて狂言を鑑賞する人にも楽しめる作品です。 子どもたちは想像力を補いながら舞台を楽しむことができるシンプルながらわかりやすい演目です。</p> <p style="text-align: right;">くさびら</p> <p>「子どもたちだからこそ表現ができる演目」～茸～</p> <p>狂言「茸」は、子どもたちが主役です。 大人では決して表現できない細やかな動きやかかわいらしさなど、子どもたちだからこそ作り出せることができる作品です。</p> <p>本物の舞台で本物の衣裳を身にまとい、狂言師と同じ舞台で共演することは、多感な時期の子どもたちにとって得られることのない貴重な体験になり、狂言への興味や印象を一層深く残すこととなるでしょう。 また、児童・生徒同士や先生・出演者と協力して一緒に舞台を作り上げることは、共演者として一体感が生まれ、お互いのコミュニケーション能力を高めるきっかけにもなります。</p> <p>「狂言をもっと身近に感じるという効果も」</p> <p>低学年には難しいと思われる狂言ですが、子どもたちは言葉の響きの面白さや狂言独特の空気を自然と感じ取って楽しむ能力があります。 観客の児童生徒は、自分の友人や身近な人間が舞台に出ていることで、より親近感がわき、狂言をもっと身近に感じていただけるようです。</p> <p>実際に児童・生徒が登場するやいなや、会場からあたたかい笑いがあふれ出し、出演の子どもたちが作った「面」や「笠」を見て、その色とりどりの模様や形のおもしろさを楽しんでいます。</p> <p>「文化継承の担い手を育てる」</p> <p>次代を担う子どもたちが、狂言の舞台に参加し、作品を作り上げることで強い印象を残すことができます。 狂言をより身近に感じていただき、将来において狂言を支える観客が育つこと、また、この舞台を経験したことで、狂言師になるきっかけづくりになればと思っております。</p>
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>○ 狂言「茸」出演者—キノコ役…12名(できれば低学年から高学年と先生) 鬼茸役…先生</p> <p>事前ワークショップでお稽古をします。</p> <p>※ 出来るだけ年代層が広がっているほうが大小様々な茸が登場して面白く表現できますが、授業の関係などで難しい場合は臨機応変におこたえします</p> <p>狂言師は礼儀の仕方からはじまり、真剣に児童・生徒たちと向き合って指導します。 この共演で、一つのものを完成させるという目標のもと、指導者と児童・生徒が一丸となって稽古します。</p>

	<p>○ 全員参加—狂言の基本所作を学ぶ(礼儀作法、あいさつ) 動物の鳴き真似クイズで狂言の特徴を知る 狂言のセリフを実際に体験 狂言の小謡「兎(うさぎ)」を謡う</p>		
出 演 者	<p>三宅右矩／三宅近成／高澤裕介／吉川秀樹／前田晃一／河路雅義／ 大塚出／金田弘明など三宅狂言会(和泉流)から5名</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出 演 者: 5 名 ス タ ッ フ: 4 名 合 計: 9 名</p>	<p>機 材 等 運 搬 方 法</p>	<p>積 載 量 1 t 車 長 5.31 m 台 数 2 台</p>

公演に当たっての 会 場 条 件	実施条件等確認書①をご確認ください。																				
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<p>前日仕込み(無) 会場設営の所要時間(3時間程度)</p> <table border="1" data-bbox="432 781 1445 938"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 781 528 860">到着</th> <th data-bbox="528 781 699 860">仕込み</th> <th data-bbox="699 781 884 860">リハーサル</th> <th data-bbox="884 781 1066 860">本公演</th> <th data-bbox="1066 781 1161 860">内 休 憩</th> <th data-bbox="1161 781 1337 860">撤去</th> <th data-bbox="1337 781 1445 860">退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 860 528 938">8:50</td> <td data-bbox="528 860 699 938">9:00-11:00</td> <td data-bbox="699 860 884 938">10:30-11:30</td> <td data-bbox="884 860 1066 938">13:30 -15:00</td> <td data-bbox="1066 860 1161 938">15 分</td> <td data-bbox="1161 860 1337 938">15:00 -17:00</td> <td data-bbox="1337 860 1445 938">17:00</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。 ※公演が午前中になった場合は前日仕込有</p>							到着	仕込み	リハーサル	本公演	内 休 憩	撤去	退出	8:50	9:00-11:00	10:30-11:30	13:30 -15:00	15 分	15:00 -17:00	17:00
到着	仕込み	リハーサル	本公演	内 休 憩	撤去	退出															
8:50	9:00-11:00	10:30-11:30	13:30 -15:00	15 分	15:00 -17:00	17:00															
児 童 ・ 生 徒 の 参加可能人数	ワークショップ	12名(茸役 先生1名) 謡『兎』を謡う(ご希望の場合クラス単位、学年単位参加)																			
	本公演	全員																			

事前ワークショップ

ワークショップ時間 **1時間30分**

内容その1 狂言「茸」の茸役の練習



体育館のフロアで茸役の動きを練習します。しゃがんだ格好のままフロア内を動き回りますので、動きやすい格好(体育着など)で行います。

事前にDVD教材をお送り致します。鬼茸役の先生と一緒に練習します。



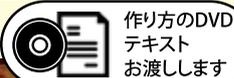
茸(くさびら)の動きの練習 舞台いっぱいにかわいらしいキノコがちよこちよこ動き回る様子が観客の笑いをさそいます



「とつてもお〜」鬼茸役の先生の練習風景

内容その2 ワークショップ終了後、各自本番までの宿題

本番で使用する茸役の笠と面を創作!



ワークショップ終了後、本公演までに舞台出演時に身につける面と笠をオリジナルで作成します。子どもたちが想像を膨らませて作成した面や笠をつけて舞台上に登場することにより、世界に一つしかない狂言を生み出すことができます。

笠の作成 について

作成時間の余裕がない場合は、笠の作成を割愛して弊社が用意した物を使用することも可能です



狂言の「面」について説明します

面と笠をつくる効果

いままで上演してきた学校の反応をみてわかったこと

- 見ている側の子どもたちが、それぞれの「面」と「笠」のおもしろさを楽しみながら見ている。
- 色とりどりの「面」や「笠」は、庭に生えてきた怪しい茸を表現するのに効果的。
- 子どもたちの想像力はとてもおもしろく、それぞれオリジナリティあふれる作品が生まれる。
- カーテンコールで面をはずして出てくると、あのおもしろい面の子はあの子だったのか!と驚きがある。



本番の公演で面と笠をつけて登場します

参加者

必修

狂言「茸」の茸役・鬼茸役の稽古

キノコ役…12名



場所…体育館

選出方法

①低学年から高学年の中から選出。

効果 (先生の感想より)

- 異学年の児童たちが一つの目標に向かって共に頑張る楽しさや達成感を実感することができた
- 自主的に教え合ったり低学年の面倒を見たりする態度が育った

②同じ学年やクラスの中から選出。

授業の関係もあると思いますので、選出につきましては臨機応変にいたしますのでご相談ください。

弊社のおすすめ

鬼茸役
…先生1名

場所…体育館



大きな声を出して、子どもたちを引っ張っていく
鬼茸役の先生は子どもたちにとって心強く
励みとなる存在です

効果 (先生の感想より)

子どもたちとの距離が縮まり、心の交流が深まった

クラス単位・学年単位での参加をご希望の場合
茸の稽古と別のワークショップをご用意しています

参加者

選択制

狂言の謡「兎(うさぎ)」をうたおう!

参加者…茸役以外のクラス単位、学年単位での参加

場所…音楽室など

狂言の簡単な所作などを体験後、狂言の謡「兎(うさぎ)」を大きな声でうたう練習をします。

本公演では、みなさんの謡いにあわせて、狂言師が小舞を舞います。

※小規模校やご希望の場合は、児童生徒数名が小舞も覚えていただき、本公演で発表することも可能です。

全校参加をご希望場合

より多くの児童生徒さんに体験してもらうため、

午前中に全員でワークショップを

行い、午後に代表児童が茸の稽古をすることも可能です

ワークショップ実施のパターン

	参加者	ワークショップ内容	場所
1	茸役12名+先生	茸の稽古	体育館
	茸役12名+先生	茸の稽古	体育館
2	茸役以外の学年 クラス単位の児童	謡「兎」の稽古	音楽室等
	全校児童生徒	狂言解説、 謡などのワークショップ (全校児童生徒のワークショップのあと 代表児童が茸の稽古)	体育館
3	茸役12名+先生	茸の稽古	体育館

本公演までのながれ

公演日決定後

ワークショップ、本公演の様子や面、笠の作り方などのDVD資料をお送りします

事前ワークショップ開催

本公演までに面と笠を作成

本公演にむけて練習

本公演

ワークショップ
実施形態の意図

事前ワークショップ

「自分たちで一つの作品を作り上げる」

この舞台の**主役**は、**子どもたちと先生自身**です。

鬼茸を先生が演じ、児童生徒が主役となって、**実際の舞台で演じる**ところに大きな特色があります。

狂言では、お客様に楽しんでもらうために、
きびしい稽古を重ねて舞台に出ます。

体験する児童・生徒には、**一つのことに取り組むことの大切さ**、
うまくできたときの達成感など感じていただき、

今後何かをやり遂げる時には、この経験を思い出して

一つのことをやり遂げる力をつけてもらいたいと思います。

「演技力、表現力を磨く」

子どもたちが演じるキノコはさまざま。
ちょこちょこと可愛い動きの低学年の子のキノコ。
高学年はしっかりした動きのキノコ。
鬼茸役の先生の怖くも威厳のある動き。
それぞれ個性的なキノコたちが舞台の上で動き回り、
創造性や演じる力を高めることができます。

「共演で得られるもの」

各学年から参加児童・生徒がそれぞれ集まり一つのことをやり遂げる。
すると、参加児童同士が自主的に教え合い、高学年の児童が低学年の児童を
フォローするなど**コミュニケーションが生まれます。**
また自分自身の個性を磨くだけでなく、他の人の動きを観察して、
自分との違いを研究するなど自分を客観視することもできます。
お互い協力して舞台を作り上げることで、**チームとしての団結力が深まる**ばかり
ではなく、他の人よりも、もっと大きな声を出そうなどの、いい意味での対抗意識
が生まれ、**物事に取り組む意欲が高まる**効果があります。

指導者は子どもたちと真剣に取り組みます。子どもたちはその期待に
答えようと一生懸命取り組んで、お互いの信頼関係が築き上げられます。

「想像力・製作力が高まる」

自分の想像力を駆使して、茸の顔を「面」と「笠」をつくります。
子ども達の自由な発想でデザインしたものは面白く、
舞台をより一層豊かにさせることができ、
児童・生徒それぞれの個性を表現する力が高まります。
先生、友達、家族の方々と話し合いながら
オリジナルの「面」「笠」づくりを楽しみながら作成しましょう。

- ※ 説明書はあくまでも作り方の一例としてお渡しします。
作る素材も自由に考えさせることで面白いものが出来上がります。
(子どもたちの自由な発想を大事に)

本公演

「狂言の楽しさを全員で体験する」

子どもたちに、実際の狂言の舞台を体験してもらうことで、表現力、創造力を豊かに
し、伝統芸能をより身近に感じることができます。
お稽古の前にはきちんと狂言師とお辞儀をしてお稽古に臨みます。

特別支援学校での
実施における工夫
点

- 大きな声で発声練習、笑い、擬音など仕草を行います
- 食べたり飲んだりする仕草など簡単なものを行います
- 学校の先生と綿密な打ち合わせをして行います

<以前行った内容>

どうしても出演したいという車椅子の生徒さんと先生の熱意に応え、
狂言師の協力のもと茸役で参加していただきました。

<p>実施可能時期 ◇はB区分申請 団体のみ</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>
------------------------------------	-------------------------------

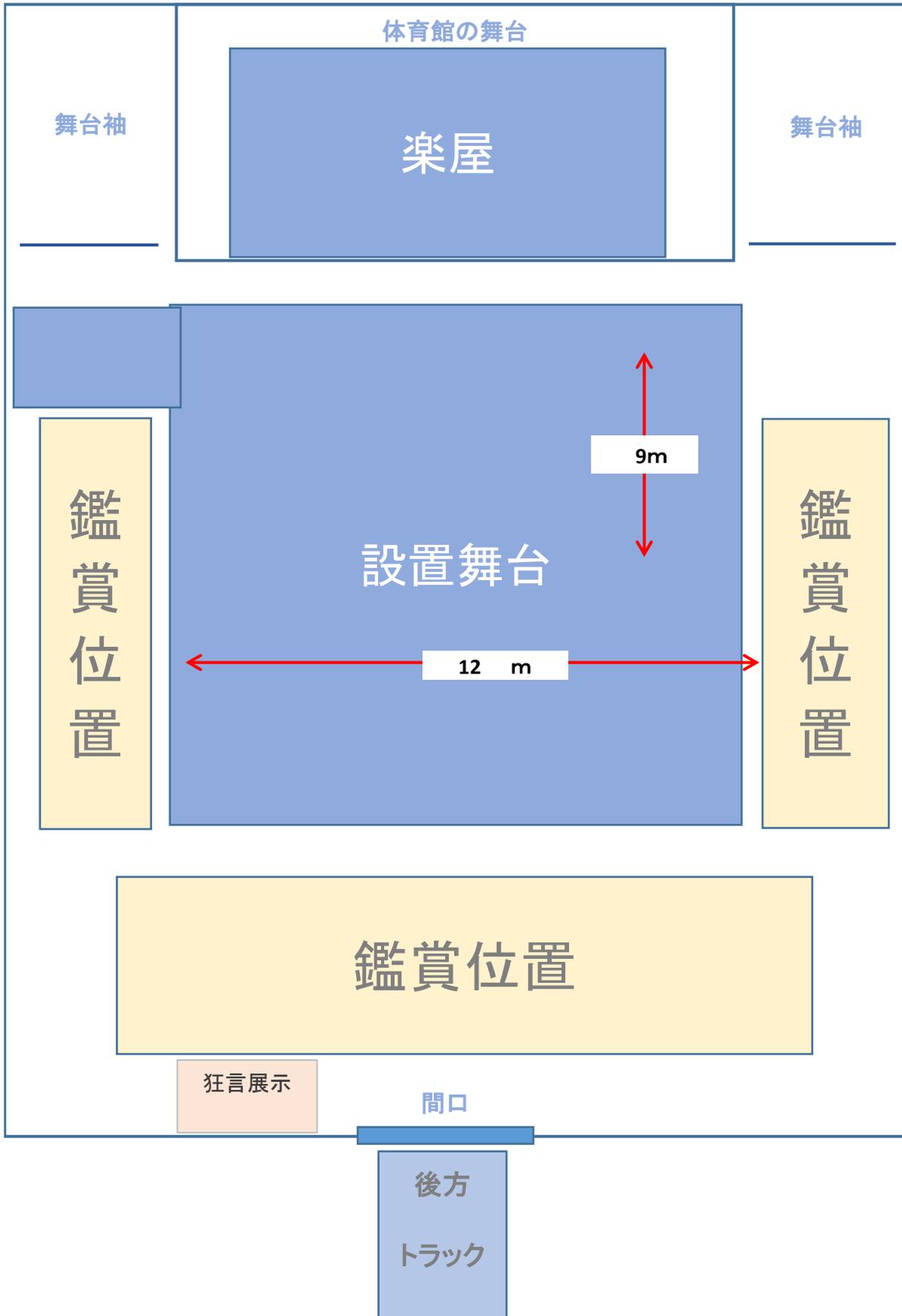
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D44	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人 三宅狂言会				制作団体名	株式会社 伝統芸能オフィス			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	—	必要数 *	不要	条件	—				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			ロングバン 1台	乗用車 3台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			ハイエースロング				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内				
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				
	—	理由							
	—	設置階の制限 *			問わない				
可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m			
WSについて	可	参加可能人数			12名+先生1名(クラス単位、学年単位もご相談ください)				
	可	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度				
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			700名ほど				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12	奥行	9	高さ	—
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		下手側		
	可	遮光(暗幕等)の要否 *		緞帳 *	要		バトン *	不要	
	—			理由					
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面に御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			30A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								
午前公演の場合は前日仕込みあり。									

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, ○邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

○A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

○あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 ○(2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしがいしや あーと・めであ・おふいす		
制作団体名	株式会社アート・メディア・オフィス		
代表者職・氏名	代表取締役 下田文之		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 6-4-13-201 (小田急線成城学園前駅下車バス3分東京都市大学附属小学校前より徒歩5分)		
電話番号	03-6411-8113	FAX番号	045-461-9485
ふりがな	ほうかくぐるーぶ たまたまこ		
公演団体名	邦楽グループ「玉手箱」		
代表者職・氏名	代表 清野さおり		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒266-0034 千葉県千葉市緑区おゆみ野有吉 6-11 (京成線学園前駅徒歩10分)		
制作団体 設立年月	平成元年 4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役下田文之 取締役三木麻琴 取締役下田文子 監査役下田悦夫	オペラ歌手約30名楽器奏者約20名スタッフ約5名マネジメント 演奏団体11団体。邦楽グループ玉手箱は、国際的な活躍で知られた現代邦楽奏者の故高田和子氏が東京芸術大学出身の若手を集め平成14年より当社にて学校公演を実施。	
事務体制の担当	○専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	長嶺尋深
経理処理等の 監査担当の有無	○有 ・ 無	経理責任者名	長嶺尋深

制作団体沿革	<p>平成元年株式会社設立。同時に劇団ミュージカルプラザ設立。平成4年コンサート部門として東京こども音楽館設立。</p> <p>年間約100～130校の学校芸術鑑賞会を実施。</p> <p>特色としては、専門的教育機関を修了した演奏者をキャスティングし、クラシック音楽を基礎とした音楽性の高い、児童・青少年向けのオペラ・ミュージカル・コンサートを制作し、各ジャンルの演奏団体の子ども向けコンサートのマネージメントも多数手がけている。</p>		
学校等における公演実績	<p>全国の小・中学校・高校の芸術鑑賞教室、教育委員会・会館ホールの自主事業など多数。</p> <p>米沢市教育委員会、高山市教育委員会、富山県新湊市文化振興財団、福井県文化振興財団などの主催で、小中学生を対象に実施。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>文化庁巡回事業において、各地の特別支援学校にて公演実施。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	○有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	○有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVDを提出します。
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

対象	○小学生(○低学年・○中学年・○高学年) ・ ○中学生		
企画名	魅惑の和楽器体験「邦楽入門コンサート」		
本公演演目	「日本の音をもとめて」～古典から現代への伝統 1.六段調 2.鹿の遠音 3.琵琶 4.春の海 5.雪ものがたり～朗読入り～ ※または「海鳴り」 6.バロック風「日本の四季より」 ※または「ワールド・トリップ！」 7.合同演奏さくら～みんなで合奏してみよう		
原作/作曲 脚本 演出/振付	公演時間(90分)		
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>1.「六段調」は江戸時代の箏曲の祖、八橋検校の曲です。箏・三味線・尺八の合奏で三曲合奏と呼ばれています。</p> <p>2.「鹿の遠音」は古くから伝わる尺八本曲の名曲です。秋の山に鳴き交わす、二頭の鹿の様子を描写したものです。</p> <p>3.琵琶の独奏は「平家物語」で有名な祇園精舎の弾き語りです。</p> <p>4.「春の海」は近代箏曲家で十七絃考案者の宮城道雄の作曲です。お正月に必ず流れてくる曲です。</p> <p>5.「雪ものがたり」は現代作曲家の沢井忠夫の曲で、女優岸田今日子が脚色した朗読が入る音楽物語です。 ※または「海鳴り」は石井由希子作曲で、三絃と十七絃の二重奏です。</p> <p>6. バロック風「日本の四季より」～早川正昭作曲 季節の曲を選択して演奏します。 ※または「ワールド・トリップ！」は世界各地の有名な民謡等を演奏します。</p>		
演目選択理由	<p>1.「六段調」2.「鹿の遠音」3.「琵琶」4.「春の海」は音楽の教科書にも載っている大変有名な曲です。実際に生演奏で聞くことにより、和楽器を身近なものとして感じて頂きます。5.「雪ものがたり」は、和楽器の合奏の響きと、美しい日本語との調和を楽しんで頂きたいと思います。または「海鳴り」は、穏やかな海・荒々しい海、始終変化する海鳴りを高音の三絃と低音の十七絃で表現しています</p> <p>6. バロック風「日本の四季より」は子供が知っている日本の歌をヒントに、ヴィヴァルディ・バッハなどの大作曲家の作品をパロディにした部分もあり、楽しく作曲されていて、バロック音楽を聞いたことがない人でも、親しみやすいメロディで自然に楽しめる、流動感ある曲です。または「ワールド・トリップ！」はどこかで聞いた事のある有名な曲で世界各地を巡ります。</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>児童・生徒演奏体験用の楽器を当方で持ち込みます。ワークショップ時に欠席等で参加できなかった児童生徒さんにも、可能な限り楽器体験の時間を設けます。体育館ステージまたはフロアに舞台と客席という空間を創り鑑賞して頂きます。一曲ごとに解説やお話しを入れることで、曲にも親しみやすく演奏者を身近に感じて頂けると思います。公演前には、事前に決定した代表児童生徒さんのステージ練習を行います。本番で出演者と一緒に演奏するための流れ等を確認します。</p>		
出演者	<p>清野 さおり(箏・三絃・十七絃) 清野 樹盟(尺八) 田中奈央一(箏・三絃・十七絃) 長須 与佳(琵琶・尺八) 谷井琴子(箏・三絃) 小間夕起子(箏・三絃・十七絃) 山本啓代(箏・三絃・十七絃) 馬場千年(箏) 清野香菜子(箏) ※東京芸術大学音楽学部邦楽科卒中心のメンバー</p>		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 5名 スタッフ: 3～4名 合計: 8～9名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 2t 車長 6m 台数 2台</p>

【公演団体名 邦楽グループ「玉手箱」】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。						
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有・○無) 会場設営の所要時間(2時間程度)						
	到着	仕込み	代表児童生徒との合わせ	本公演(午後希望の場合)	内休憩	撤去	退出
	11時	11時~1時	1時~1時20分	1時40分~3時10分	10分	4時10分頃迄	4時30分
	到着	仕込み	代表児童生徒との合わせ	本公演(午前希望の場合)	内休憩	撤去	退出
8時	8時~10時	10時~10時20分	10時40分~12時10分	10分	1時20分頃迄	1時30分	
※やむをえず午前公演になってしまう場合には下のスケジュールにて進めさせていただきます。							
児童・生徒 の参加可能人数	ワークショップ	1学年程度(小規模校の場合は全校生の対応可能)					
	本公演	全校生(小規模校~1000人規模まで対応可能)					
ワークショップ 実施形態 及び内容	<p>① ワークショップでは、箏20面・三絃10丁・尺八20管・その他備品(琴爪・三絃用バチ・譜面台など)を持ち込みます。参加児童生徒さん全員が3種類の楽器全て体験することができます。</p> <p>② ワークショップ用の教材資料・楽譜・準備物が記載された資料を、実施1カ月前程度に学校に送付致します。当日、参加児童生徒さんに配布をお願い致します。(事前指導の必要はありません。)</p> <p>③ 児童生徒さんの箏爪のサイズ合わせ時や移動時には、スムーズに指導ができるよう先生方にもお手伝いをお願い致します。</p> <p>④ ワークショップ後に、本公演での「さくら演奏」の参加希望者を10人決定します。(児童数の多い学校で、希望の多い場合は「さくら演奏」2回実施可)</p> <p>⑤ ワークショップ参加希望の人数が多数の場合は、臨機応変に対応致します。</p>						
ワークショップ 実施形態の意図	児童生徒さん体験用の楽器(箏・三絃・尺八)を持ち込みます。初めて和楽器に触れ、楽譜を見る児童生徒さんが多いと思います。ワークショップで学習することにより、気持ちを合わせることの大切さや合奏することの喜び、そして日本の楽器の音色や奥深さを感じて頂きたいと思います。						
特別支援学校で の実施における 工夫点	内容的には、ほぼ変更なく予定しておりますが、児童・生徒さん一人一人に合わせ、体験出来る方法を変えて実施しています。正座・椅子・車椅子・マットの上(寝たまま)等、学校からのご要望がありましたら、一緒に歌えるような馴染みのある曲目等も取り入れ公演時間の調整などにも応じます。						
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。						

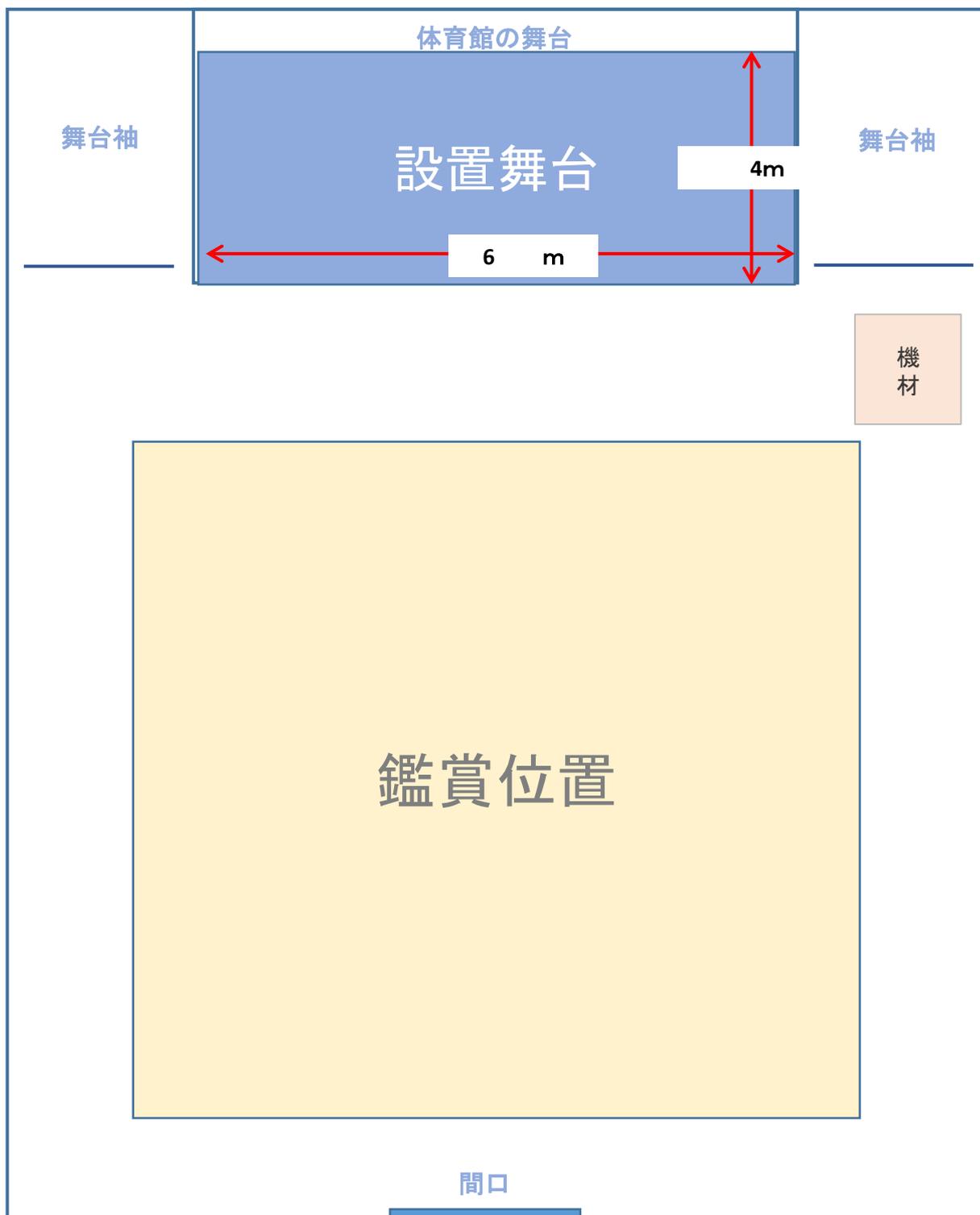
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D45	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	邦楽グループ「玉手箱」				制作団体名	株式会社 アート・メディア・オフィス			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等											
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男性、女性の着替え用です。								
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	2台	乗用車	1台					
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			ハイエースワゴン								
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要								
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない								
	可	搬入経路の最低条件			出来る限り屋根のある経路が望ましい。								
	—	理由			楽器、機材が濡れないため。								
	—	設置階の制限 *			問わない								
—	搬入間口について 単位:メートル		幅	おおよそ2m	高さ	おおよそ2m							
WSIについて	—	参加可能人数			問わない								
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし						
	—	所要時間の目安 単位:分			問わない								
本公演について	—	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。								
	—	鑑賞可能人数			問わない								
	—	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能								
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	6m	奥行	4m	高さ	問わない				
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要					
	不可				舞台袖スペースの条件 *			袖に荷物が無い状態で掃除をお願いします。					
	—				緞帳 *	不要		バトン *	不要				
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由							
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。							
	—			ピアノの事前調律 *		不要							
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可							
	—	公演に必要な電源容量			※主幹電源の必要容量								
その他特記事項													

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	おおよそ2m	高さ	おおよそ2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

魅力の和楽器体験

ほう がく にゅうもん 邦楽入門コンサート

～日本の音をもとめて・古典から現代への伝統～



古いものの中に、新しいものがいっぱいあります。

●「玉手箱」と合奏する体験コンサート●

●プログラム曲の例●

●六段調 ろくだんのしらべ

江戸時代の箏曲の祖、八橋検校の作曲です。

箏、三味線、尺八の合奏で、三曲合奏と呼ばれています。

●鹿の遠音 しかのおね 尺八独奏

教科書に掲載されている古典名曲。秋の山に鳴き交わす二頭の鹿の様子をあらわしています。

琵琶(びわ)の独奏 平家物語より「祇園精舎」
初めて見る聴く日本の和楽器「琵琶」の弾き語り。

●春の海 はるのうみ 箏と尺八の二重奏

近代箏曲家で十七絃の考案者で有名な宮城道雄の作曲です。
お正月にはかならずきこえてくるお馴染みの曲。

●雪ものがたり 箏 十七絃 尺八 語り

現代作曲家の沢井忠夫の曲。東北の民話を邦楽合奏の伴奏で朗読する「音楽ものがたり」。

●みんなで合奏してみよう

ワークショップで学習した曲を玉手箱とステージで合奏。

●日本の四季

春が来た 我は海の子 村祭り 雪やこんこん

■曲の間に楽器解説、曲目解説が入ります。

■曲目、曲順、の一部が変更することがあります。

■楽器編成 箏 2 十七絃 尺八 琵琶

▼みんなで合わせ練習



▼こむそう



▼花束贈呈



●全国、北海道から九州まで7ブロックで巡回公演を実施。分かりやすくてたのしいと好評。

●はじめて和楽器を「みる」「きく」「えんそうする」はもちろのこと、日本の伝統音楽のすばらしさ、楽しさを感じとってもらいます。

●日本のむかしの音楽をいまの子供たちにつたえ、「玉手箱」との和楽器合奏も楽しんでもらえる体験コンサートです。



▲箏、十七絃の解説



▲三絃、三味線とバチの解説



▲公演前のお稽古



▲子供と先生と近所の方と合同演奏

●邦楽グループ「玉手箱」●

国際的な活躍で知られた邦楽奏者高田和子氏が、東京芸大出身者の若手演奏家を中心に集めて、あたらしい日本の邦楽を日本の子供たちに、世界に広めようと結成されました。

●出演者●

清野さおり(箏・十三絃) 田中奈央一(三絃) 長須与佳(琵琶・語り) 千葉真佐輝(三絃) 池上亜佐佳(三絃・十七絃) 清野樹盟(尺八) 青木由貴(尺八) 石井琴子(箏、三絃) 清野香菜子(箏・三絃)

※都合により変更することがあります。

■企画制作 ■株式会社アート・メディア・オフィス

VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ ・ A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり ・ なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かぶしきがいしゃ ぶようしゅうだんきくのかい		
制作団体名	株式会社 舞踊集団菊の会		
代表者職・氏名	代表・畑 聡		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-21-23 (西武新宿線「新井薬師前駅」下車徒歩8分)		
電話番号	03-5983-6001	FAX番号	03-5983-6002
ふりがな	ぶしょうしゅうだん きくのかい		
公演団体名	舞踊集団 菊の会		
代表者職・氏名	代表・畑 聡		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒161-0031 東京都新宿区西落合 2-21-23 (西武新宿線「新井薬師前駅」下車徒歩7分)		
制作団体 設立年月	1972年 4月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 畑 聡 取締役 鶴岡泰重 取締役 飯田栄志 取締役 畑久美子	1、団体構成員数 中央本部・事務局 6名 団員 30名 準団員 20名 各教室責任者 23名 師範・担当講師 14名 各地教室役員 45名 助師 10名 教室生徒 180名 2、主な構成員 演出・振付 畑 聡 舞踊手:畑 聡、鶴岡泰重、宮沢りか、青木有子、葛西輝子ほか 3、加入条件 : 幼少時より菊の会に入会し修練を続けてきた者	
事務体制の担当	専任 ・ 他の業務と兼任	本事業担当者名	中山 順子
経理処理等の 監査担当の有無	有 ・ 無	経理責任者名	大川 慶子

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 株式会社 舞踊集団菊の会】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生		
企画名	民俗芸能の魅力に迫る		
本公演演目 原作／作曲 脚 本 演出／振付	<p>①さなぶり荒馬(青森県)</p> <p>②鹿躍(岩手県)</p> <p>[ワークショップⅠ] 装束を実際に触ってみる 今 舞台をつとめた鹿躍の扮装を外しながら、頭(かしら)や太鼓を代表の生徒さんにつけて演者と一緒に簡単な振りを踊ってみて実際の重量感を体験して頂きます。</p> <p>③鬼剣舞“一人加護”(岩手県)</p> <p>④百姓おどり(岩手県)</p> <p>⑤飾山囃子(秋田県)</p> <p>⑥傘おどり(鳥取県)</p> <p>⑦銭太鼓(島根県)</p> <p>[ワークショップⅡ] 日本の楽器の音色を体感 日本の伝統的な楽器を紹介。(三味線・太鼓・締め太鼓・笛・鉦)</p> <p>⑧阿波踊り(徳島県)</p> <p>⑨八木節(群馬県) 代表の生徒さんも参加して一緒に踊ります。</p>		
			公演時間(80 分)
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる (制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>全曲、生演奏により 日本各地に伝わる民俗芸能の持つ魅力に迫ります。</p> <p>①さなぶり荒馬(青森県) 田植え後に、豊作や害虫駆除を祈願して奉納した口承芸能。 馬の他、獅子や猿も登場して賑やかな囃子で、客席後方から生徒の中を通過して舞台まで楽しく入場します。</p> <p>②鹿躍(岩手県) 長い腰指(ささら)を背負い、腰に付けた太鼓を激しく打ち鳴らし 念仏調の踊り歌を自ら唄いながら勇壮に舞うダイナミックな芸能です。</p>		

【ワークショップⅠ】

今 舞台をつとめた鹿躍の扮装を外していき、装束や道具の解説をしながら頭(かしら)や太鼓を代表の生徒さんにつけてもらい演者と一緒に簡単な振りを踊ってみて実際の重量感を体験して頂きます。

③鬼剣舞 “一人加護” (岩手県)

鬼面(仏の化身)を付け、刀と扇子を扱いながら勇壮に踊ります。
鬼剣舞の数ある演目の中でも “一番庭” “八人加護” と共に剣舞を代表する演目です。

④百姓おどり(岩手県)

五穀豊穡を祈願し奉納されてきた踊りで、一年間のお米作りの中で伝統的な作業の様子をコミカルに踊ります。
鍬、鎌などの小道具の他、うずまき傘を脱穀機に見立てるなどして楽しい踊りからお米作りに興味を持って頂ける一曲です。

⑤飾山囃子(秋田県)

飾山という人形などを飾った山車の上で演じられてきた芸能で、秋田の祭礼に娘たちが華やかに踊ります。

⑥傘おどり(鳥取県)

昔、雨乞いの為に踊られたのが始まりとされるこの踊りは、鈴と色紙で飾った傘を廻しつつ、元唄 “貝殻節” にのせて踊ります。

⑦銭太鼓(島根県)

竹の筒の中に古銭を入れて、両端にふさを付けた楽器を打ち振って文化文政の頃(1804～29)から盛んに唄われてきたと言われる “隠岐相撲取節” にのせてリズムカルに踊ります。

【ワークショップⅡ】 日本の楽器の音色を体感

日本の伝統的な楽器を紹介。(三味線・太鼓・締め太鼓・笛・鉦)

⑧阿波踊り(徳島県)

築城の祝いに城主が、武士も町民も隔てなく踊らせたのが始まりとも言われています。日本三大盆踊りの一つです。

⑨八木節(群馬県)

〈代表の生徒さんによる八木節披露〉

ワークショップで練習した八木節、手踊り・すげ笠踊りを披露。

〈菊の会フィナーレ〉

提灯、すげ笠、花笠、唐傘 等を扱いながら活気のある囃子と唄で明るく賑やかに踊ります。

演目選択理由

生演奏による臨場感に加えて、演目ごとの特色あるリズム感、情緒感、趣の異なる扮装や 手にする道具等、
視覚・聴覚に直接訴える迫力と 古来から受け継がれ、込められてきた「願い」「思い」そして「祈り」を間近で体感してもらいます。
日本各地の民俗芸能に触れることにより、自分たちの地域の民俗芸能にも興味を持つ良いきっかけになることを願い、選択しました。

児童・生徒の共演，参加又は体験の形態	演者の指導のもと、一緒に踊る。 楽器のリズムを一緒に打つ 手拍子、かけ声等で参加する		
出演者	舞踊集団菊の会		
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 15名 スタッフ: 3名 合計: 18名	機材等 運搬方法	積載量 2 t 車長 6 m 台数 2 台

【公演団体名 舞踊集団菊の会】

公演に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要 時間(タイムスケ ジュール)の目 安	前日仕込み(有 無) 会場設営の所要時間(時間程度)					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9 時	9 時～10 時 30 分	13 時 30 分～15 時	10 分	15 時～ 16 時 30 分	16 時 30 分
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。						
児 童 ・ 生 徒 の参加可能人数	ワークショップ	～800 人				
	本公演	～800 人				
ワークショップ 実 施 形 態 及 び 内 容	<p>民謡を踊って 日本のリズムを体感しよう！！ 2 時限分の授業時間を使って行います。</p> <p>1 時限目 全校生を対象 2 時限目 代表者 又は 代表クラスを対象に 「郡上節」「八木節」と比較的緩やかなテンポで覚えやすい踊りから始め、 少しずつリズムも早くなり楽しみながら踊ってゆきます。</p> <p>《1 時限目》 全校生 対象 ①【民謡を踊ってみよう！！】 日本三大盆踊りの一つ「郡上節」を踊ります。 人数によっては、体育館中央にやぐらがあるような感じで全体に輪おどりを体験。</p> <p>②【民謡のリズムを楽しもう！！】 学年別やクラス別等に分かれて、民謡のリズムを手拍子や体を動かして掛け合います。</p> <p>③【掛け声をかけよう！！】 特徴ある民謡の掛け声をかけてみます。 ・「八木節」 ㄱ ヤンチキドッコイショー そして最後は、掛け声をかけながら踊ります。</p> <p>《2 時限目》 代表生徒 もしくは 代表クラス 対象 本公演で踊って頂く「八木節」の一部分を練習します。</p> <p>少人数に分かれて少しずつ簡単な振りを覚えてもらい、出来たところで 指導者と一緒に音楽をかけて踊ります。 最後は生徒さん達だけでやってみます。</p> <p>※手順を書いた資料と DVD を本番までの練習用としてお預けします。</p>					

ワークショップ 実施形態の意図	実際に声に出して掛け声をしたり、その曲のリズムを手拍子したり、 更には身体を動かし踊ってみることで日本の伝統芸能のリズム感到触れ、 その中から本公演の鑑賞の事前指導につなげ解説を行います。
特別支援学校で の実施における 工夫点	生徒さんに合わせて、声だけ、手だけ、足だけで行う事や、 そのリズムを手拍子や足拍子、又は楽器を使って一緒に行います。
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。

舞踊集団菊の会／学校公演メンバー一覧表

畑	聡	(尾上菊乃里)	全国舞踊コンクール第1位 文部科学大臣賞・東京都知事賞
鶴岡	泰重	(尾上菊乃重)	全国舞踊コンクール第1位 文部科学大臣賞・東京都知事賞
枝木	茂	(尾上 菊寅)	全国舞踊コンクール第2位
竹田	秀晴	(尾上 菊竹)	全国舞踊コンクール第1位 文部科学大臣賞・東京都知事賞
飯田	栄志		全国舞踊コンクール第1位 文部科学大臣賞・東京都知事賞
武井	則男		全国舞踊コンクール第1位 文部科学大臣賞・東京都知事賞
青田	義則		全国舞踊コンクール第2位
中村	輝幸		全国舞踊コンクール第2位
中村	英俊		全国舞踊コンクール第2位
池原	和樹		全国舞踊コンクール第1位
宮沢	りか		全国舞踊コンクール第3位
青木	有子		全国舞踊コンクール第3位
葛西	輝子		全国舞踊コンクール第3位
永島	弘子		全国舞踊コンクール第1位 文部科学大臣賞・東京都知事賞
山沢	優子		全国舞踊コンクール第1位 文部科学大臣賞・東京都知事賞
安江小百合			
大川	慶子		
関口	裕子		
中山	順子		
工藤華奈子			
伊藤	英子		
喜多村	英子		
吉岡	諒真		
牧野	蓮		

上記メンバーより 15名選抜

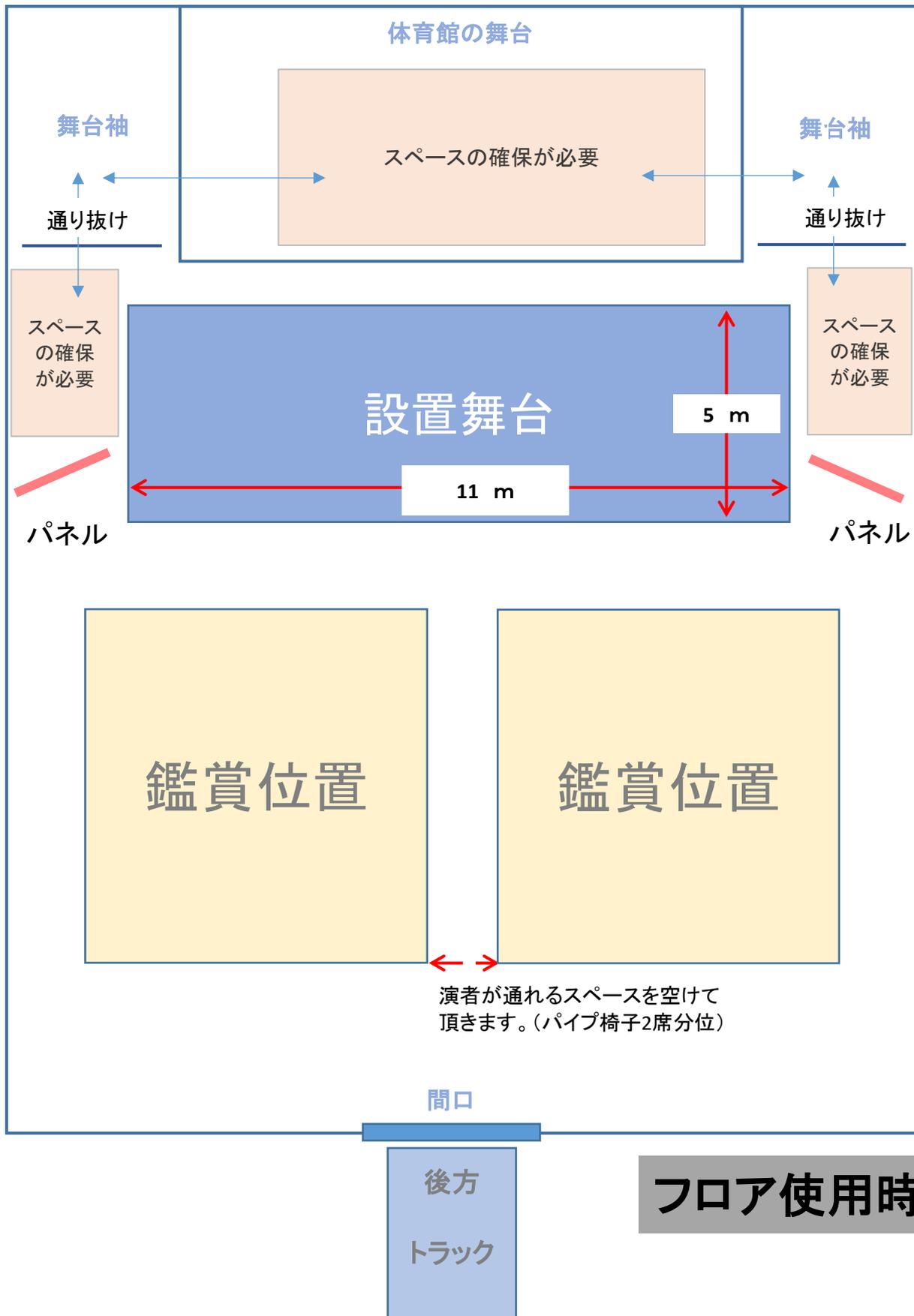
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D46	分野	伝統芸能	種目	邦舞	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	舞踊集団菊の会				制作団体名	株式会社舞踊集団菊の会			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	男性、女性の着替えや支度があるためカーテンがある部屋が希望です。				
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			2tトラック 2台	大型バス 1台			
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2tトラック (220×636×318cm)				
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要				
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内				
	可	搬入経路の最低条件			<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。 				
		理由			舞台大道具、小道具、衣裳を搬入するため				
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m	高さ	2m		
WSIについて	可	参加可能人数			～1000名まで				
	可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	中学年		
	可	所要時間の目安 単位:分			90分程度(1時限目は全校生徒、2時限目は指定学年(1学年)の生徒のみで行います。)				
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			～1000名まで				
	可	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方				
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	11m	奥行	5m	高さ	指定なし
	可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		要		
	可				舞台袖スペースの条件 *		袖に荷物が無い状態		
	—				緞帳 *	不要	バトン *	不要	
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			
	不可			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	可	公演に必要な電源容量			30A以上		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	2m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	5m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

《舞踊集団菊の会 プロフィール》

- 1972年 尾上菊乃里こと故郷時代によって設立。(六代自尾上菊五郎の劇流した尾上流で、二代自家元初代尾上菊之丞に薫陶を受けた。)
- 1976年 文化庁芸術祭において優秀賞受賞。「カッチャ行かぬかこの道を」これまで民俗芸能をモチーフにした舞踊劇を数多く創作。「藍の女」「にほん大通りの「阿国かぶる」「追分の女」他)
- 1986年 外務大臣より表彰を受ける。(この前年、中近東5ヶ国を訪問)
※(現在までに世界延べ65ヶ国 107都市で外務省事業・文化庁事業等での海外公演を行っています。)
- 1988年 熊澤明監督の作品映画「夢」の振付を郷土代が担当、劇員が出演。
- 1993年 第14回松尾芸能賞舞踊特別賞受賞。
- 1997年 東京新聞社主催の全国舞踊コンクール舞楽部門で10年に亘り上位(1位2位3位)入賞。(平成9.10.11.12.13.14.15.16.17.19.30年度)
- 2014年 小泉堯史監督作品「蛸ノ記」の振付を郷土代が担当、劇員が出演。
- 2016年 ヘルレ共和国に菊の会舞踊教室を開校。
(首都圏・京都の23教室で舞踊教室を続けている)

本公演実施日 【日付】	都道府県 政令指定都市	市区 町村名	実施予定校	実施校以外の地元主催者
2019年6月18日	水 東京都	新宿区	新宿区立西新宿小学校	東京都、新宿区
2019年6月19日	火 茨城県	行方市	行方市立麻生小学校	茨城県教育委員会
2019年6月20日	木 茨城県	神栖市	神栖市立深芝小学校	茨城県教育委員会・神栖市教育委員会
2019年6月21日	金 茨城県	鹿嶋市	鹿嶋市立高松小学校	茨城県教育委員会
2019年6月24日	月 東京都	練馬区	練馬区立向山小学校	東京都、練馬区
2019年6月25日	火 東京都	杉並区	杉並区立高井戸小学校	東京都、杉並区
2019年6月26日	水 千葉県	流山市	流山市立睦々小学校	千葉県教育委員会
2019年6月27日	木 千葉県	千葉市	千葉市立徳迎小学校	千葉県教育委員会
2019年6月28日	金 東京都	葛飾区	葛飾区立沓江小学校	東京都、葛飾区
2019年7月2日	火 千葉県	千葉市	千葉市立稲丘小学校	千葉県教育委員会
2019年12月2日	月 千葉県	佐倉市	佐倉市立佐倉東小学校	千葉県教育委員会
2019年12月4日	水 千葉県	松戸市	松戸市立新松戸小学校	千葉県教育委員会 / 松戸市教育委員会
2019年12月10日	火 東京都	日野市	日野市立日野第三小学校	東京都、日野市

♪ 知ってますか? ~10月1日は「国際音楽の日」です♪

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



ふようしゅうだん きく かい
舞踊集団 菊の会
〒161-0031
東京都新宿区西落合 2-21-23
TEL 03-5983-6001 FAX 03-5983-6002
ホームページ: <http://www.kikunokai.co.jp>
E-mail: info@kikunokai.co.jp

れいわがんねんど
令和元年度

ぶんかげいじゅつ こどもいきせいそうごう じぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -



《舞踊集団 菊の会 民俗芸能の魅力に迫る》



ぶんかげいじゅつ こどもいきせいそうごう じぎょう じゅんかいこうえんじぎょう
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。
また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

舞踊集団 菊の会 民俗芸能の魅力に迫る

生演奏による臨場感に加えて、演目ごとの特色あるリズム感、情緒感、運の異なる衣装や手にする道具等、視覚・聴覚に直接訴える迫力と古来から受け継がれ、込められてきた「願い」「思い」そして「祈り」を身近で体感してもらいます。日本各地の民俗芸能に触れることにより、自分たちの地元の民俗芸能にも興味を持つ良いきっかけになることを願い、道曲しました。



「さなぶり荒馬」(青森県)

田植え後に、豊作を祈願して奉納した芸能。馬の他、獅子や猿も登場して賑やかな囃子で、客席後方から生徒の中を這って舞台まで楽し入場します。

「鹿躍」(岩手県)

長いササを背負い、腰に付けた太鼓を激しく打ち鳴らし急広間の踊り唄を自ら唄いながら勇壮に舞うダイナミックな芸能です。

ワークショップI

「装束をさわってみよう」

今舞台をつとめた鹿躍の衣装を外していき、装束や道具の解説をしながら頭や太鼓を代表の生徒さんにつけてもらい演者と一緒にも簡単な振りや踊りを踊ってみて実際の重さや動きを体験して頂きます。



「鬼剣舞“一人加護”」(岩手県)

鬼面(仏の化身)を付け、刀と扇を扱いながら勇壮に踊ります。鬼剣舞の数ある演目の中でも“一番盛”“八人加護”と共に剣舞を代表する演目です。



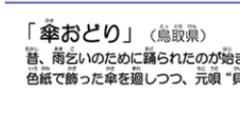
「百姓おどり」(岩手県)

五穀豊穡を祈願し奉納されてきた踊りで、一年間のお米作りの中で鎌や鎌を使って伝統的な農作業の様子をコミカルに踊ります。



「節山囃子」(秋田県)

節山という人形などを飾った山車の上で演じられてきた芸能で、秋田の祭りに娘たちが華やかに踊ります。



「傘おどり」(鳥取県)

昔、雨乞いのために踊られたのが始まりとされるこの踊りは、鈴と色紙で飾った傘を廻しつつ、元唄“貝殿節”にのせて踊ります。



「銭太鼓」(鳥取県)

かつては竹の筒の中に古銭を入れて、両端にふさを付けたリズム楽器の銭太鼓を打ち振って“聴岐相撲取節”にのせてリズムカルに踊ります。

ワークショップII

「日本の楽器の音色を体験」

日本の伝統的な楽器を紹介。(三味線・太鼓・締め太鼓・笛・箏)



「阿波踊り」(徳島県)

築城の祝いに城主が、武士も町民も踊ってなく踊らせたのが始まりとも言われています。日本三大盆踊りの一つです。

「八木節」(群馬県)

提灯、菘豆、花豆、唐草等を扱いながら活気のある囃子と唄で明るく賑やかに踊ります。

＜代表の生徒さんも踊ります。＞



VI 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【音楽】	合唱, オーケストラ等, 音楽劇
【演劇】	児童劇, 演劇, ミュージカル
【舞踊】	バレエ, 現代舞踊
【伝統芸能】	歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ

A区分とB区分の両方 ・ C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり

なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな	かんじやま・まいむ		
制作団体名	カンジヤマ・マイム		
代表者職・氏名	代表 藤倉 健雄		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒186-0001 東京都国立市北 2-27-15 (JR 国立駅)		
電話番号	042-505-7074	FAX番号	042-505-7074
ふりがな	かんじやま・まいむ		
公演団体名	カンジヤマ・マイム		
代表者職・氏名	代表 藤倉 健雄		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒186-0001 東京都国立市北 2-27-15 (JR 国立駅)		
制作団体 設立年月	1985年 8月		
制作団体 組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表 藤倉 健雄	正規団員 当団体の活動をその個人の主たる仕事として従事する団員 準団員 その個人の専門分野を当団体で活かし、当団体の目的達成のために従事する個人	
事務体制の担当	専任 他業務と兼任	本事業担当者名	村上ゆみ
経理処理等の 監査担当の有無	有 無	経理責任者名	藤倉健雄、豊田吉男(会計士)

制作団体沿革	<p>1985年、アメリカマイムの巨匠、トニー・モンタナロ氏に長年師事した藤倉健雄がアメリカ、メイン州にて結成したマイムの精鋭グループ。代表、藤倉健雄（米国ウィスコンシン大学 Ph.D、教育演劇学博士、現早稲田大学および上智大学国際教養学部講師）の掲げる「演劇的アプローチの教育的応用」をその使命とし、長い実践歴と理論的な裏付けを土台に、学校公演、文化会館主催事業、演芸場、研究、著作活動、NHK 教育テレビ振付け、講演会、指導など幅広く行っている。また同時に応用マイムによる子どもの表現教育の研究、推進活動も精力的に行っている。</p> <p>最近の大学特別講義歴：東京大学大学院、早稲田大学大学院、東京学芸大学、明治大学、立教大学、関西大学、専修大学、桐蔭横浜大学、他</p>		
学校等における公演実績	<p>★1990年～「カンジヤマ・マイムバラエティショー」発表。全国の学校、および子ども劇場親子劇場を中心に年間約140ステージ公演。</p> <p>★1993年～「黙れ！パントマイム」発表。学校および文化会館などを中心に年間約130ステージ公演。～2001年まで</p> <p>★1996年～「俳句マイム：僕の細道」発表。文化会館、高校、その他ジャンジャンなどの小劇場を中心に公演（年間約30ステージ）</p> <p>★1998年～「心の動話」発表、上記3プログラムと共に全国の学校で公演。</p> <p>★2001～2006年、代表藤倉、ウィスコンシン大学院にて教育演劇学研究、その間、マディソン周辺の小学校を公演し、演劇教育プログラムの実験と検証を繰り返す。</p> <p>★2007年～現在 特別英語教育プログラム「えいごとマイムのバラエティ」にて全国の小中学校を公演（年間20ステージ前後）</p> <p>★2007年～現在「おしゃべりなパントマイム」にて全国の小中学校および高校を年間110校以上公演。尚、「おしゃべりなパントマイム」は同タイトルで年齢別特別編成プログラムとして多彩なレパートリーを持つ。</p>		
特別支援学校における公演実績	<p>特別支援学校の芸術鑑賞会、病院内支援学校など多数公演実績あり。</p> <p>主な場所；聖路加病院内特別支援学校、東大病院内こだま教室、東京都立駒込病院、沖縄小児発達センター、沖縄県立こども医療センター、信州大学医学部附属病院、その他、各地特別支援学校における当事業の巡回公演など。</p> <p>代表藤倉は在米中よりアメリカの聾啞団体などの要請をうけ、ワークショップや公演を行ってまいりました。</p>		
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
		※公開資料有の場合 URL	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:	
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
		※公開資料有の場合 URL	DVDをお送りします。
※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード		ID: PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

カンジヤマ・マイム

】

対象	小学生(低学年・中学年・高学年)・中学生			
企画名	おしゃべりなパントマイム			
本公演演目	演目 「おしゃべりなパントマイム」			
原作/作曲 脚本 演出/振付	脚本、演出、振付、藤倉健雄 (内容は小学生～中学生などの対象によって一部適応作品の変更可能)			
	公演時間(約1時間20分)			
著作権	制作団体が 所有	○	制作団体以外が所有する事 項が含まれる	○ (制作団体以外が所有す る事項が含まれる場合) 許諾の有無
演目概要	<p>普段日常生活において私たちが無意識に使っている人間の生身の身体には、実は驚異的な無限の可能性が秘められています。この様々な表現の可能性の具体例を、ウィットが満ちた話芸で面白おかしく紹介する事からこの舞台は始まります。昨今、自分の身体をあまり意識的に動かさなくなった子ども達の為に、まずは古典的なマイム技術を駆使しながら、人間の身体の潜在的な表現力に驚嘆してもらい、同時に自らの身体の可能性を再認識してもらいます。</p> <p>次に、対人関係や、物事に対する人の対応の面白さ、人間の優しさ、出会い、別れなどを、斬新なアイデアとユニークな人間観察を通じて、舞台上に表現し、人間の身体表現の奥深さを味わって頂きます。</p> <p>作品はそれぞれのテーマにそって5～15分程度のものをオムニバスで綴り、その間を話芸と身体マイム芸の紹介、子ども達参加型のコミュニケーションで有機的に繋がります。有機的とは、作品の前後に、その作品が子ども達の日常とどのように関連しているのか、あるいは、どんな所が見どころなのかを、落語の枕噺のように、しかも教育的メッセージを盛り込んだ楽しい話芸で紡いでゆきます。休憩なしで1時間20分をまったく飽きさせずに35年以上この作品群で公演活動してまいりました。(勿論、これら個々の作品群は常に改良され、新作も随時挿入し、その中で最も「現在」に有効な作品を選びすぎりながら進化し続けております)</p>			
演目選択理由	<p>本事業の大きな目的の一つに「発想力やコミュニケーション能力の育成を図る」という項目があります。これにはまず理屈ではなく、その発想方法、コミュニケーションの喜び、ワクワクする楽しさを子ども達に直接体感してもらおう事が非常に重要であると考えます。まず楽しいからやってみる、ワクワクするから自主的に学びたくなる、そんな動機付けができるのがカンジヤマ・マイムのこのプログラムです。</p> <p>常日頃、自分達の身体を殆ど動かさなくなってしまった子ども達。ゲームやスマホ、タブレットなどの機械の中のバーチャルリアリティーにしか楽しみを見いだせなくなっている若者。そんな彼らに、人間の一眼原始的に見える身体に埋もれた可能性を教えてあげたい。そしてその驚嘆の裏には必ず深い学びのチャンスが秘められていなくてはならない。こんな熱い思いから構成されているのがカンジヤマ・マイムの「おしゃべりなパントマイム」です。</p> <p>この舞台は代表、藤倉健雄(Ph.D 教育演劇学博士)の長年の実践経験による方法論に基づいて構成された珠玉の作品集です。従来の教育学に演劇的なアプローチを加えながら、子ども達が笑いながら、知らず知らずのうちに夢中になり、自然と学びを得られる舞台です。</p> <p>マイムは難解だというイメージを打ち破り、身近な人間が(白塗りなどのメイクを一切せずに、)洗練された話芸としっかりした古典マイムテクニックを駆使し、楽し</p>			

	<p>く身体表現の醍醐味を紹介してゆくという手法が今、日本全国の小中学校で感動を呼び起こしています。作品の前後には必ず一つ一つの作品に込められた熱い思いや、無意識に鑑賞が深まる話が表現されております。よってキャリア教育にも有効な内容で、学校から喜ばれています。演者の生きざまをしりつつ、その芸術の醍醐味を体感しながら鑑賞する、これがひいては子ども達＝将来の国民の芸術鑑賞能力の向上に大きく寄与する経験であると信じて疑いません。</p>		
<p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>	<p>できそうでできない。でもやっていて楽しいし、面白い・・・そんな驚異的なデモンストレーションを通じて、最初は客席で座りながらできる動きを作品と作品の間に皆さんで経験して頂き、後半の一つのコーナーでは実際に何人かの希望者をつとって舞台上で全身を使用したパントマイムのテクニックの醍醐味である、緊張と弛緩を体験してもらいます。実際に真剣にやると誰でもできる技に客席がどよめいて楽しみながら身体の可能性を学べます。そして身体でそれぞれの子どもたちの将来の夢を語ってもらいます。</p>		
<p>出演者</p>	<p>カンジヤマ・マイム A 君(藤倉健雄) -マイム歴 43 年。教育演劇学博士。日本の教育演劇に関する英文博士論文で、アメリカ教育演劇協会より最優秀論文賞を受賞。全国での舞台活動の他、NHK「おかあさんといっしょ」の身体表現コーナー「パント！」の振り付け等、テレビでも活躍。</p> <p>カンジヤマ・マイム B 君(渡邊ありさ) -幼少よりダンスを始め、映像、舞台上でダンサーとして長年活動。パントマイムをカンジヤマ A に師事し、2012 年より本メンバーとして活動。</p> <p>カンジヤマ・マイム C 君(佐々木諒) - 多摩美術大学大学院修了。パントマイムをガーマルチョコバとカンジヤマ A に師事し、俳優業と共にマイム研鑽を重ねる。</p> <p>カンジヤマ・マイム D 君(山口淳) - パントマイムをガーマルチョコバとカンジヤマ A に師事し、大道芸と舞台マイムの融合を目指してマイム研鑽中。</p> <p>(通常 A,B,C の 3 名が出演いたします)</p>		
<p>公演出演予定者数 (1公演あたり)</p>	<p>出演者: 3 名 <u>スタッフ: 3 名</u> 合計: 6 名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>積載量 1 t 車長 4.5 m 台数 1 台</p>

【公演団体名 カンジヤマ・マイム】

公演に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安	前日仕込み(有・ 無) 会場設営の所要時間(3 時間程度、但し二階以上の場合の搬入時間を含まない)					
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	120 名				
	本公演	500 名				
ワークショップ実施形態及び内容	<p>20 名程度 (最大 30 名) のグループに分かれ、教育演劇の基本的なアイスブレーキングから始まります。「ほぐし」の練習、身体のゲームです。簡単な動きの練習から始めて、子ども達のグループの経験、エネルギー、あるいは開放度をこの一連のゲームによって観察し、判断し、それに応じて臨機応変に対応してゆきます。</p> <p>教育演劇の基本である、三つのプロセス:「Imagine」「Enact」「Reflect」(想像し、実際にやってみて、そして振り返り、学びを深める)を段階的に経験しながら、身体と想像性のギャップを埋めつつ、身体的理解を深めてゆきます。一例として、「自分の創造力と想像力で身体性を味わうエチュード」を楽しみながら、いくつか実践してもらい、互いに見せ合います。例えば小学生の自らの大好きな場所(自分の隠れ家やら、部屋)を、最初は言葉と動きで他人を案内してゆくことにより、五感を使って想像したり、自分の感動体験を身体のタブロー(静止状態の人間彫刻)にし、それをスナップ写真のように見せるという方法を取りながら、徐々に動きに対する恐怖感を取り除きます。勿論、最初から動きそのものに入れる場合は、子ども達の即興技能に挑戦しながら、言葉の動的印象などを動きに変えてゆく劇遊びを行い、動きの飛躍を奨励します。常に参加者との対話を重んじながら柔軟に効果的に身体を動かす事の喜びを学んで頂くように指導してまいります。最終的には簡単な創造活動の結果をそれぞれグループ単位で吟味しあい、それらへの感想を共有します。Imagine, enact, and reflect「想像し、やってみて、そして振り返る」という基本的なプロセスの中で、子ども達全員が楽しみながら五感で学びを深めます。</p>					
ワークショップ実施形態の意図	上記の方法論は教育演劇を実践経験と学問畑と双方で学び、ウィスコンシン大学教育学部にて 5 年間に渡り「Drama in Education」という演劇学部と教育学部の学部生必修科目を担当、指導してきた代表 藤倉健雄(教育演劇学博士)の方法論です。上記指導クラスでは必ず小学生の実際の参加があり、その長年の経験上、直接動きから入ったほうが効果的な場合と、ある種の導入があった方が効果的な場合があるが故に上記の方法をとっております。まずは身体で表現することに慣れない子ども達の動きに対しての恐怖感、間違ったらどうしよう?という不安感					

	<p>を取り除く事から始めます。楽しさに適切な指導を加えれば最も効果的な「学び」が展開されます。パントマイムはこの目的に最も適した手段だと確信しております。</p>
<p>特別支援学校での実施における工夫点</p>	<p>今までに日本全国の様々な支援学校で行ってまいりましたが、それぞれに対処法が違うのでこのスペースで工夫点をすべて述べるのは不可能です。個々のケースの条件に合わせて導入の仕方が千差万別になります。例えばカンジヤマは長年、定期的に小児がん病棟などで、その特殊な状況で支援クラスの子ども達に舞台を見せ、指導してまいりました。この場合はとにかく、個々の症状を常に観察、推測、判断し続けることによって、時間、メソッドを逐一使い分けてまいります。身体が動かない場合は指先のマイム、そして顔の表情だけのマイムなど、それぞれに慎重に対応してまいります。その際、常に動く事、表現することへの恐怖感、不安を取り除くことが第一のプライオリティー（優先項目）となります。</p>
<p>実施可能時期</p>	<p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>

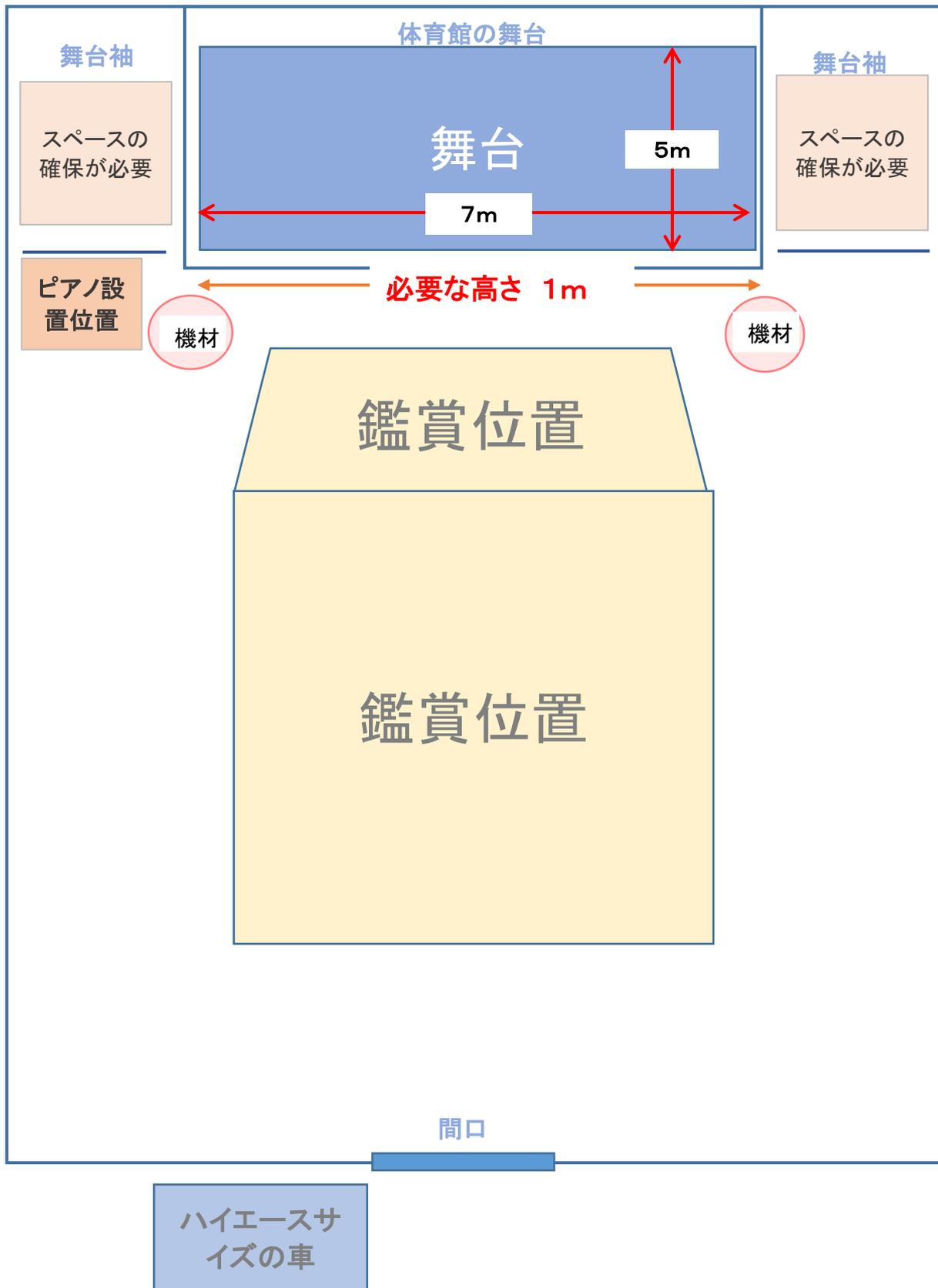
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	D47	分野	伝統芸能	種目	演芸	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	カンジャマ・マイム				制作団体名	カンジャマ・マイム			

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等										
控室について	可	必要数 *	2室	条件	なるべく体育館に近い部屋が有難いです。							
搬入について	不可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	1台						
	可	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			ハイエースサイズの車							
	可	搬入車両の横づけの要否 *			要							
	可	横づけができない場合の搬入可能距離 *			30m以内							
	可	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。・横づけできず距離がある場合、大人のお手伝いをお願いしたいです。・屋根のある経路が望ましい。							
		理由			照明機材、大型スピーカー、精密機器等搬入するため。							
	可	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可							
	可	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	2m					
WSIについて	可	参加可能人数			上限 120 名							
	—	学年の指定の有無 *			なし	指定学年 *	なし					
	可	所要時間の目安 単位:分			各回50分程度							
本公演について		会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)の目安をご参照ください。							
	可	鑑賞可能人数			500名程度							
	不可	舞台設置場所 *			体育館のステージ上							
	可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	7	奥行	5	高さ	1			
	不可	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *			要				
	可				舞台袖スペースの条件 *			特に上手にスペースが必要				
	可				緞帳 *	要		バトン *	要			
	可	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	照明効果の為。					
	可	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	要	※指定位置は会場設置図面に御確認ください。						
	—			ピアノの事前調律 *		不要						
	—	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可						
	可	公演に必要な電源容量			100A	※主幹電源の必要容量						
	その他特記事項											
可	パントマイムは、常に観客の皆さんが演者の足元まで見られることが必須条件です。その為、ステージの高さは非常に重要です。(1m必要)											

会場図面(表記単位:メートル)



搬入間口について	幅	1.8m	高さ	2m
搬入車両の横づけの要否	要			
横づけができない場合の搬入可能距離	30m以内			

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



全国の学校、会館で大反響!!

次々に展開される奇想天外な発想と
驚異的な身体表現がおりなす舞台。

「人間の体ってスゴイ!」

大爆笑と感動で味付けされた
本物の芸によるパントマイムショー!
マイムの切れ味がちがう!

おしゃべりな パントマイム

おしゃべりな パントマイム



表 現力10倍, 勇気100倍のショーを若者たちに!!

若者達、そして子供達の渾身の力は、**本当の驚き、感動を求めています。**
一つの芸をひたすら真剣に追い続けてきた人間にしか出来ない舞台が、
今ここにあります。

そしてこの**本物の芸が若者達に与える衝撃と感動は**
ものすごいものなのです。

人間の無限の可能性と創造性を、

テレビしか知らない若い世代に見せてあげたい。

そして、**自分たちの無限の可能性にも気づいてもらいたい。**

そんな熱い願いを込めて、カンジヤマ・マイムが作り続ける舞台、

『おしゃべりなパントマイム』

身体は口ほどにものを言います!

● 各種メディアからも大絶賛!! ●

アメリカでトニー・モンタナロに師事したユニークなパントマイミストのコンビ、カンジヤマ・マイムが、寄席の高座に色物として出ているのにふれたことがある。古くから寄席の芸として伝えられている「あやつり」に代表される人形ぶりなどをたくみに取り入れてショーアップした演出に感心した。そのあたりが若い客層に大いに受けていたのだが、その若い客層に占められた客席まで、自分たちの芸に参加させてしまうやり方が、イヤ味のないことに、また感心した。なによりも芸に主張があるのがいいと思った。

[日本経済新聞より]

パントマイム? 白塗りの? 大道芸でみたことある?

いえ、どちらでもありません。

カンジヤマ・マイムの舞台は

きっと皆さまの**想像をはるかに超えたもの**でしょう。

まだまだ一般に知られていない身体表現の魅力がたくさん込められた、

見る人の感動と可能性の種に花を咲かせるパントマイムです。

今こそ訓練された本物の芸による笑いを!!

『おしゃべりなパントマイム』プログラム紹介

漫才風マイム / 早撃ちピエロ / マイム体操 / ゲームの世界 /

マイム体験講座 / オノマトペマイム / ジャータカより /

こわいお母さん達のお話 / CM / バイオリン弾きとその息子 / 他

※客層その他により多少の変更がございます

藤倉 健雄 [カンジヤマ・マイム代表]

ニューヨーク州立大学演劇学部修士課程を経てウィスコンシン大学大学院演劇学部博士課程修了。Ph.D[教育演劇学博士]。アメリカマイムの巨匠、トニー・モンタナロ氏に長年師事し、本格的マイムのダイナミズムと妙味を学ぶ。通算10年の滞米中、米国内の様々な大学にて教育演劇、身体表現のクラスを教える。マイム歴41年。現在早稲田大学国際教養学部、および上智大学国際教養学部講師。NHKテレビ「笑いがいちばん」などに頻繁に出演。マイムに関する論文、著書も多数。また、NHKワールドテレビの「日本語クイックレッスン」でマイムにより日本語を指導するコーナーを担当、出演し、NHKテレビ「おかあさんといっしょ」の身体表現コーナー「パント!」の監修、振り付け・指導も手がける。

カンジヤマ・マイム

Tel&Fax: 042-505-7074

E-mail: mime@kanjiyama.com

URL: <http://www.kanjiyama.com>

〒186-0001 東京都国立市北 2-27-15



* 鑑賞会に関して、カンジヤマ・マイムより重要なお知らせ *
最近、カンジヤマ・マイムの名を無断で使用し、鑑賞会などに売り込みをしている業者が多々見受けられます。カンジヤマ・マイムは学校、会館での鑑賞会・公演依頼は全て業者を通さず直接お受けいたしております。公演に関するお問い合わせ、その他ご質問は全て左記のカンジヤマ・マイム事務所までお願いいたします。



KANJIYAMA・MIME

Ⅷ 令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」出演希望調書(メディア芸術)

分野, 種目 (該当する種目に○を付してください。)

分野	種目
【メディア芸術】	映像, <input checked="" type="checkbox"/> メディアアート等

申請する区分に, ○を付してください。

A区分・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能
 (4) その他()

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	わうかぶしきがいしゃ ワウ株式会社		
代表者職・氏名	代表取締役 高橋裕士		
制作団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
電話番号	03-5459-1100	F A X 番号	03-5459-1101
ふりがな 公演団体名	わう WOW		
代表者職・氏名	取締役 工藤薫		
公演団体所在地 (最寄り駅・バス停)	〒 150-0041 東京都渋谷区神南1-14-3		
制作団体 設立年月	1997年 7月		
制作団体 組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 高橋裕士 取締役 高橋秀明 取締役 於保浩介 取締役 森脇大輔 取締役 工藤薫 取締役 中路琢磨	社員数:55名	
事務体制の担当	専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 他の業務と兼任	本事業担当者名	稲垣拓也
経理処理等の 監査担当の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	経理責任者名	星靖浩

制作団体沿革	<p>1997年4月 株式会社デジタルメディアプロダクツ(代表取締役 高橋秀明)を仙台に設立 Webのシステム&コンテンツの開発事業を行う</p> <p>1999年4月 名称をワウ株式会社に変更。CMを中心とした映像制作およびプロダクション業務を展開</p> <p>2000年4月 ワウ東京ランチを開設</p> <p>2002年4月 本社を仙台から東京に変更</p> <p>2004年7月 東京本社を銀座から青山に移転</p> <p>2005年4月 代表取締役に高橋裕士が就任</p> <p>2007年10月 東京本社を青山から渋谷に移転</p> <p>2010年9月 仙台支店を現住所に移転</p>		
メディア教育における活動実績	<p>BAKERU (WOWによるデジタルアート作品):</p> <p>2017年3月 せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内で展示</p> <p>2017年3月 せんだいメディアテーク オリジナル企画展「ハレとケ展」内でBAKERU関連ワークショップ「ペーパークラフトでお面をつくろう」を開催</p> <p>2018年4月 東京鹿踊(岩手郷土芸能)とのコラボレーションによるコンセプト映像を公開</p> <p>2018年4月 青山スパイラル「WOW Visual Design Studio -WOWが動かす世界-」内で展示</p> <p>2019年7月 JAPAN HOUSE Los Angeles で個展「BAKERU: Transforming Spirits」を開催</p> <p>縦系横系合同会社(本プログラム共同実施団体):</p> <p>2014年9月 舞台芸術の創造と発信、そして地域に根ざした杉並区の文化活動の拠点座・高円寺『みんなの作業場』企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2015年2月 日韓芸能交流を目的とした公演「マツリクロッシング」企画にて、国内外の観客向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2015年8月 子ども向けの体験型イベント「こどもの夢ひろば“ボレロ”～つながる・集まる・羽ばたく～」企画にて、子ども向けの神楽ワークショップを開催</p> <p>2016年5月 G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議時に仙台市が市民向けに企画した東北トレジャーズカフェ「るるるる郷土芸能」にて子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2016年5月 東京豊島区のとしま未来文化財団主催の「日本の民俗舞踊～踊り手が語るその魅力・祈り～」企画にて観客向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2017年2月 宮城県主催事業「文化芸術の力による心の復興フォーラム」企画にて地域の郷土芸能体験ワークショップを企画</p> <p>2017年5月 岩手県主催事業「訪日外国人向け伝統文化鑑賞・体験プログラム開発事業」にて、外国人向けの各地域プログラムを企画、ワークショップを開催</p> <p>2017年8月 八戸市主催事業「八戸ポータルミュージアムはっちプロジェクトDASHIJIN」にて教育プログラムを企画、子ども向けのお祭り参加ワークショップを開催</p> <p>2017年12月 和太鼓や神輿の製作を行う宮本卯之助商店との共同企画で「訪日外国人向けの祭り・郷土芸能体験プログラム」にて外国人向けの鹿踊ワークショップを開催</p> <p>2018年1月 郷土芸能の衣装や道具を支える人の創出、育成を目的とした「カグラツクル」を自主企画、ワークショップを開催</p> <p>2018年3月 日本自然保護協会主催の「日本の伝統文化のなかに生きる動物たち」企画にて、子ども向けの鹿踊ワークショップを開催</p>		
特別支援学校における活動実績	特になし		
参考資料の有無	<p>(A)</p> <p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>申請する企画のチラシパンフレット等</p> <p>申請する企画の DVD または WEB 公開資料</p> <p>※WEB 公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p> <p>今回申請する企画に近い活動を記録した DVD または WEB 公開資料</p> <p>※WEB 公開資料有の場合 URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合の ID およびパスワード</p>	<p>有 ・ 無</p> <p>有 ・ 無</p> <p>http://bakeru.jp/</p> <p>ID: PW: 不要</p> <p>有 ・ 無</p> <p>ID: PW:</p>

メインプログラム・ワークショップの内容

【公演団体名

WOW

】

対 象	小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中 学 生											
企 画 名	BAKERU ― デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界 ―											
プログラム全体の流れ	<p>【プログラムの構成】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>ワークショップ 1 回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ 2 回 → メインプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>メインプログラム → ワークショップ 2 回</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>メインプログラム → ワークショップ 1 回</td> </tr> </table> <p>【全体の流れ】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>※ はじめに、昨年度プログラムの記録映像をご覧ください https://vimeo.com/313292823</p> </div>  <p>1日目 郷土芸能の鑑賞、レクチャー、およびワークショップ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>デジタルアートとは何か、について分かりやすく紹介します。 また、郷土芸能と「変身する」ことのつながりについてお話しします。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>郷土芸能の一例として、岩手県「行山流舞川鹿子躍」を実演。 作品のモチーフになった実際の芸能を鑑賞します。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「変身する」ことをテーマに衣装について解説し 着付け体験などを通して芸能に触れ、理解を深めます。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>レクチャーを参考に「自分が変身するとしたら」をテーマに オリジナルのお面を制作。2日目の体験で使用します。</p> </div> </div> <p>2日目 「BAKERU」の体験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ワークショップで制作したオリジナルの体験用お面を使って デジタルアート作品「BAKERU」を体験します。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>それぞれの想いがつまったお面。他の参加者がどのような コンセプトで自身のお面をデザインしたか、見て考えます。</p> </div> </div>			ワークショップ 1 回 → メインプログラム		ワークショップ 2 回 → メインプログラム		ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ		メインプログラム → ワークショップ 2 回	○	メインプログラム → ワークショップ 1 回
	ワークショップ 1 回 → メインプログラム											
	ワークショップ 2 回 → メインプログラム											
	ワークショップ → メインプログラム → ワークショップ											
	メインプログラム → ワークショップ 2 回											
○	メインプログラム → ワークショップ 1 回											
児 童 ・ 生 徒 の 参 加 上 限 人 数	メインプログラム (1日目)	制限なし(ただし、2日目を体験しきれる合計人数)										
	ワークショップ (2日目)	40名程度(1時限あたりの体験可能人数。120人程度まで対応可能)										

<p>メインプログラムの主たる指導者</p>	<p>工藤薫(ディレクター), 佐藤宏樹(テクニカルディレクター) アシスタント(エンジニア、デザイナー)2名, 稲垣拓也(プロデューサー), 山田雅也(ワークショップコーディネーター) アシスタント4名(演舞演者を兼ねる)</p>		
<p>スタッフ人数 (1公演あたり)</p>	<p>計10名</p>	<p>機材等 運搬方法</p>	<p>バン3台程度による機材搬入を想定</p> <p>積載量 1 t 車長 5 m 台数 3 台</p>
<p>企画のねらい</p>	<p style="text-align: center;">伝統文化の豊かな世界観に、デジタルアートを通して触れる</p>  <p>長い時間を受け継がれてきた郷土芸能には、自然、人の生き方、願いなど、大変豊かな世界観が内包されています。しかし、今日を生きる子供たちはそれらに触れる機会が多くありません。デジタルアート作品『BAKERU』は東北の郷土芸能を様々なリサーチを通してデジタルアートに昇華させた作品です。本公演は、デジタルアートという普段とは違った体験を通して、子どもたちに伝統文化に対する新たな気づきやまなざしが生まれることをねらっています。</p> <p>▶ デジタルアート作品 『BAKERU』</p> <p>BAKERUは東北に古くから伝わる4つの郷土芸能(なまはげ、早乙女、鹿踊、加勢鳥)をモチーフにした、体験型のデジタルアート作品です。スクリーンの前に立って顔に体験用のお面をつけると自分の姿が変化し、それぞれの芸能の世界観で様々な体験ができます。現代的な視点と新しい表現を通して伝統文化に触れることで、その奥深さを広く知ってもらうことを目的としています。</p>  <p>▶ 1日目(芸能実演とワークショップ) のねらい</p> <p>1日目は、①郷土芸能のレクチャーと実演、②体験用のお面制作を行います。①では、有史以前から続くお面を使って「変身する」という行為をテーマにお話した後、例として「東京鹿踊」による実際の演舞を鑑賞します。②では、「自分が変身するとしたら」をテーマにBAKERU体験用のお面を参加者がカスタマイズします。子どもたちが自身の「願い」と「それに対応するデザイン」を考えて制作することで、芸能で衣装が果たす役割を深く学びます。</p>    <p>▶ 2日目(デジタルアート体験) のねらい</p> <p>2日目は、体育館に設置したスクリーンでデジタルアート作品「BAKERU」を体験します。ここで1日目に制作したオリジナル面を利用することが、より深く作品に入り込み、体験を記憶に残すきっかけとなります。</p>   		

【公演団体名 **WOW**】

実施にあたっての会場条件および学校側が必要な準備等	<p align="center">【メインプログラム】(1日目)</p> <p>▶ 会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館相当の空間 … 1室 (幅10m x 15m x 高さ6m 以上) 郷土芸能レクチャーと演舞鑑賞に利用 ・教室 … 参加クラス分 お面制作WSに利用 ・設置時間 … 前日夕方から <p>▶ 準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画材 … 参加人数分 通常図工等で使用しているはさみや 絵の具に加え、マジック、色紙 など 	<p align="center">【ワークショップ】(2日目)</p> <p>▶ 会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館相当の空間 … 1室 (幅10m x 15m x 高さ6m 以上) BAKERUの体験に利用 ・設置時間 … 前日夕方から 								
当日の所要時間(タイムスケジュール)の目安	<p align="center">【メインプログラム】(1日目)</p> <p>前日の夕方に機材搬入、また当日もしくは事前にワークショップの打ち合わせを行います。</p> <p align="center">開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">1時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> イントロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのイントロダクション (5分) </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">休み時間</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;">休憩 (10分)</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">2時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> 体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分) </td> </tr> </table>	1時限目 (45分想定)	イントロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのイントロダクション (5分)	休み時間	休憩 (10分)	2時限目 (45分想定)	体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分)	<p align="center">【ワークショップ】(2日目)</p> <p>前日の夕方に機材搬入を行います。</p> <p align="center">開始1～2時間前学校到着、打ち合わせ</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">1時限目 (45分想定)</td> <td style="border-left: 2px solid black; padding-left: 5px;"> BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分) </td> </tr> </table>	1時限目 (45分想定)	BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分)
1時限目 (45分想定)	イントロダクション (10分) 郷土芸能レクチャー (10分) 郷土芸能実演・体験 (20分) ワークショップのイントロダクション (5分)									
休み時間	休憩 (10分)									
2時限目 (45分想定)	体験用お面制作(40分) 1日目のまとめ(5分)									
1時限目 (45分想定)	BAKERU体験 (25分) 参加者の制作お面鑑賞 (10分) 本企画のまとめ (10分)									
※採択決定後、採択団体へ学校側に提示する条件の確認書の作成をお願いします。										
特別支援学校での実施における工夫点										
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。									

提出書類④

申請する公演演目のWEB情報

BAKERU

BAKERU ポータルサイト

BAKERUのコンセプトや展示歴などをまとめたウェブサイト
<http://bakeru.jp/>



BAKERU

<https://vimeo.com/219637092>



BAKERU -バケルの学校-

2018年 本公演実証実験の記録映像
<https://vimeo.com/313292823>
<http://bakeru.jp/project/81/>



BAKERU Concept Movie

「東京鹿踊」とのコラボレーションによるコンセプト映像
<https://vimeo.com/263846520>



ハレとケ展

BAKERUを初公開したオリジナル企画展。
ペーパークラフトのお面を制作するワークショップを開催。
<https://vimeo.com/219636641>



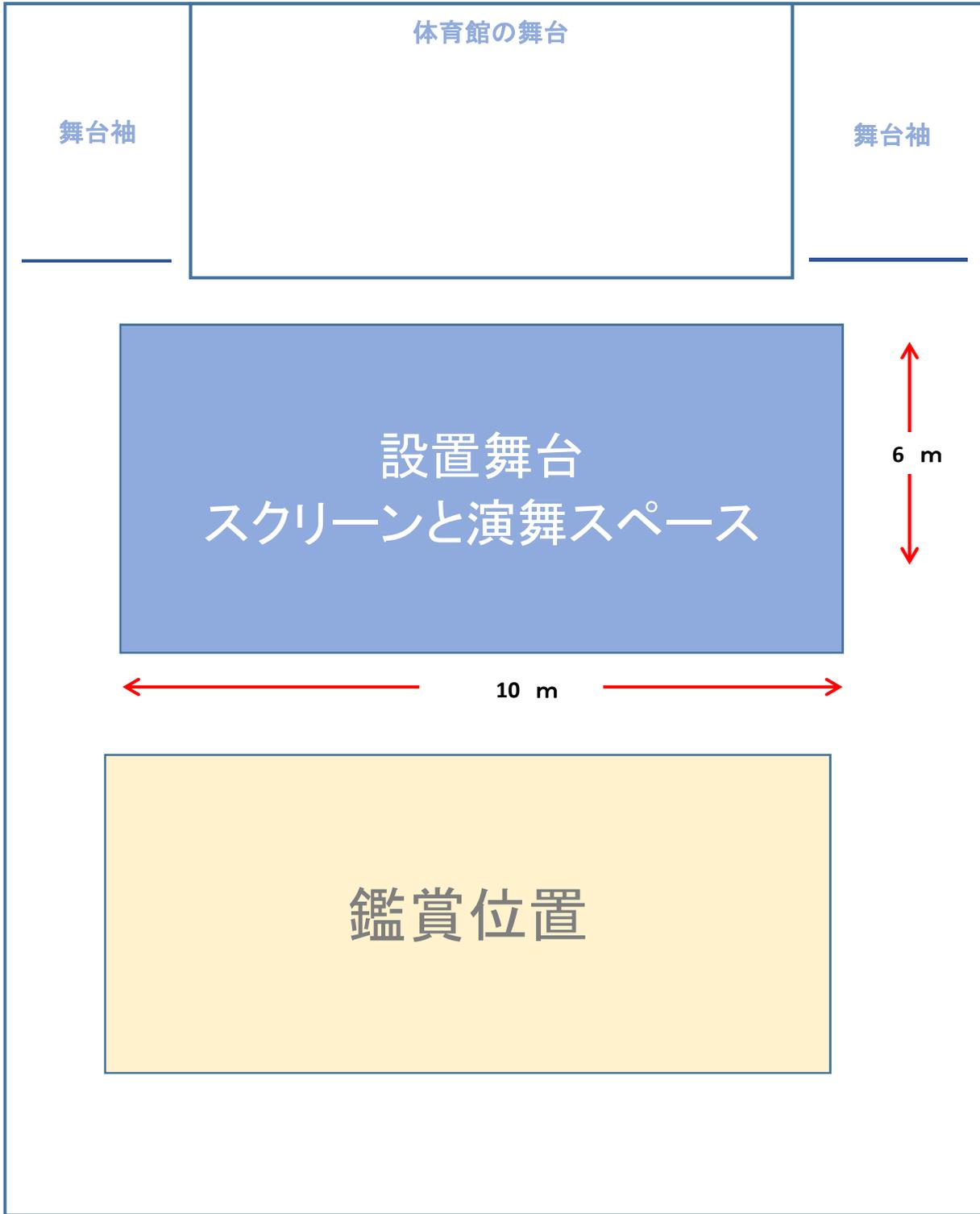
【令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K121	分野	メディア芸術	種目	メディアアート等	ブロック	K	区分	A区分
公演団体名	WOW			制作団体名	ワウ 株式会社				

① 会場条件等についての確認

項目	応相談	必要条件等							
控室について	可	必要数 *	2室	条件	機材置き部屋と控え室				
搬入について	可	来校する車両の大きさと台数 *			バン	3台			
	—	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			不要				
	—	搬入車両の横づけの要否 *			不要				
	—	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				
	—	搬入経路の最低条件			問わない				
	理由								
	—	設置階の制限 *			問わない				
—	搬入間口について 単位:メートル		幅	問わない		高さ	問わない		
WSIについて	可	参加可能人数			120名程度				
	不可	学年の指定の有無 *			あり	指定学年 *	小学生のみ		
	可	所要時間の目安 単位:分			2～3時限分(参加人数によって、要相談)				
本公演について	理由	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安をご参照ください。				
	可	鑑賞可能人数			120名程度				
	可	舞台設置場所 *			フロア				
	不可	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	6m	高さ	6m
	—	体育館の舞台を使用する場合の条件			舞台袖スペースの確保 *		不要		
	—				舞台袖スペースの条件 *		不要		
	—	遮光(暗幕等)の要否 *			緞帳 *	不要		パトン *	不要
	不可				要	理由	スクリーンを設置するため		
	—	ピアノの調律・移動の要否		指定位置へのピアノの移動 *	不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。		
	—			ピアノの事前調律 *		不要			
	可	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可			
	不可	公演に必要な電源容量			30A		※主幹電源の必要容量		
	その他特記事項								

会場図面(表記単位:メートル)

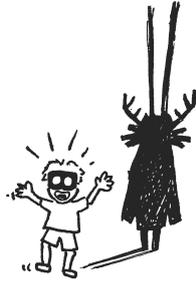


搬入間口について	幅	問わない	高さ	問わない
搬入車両の横づけの要否			不要	
横づけができない場合の搬入可能距離			問わない	

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

BAKERU ばける

その不思議な力を、私たちは忘れかけていた。
お面を着けて、自分以外の存在へと“化ける”
神の使いとなって、人々に恵みを分け与える。
自然への畏怖が生んだ、“ハレとケ”の文化
私たちは今何を感じ、未来を紡いでいくのだろうか。

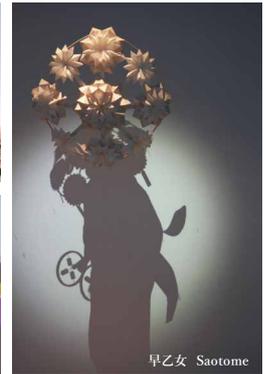


東北に古くから伝わる祭りや伝統行事をモチーフにした体験型の映像インスタレーション作品。スクリーンの前にお面を顔につけると、自分の姿がいつしか自分ではない何者かに変化します。現実から空想の世界へと入り込み、その姿で様々な体験をすることができます。作品の対象となる東北の伝統行事の中で特にユニークなのが、1年の決まった時期になると各地に現れる“神の使い”たちの姿。三陸地方に伝わる「鹿踊（ししおどり）」や、簀（みの）をかぶった若者に水をかける「加勢鳥（かせどり）」など、人々はお面や衣装を身に着けることで、豊作や無病息災をもたらす存在へと変身するのです。

この作品では「なまはげ」「鹿踊」「加勢鳥」「早乙女」の4種類の伝統行事をモチーフにし、WOWの解釈を加えてビジュアルライズしました。スクリーンの前でお面を付けると、自分のシルエットがそれぞれの姿に変化して、その行事が人々にもたらす恵みがアニメーションで映し出されます。自分以外の存在、人間以外の何者かへと“化ける”という不思議な力を、楽しみながら体験する試み。東北の風土が生んだ伝統文化に、まったく新しい表現を通して触れてもらうことで、その価値を次の世代へ受け継いでいきたいという願いを込めた作品です。



なまはげ Namahage



早乙女 Saotome



鹿踊 Shishiodori



加勢鳥 Kasedori



WOW <http://www.w0w.co.jp/> <http://wowlab.net/>

東京、仙台、サンフランシスコに拠点を置くビジュアルデザインスタジオ。CM やコンセプト映像など、広告における多様な映像表現から、さまざまな空間におけるインスタレーション映像演出、メーカーと共同で開発するユーザーインターフェイスデザインまで、既存のメディアやカテゴリーにとらわれない、幅広いデザインワークをおこなっている。

実際の作品や鹿踊の様子はこちらで動画でご覧いただけます。<http://bakeru.jp>

BAKERU

デジタルアートで「体感」する郷土芸能の世界

1日目 郷土芸能の学びと作品体験のためのお面作り

▶ 郷土芸能 実演・体験

”東京鹿踊”による演舞を鑑賞。
お祭りの意味や衣装について解説し、着付け体験をします。



▶ 体験用お面制作ワークショップ

「自分が変身するとしたら」をテーマに、デジタルアート体験のためのお面を自分でデザインします。



2日目 デジタルアート作品『BAKERU』の体験

▶ BAKERU の体験

ワークショップで作った体験用のお面を使って、デジタルアート作品『BAKERU』を体験します。



れいわ ねんど ぶんかげいじゅつ こども いくせいこうえんじょう じゅんかいこうえんじょう

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 — 巡回公演事業 —

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。